

1150迄 (1562件)

- 1101年-07:00|カンボジア| ||**クメール王国のアンコール・トムがこのころ造営**
- 1101年-03:30|イラン| ||**<即位>ケルマン・セルジューク朝スルターン「アルスラン・シャー1世」 (~1142年)**
- 1101年-03:00|ベラルーシ| ||**<即位>グイテフスク公「スグヤトスラフ・フェスラウイチ」 (~1129年キエフ大公ムスチスラフ1世に捕縛された)**
- 1101年-03:00|ベラルーシ| ||**<即位>ドルツク公「ロクウゴロド・フェスラウイチ」 (~1127年退位)**
- 1101年-03:00|ベラルーシ| ||**<即位>ミンスク公「グレフ・フェスラウイチ」 (~1119年死去)**
- 1101年-03:00|ベラルーシ| ||**<即位>ルコムリ公「ロスチスラフ・フェスラウイチ」 (~1129年)**
- 1101年-01:00|イタリア| ||**<就任>チロル伯「Albert3世」 (~1165年)**
- 1101年-01:00|モンテネグロ| ||**<即位>トウクリヤ王「トボロスラフ2世ハイロウイッチ」 (~1102年、ロシア大公「ワカン」とコチャパルによって打倒される)**
- 1101年-01:00|ニジェール| ||**カハム諸部族がチャド湖西岸に移動し定着**
- 1101年 00:00|アイルランド| ||**<即位>アイルランド上王「ミウアチェルタツハ・マック・テルテルバク」 (~11090312没)**
- 1101年 00:00|イギリス| ||**<即位>グウィネト王「Gruffydd ap Cynan」 (~1137年死去)**
- 1101年 00:00|マリ/ニジェール| ||**<即位>ソンガイ王国国王「ヒヤイ・カイ・キンバ」勢力を拡大し、ガオに遷都 (~1120年)**
- 1101年 00:00|イギリス| ||**<剥奪>サリ伯「ウィリアム・ド・ワレン」**
- 1101年1月-01:00|パチン| ||**<解任>対立ローマ教皇「テオトリクス」投獄される**
- 1101年1月31日-09:00|朝鮮/韓国| ||**高麗・壽昌7年|高麗・肅宗が南京(現在のソウル)を新しく建設するために南京開創都監を設けた**
- 1101年1月31日-08:00|中国| ||**西夏・貞観1年|西夏の崇宗が貞観(-1114年)と改元**
- 1101年1月31日-08:00|中国| ||**宋・建中靖国1年|北宋の徽宗が建中靖国(1101年)と改元**
- 1101年1月31日-07:00|ベトナム| ||**大越・竜符元化1年|大越李朝の仁宗李乾徳が竜符元化と改元(-1109)**
- 1101年2月-01:00|パチン| ||**<就任>対立ローマ教皇「アルベルトゥス」 (~105日間)**
- 1101年2月12日-08:00|中国| ||**契丹・壽昌7年1月13日|<死去>契丹可汗「道宗耶律洪基」**
- 1101年2月12日-08:00|中国| ||**契丹・壽昌7年1月13日|<即位>遼可汗「延禧阿果(耶律延禧)」 (~1125年2月)**
- 1101年3月2日-08:00|中国| ||**契丹・乾統1年2月1日|遼の道宗が乾統(-1110年)と改元**
- 1101年4月-02:00|イスラエル| ||**ホードゥアン1世がエジプトよりアルスフを奪取**
- 1101年4月24日-03:00|ベラルーシ| ||**<死去>ホロツク公「フェスラフ・ブリヤチスラウイチ」**
- 1101年4月24日-03:00|ベラルーシ| ||**<即位>ホロツク公「ダビド・フェスラウイチ」 (~1129年)**
- 1101年5月-02:00|イスラエル| ||**ホードゥアン1世がエジプトよりカイザリアを奪取**
- 1101年6月22日-01:00|イタリア| ||**<死去>シフィア伯「ルツェーロ1世」**
- 1101年6月22日-01:00|イタリア| ||**<就任>シフィア伯「シモネ」 (~11050928死去)**
- 1101年7月-01:00|フランス| ||**<即位>下ロランギア公「アンリ」リンブル伯ハイリヒ1世 (~1106年)**
- 1101年7月20日 00:00|イギリス| ||**イングランド王の長兄のノルマンディ公ロベールがイングランドに来襲/これ以後、兄弟での交戦が起こる**
- 1101年7月27日-01:00|ドイツ| ||**<死去>ドイツ王「コンラート」**
- 1101年7月27日 00:00|イギリス| ||**<死去>初代チェスター伯「ヒュー・ダウランシュ」**
- 1101年7月27日 00:00|イギリス| ||**<就任>2代チェスター伯「リチャード・ダウランシュ」 (~11201125死去)**
- 1101年9月2日-02:00|イスラエル| ||**エルサレム王国にエジプトのファティマ朝宰相率いる軍が侵攻/エルサレム国王ホードゥアン1世がラムレで迎撃し勝利**
- 1101年10月18日-01:00|フランス| ||**<死去>グアロア伯・グエルムントワ伯「Hugh the Great」**
- 1101年11月6日-01:00|ドイツ/オーストリア| ||**<死去>ハイルン大公「グエルム1世」**
- 1101年11月6日-01:00|ドイツ/オーストリア| ||**<即位>ハイルン大公「グエルム2世肥満公」グエルム1世の長男 (~11200924死去)**
- 1101年12月12日-01:00|チュニジア/エジプト| ||**<死去>ファティマ朝第9代カリフ「アルムスタアール・ヒッター」**
- 1101年12月12日-01:00|チュニジア/エジプト| ||**<即位>ファティマ朝第10代カリフ「アルアミール・ヒアカミールラー」 (~11301007殺害される)**
- 1101年12月25日-01:00|チェコ| ||**<退任>スノイモブルノ公摂政「ボジグオイ2世」 (~11240202死去)**
- 1101年12月25日-01:00|チェコ| ||**<復位>スノイモ公「リトル」 (~11120315死去)**
- 1101年12月25日-01:00|チェコ| ||**<復位>ブルノ公「オールドジフ」 (~11130327死去)**
- 1102年-05:30|インド| ||**<即位>ホイヤラ朝国王「ハッター1世」 (~1108年)**
- 1102年-05:00|キルギス/ウズベキスタン/中国| ||**<即位>西カラハ朝ハン「Muhammad Arslan Khan」 (~1129年)**
- 1102年-05:00|キルギス/ウズベキスタン/中国| ||**<即位>東カラハ朝ハン「Ahmad Khan」 (~1128年)**
- 1102年-04:00|アルメニア| ||**<死去>キリキア・アルメニア王国国王「コンスタンティヌス1世」**
- 1102年-04:00|アルメニア| ||**<即位>キリキア・アルメニア王国国王「トロス1世」 (~1129年死去)**
- 1102年-03:00|ベラルーシ| ||**<即位>ベレスチエ公「ウヤチスラフ・ヤロホロウイチ」 (~1104年)**
- 1102年-02:00|トルコ| ||**<死去>キリキア・アルメニア王国国王「コスタンディン1世」**
- 1102年-02:00|トルコ| ||**<即位>キリキア・アルメニア王国国王「トロス1世(ソロス1世)」 (~11290217死去)**
- 1102年-02:00|トルコ| ||**<即位>サルトキット君主「Ali」 (~1124年)**
- 1102年-01:00|アントラ| ||**<死去>ウルジエイ伯「Ermengol5世」Mollerussaの戦いで戦死**
- 1102年-01:00|アントラ| ||**<就任>ウルジエイ伯「Ermengol6世」 (~11540620死去)**
- 1102年-01:00|フランス| ||**<就任>グアロア伯・グエルムントワ伯「ラウル1世the Valiant」 (~11521014死去)**
- 1102年-01:00|イタリア| ||**<就任>ウエツィア共和国第34代トージェ(元首)「オルデラッフォ・ファリエ」 (~1117年)**
- 1102年-01:00|クロアチア| ||**<就任>クロアチア・ハン「ウケリン」 (~1105年)**
- 1102年-01:00|フランス| ||**<就任>ルシヨン伯「Girard1世」 (~1113年殺される)**

1150迄 (1562件)

- 1102年-01:00|クワチア/ハンガリー| |||<即位>クワチア王「ハンガリー王カールマン文人王」ハンガリー王国のクワチア支配の始まり (~1160203死去)
- 1102年-01:00|モンテネグロ| |||<即位>ドゥクリヤ王「コチャパル・ラトスヴァイッチ」ラシア大公「ブーカン」によって権力の座に就く (~1103年、ザクミアとの戦いで戦死)
- 1102年-01:00|モンテネグロ| |||<退位>ドゥクリヤ王「ドブロスラフ2世」ラシア大公「ブーカン」とコチャパルによって打倒される
- 1102年-01:00|モンテネグロ/トルコ| |||モンテネグロはビザンチンの家臣 (~1113年)
- 1102年 00:00|イギリス| |||<剥奪>シュルズベリー伯「ロバート・オブ・ベレム」
- 1102年1月15日-02:00|中国| ||宋・建中靖国1年12月25日|中国・山西省で地震 (M6. 5)、死者千人
- 1102年1月21日-08:00|中国| ||宋・崇寧1年|宋で新法党が奪権し、旧法党に対して大弾圧を開始
- 1102年1月21日-08:00|中国| ||宋・崇寧1年|北宋の徽宗が崇寧 (-1106年) と改元
- 1102年3月14日-09:00|日本|京都府京都市|康和4年2月24日|強盗のため藤原為房の九条第焼亡
- 1102年4月11日-09:00|日本|京都府京都市下京区|康和4年3月22日|藤原顕季の六条東洞院焼亡
- 1102年4月17日-09:00|日本|京都府京都市|康和4年3月28日|放火により、藤原季仲の五条東洞院第・江州五倉焼亡
- 1102年5月-02:00|パレスチナ| |||エジプトのファーティマ朝宰相の息子シャラフ軍がエルサレム王国に侵攻しエルサレム国王「ドゥアンソー一世」とラムレ (パレスチナ) で戦い勝利
- 1102年5月8日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||契丹・乾統2年4月20日|生女直の盈歌、高麗に使を遣わす
- 1102年5月19日-01:00|フランス| |||<死去>シャルル伯「Stephen2世」兼「ロバート」伯「Stephen」兼「モーブ」伯「Stephen3世Henry」
- 1102年5月19日-01:00|フランス| |||<就任>シャルル伯「モーブ」伯「ティエ」2世 (⇒1125年兼「ジャン」伯「ニュー」伯 ~11520110死去)
- 1102年5月27日-01:00|フランス| |||<死去>ブルゴニュー伯「マコン」伯「ステファン」1世
- 1102年5月27日-01:00|フランス| |||<就任>ブルゴニュー伯「マコン」伯「ルネ」3世「ステファン」1世の息子 (~11480122死去); マコン伯「ギョーム」3世 (~1155年死去)
- 1102年6月-02:00|パレスチナ| |||エジプトのファーティマ朝宰相の息子シャラフ軍をエルサレム国王「ドゥアンソー一世」がヤッファで迎撃し勝利
- 1102年6月4日-01:00|ポーランド| |||<死去>ポーランド公「ヴワツェスワフ1世ヘルマン」
- 1102年6月4日-01:00|ポーランド| |||<即位>ポーランド公「スビグニェフ」ヴワツェスワフ1世ヘルマンの息子 (~1107年追放), 「ボレスワフ3世クワクオスティ」ヴワツェスワフ1世ヘルマンの息子 (~11381028死去)
- 1102年7月29日-01:00|ベルギー| |||<死去>ナムュール伯「アルベール」3世
- 1102年7月29日-01:00|ベルギー| |||<就任>ナムュール伯「ジヨフワ」 (~11390819死去) アルベール3世の子
- 1102年9月1日-09:00|日本| ||康和4年7月17日|<死去>津守国基 (生年1023年/住吉神社の神主、歌人)
- 1102年9月18日-09:00|日本|奈良県奈良市|康和4年8月5日|興福寺衆徒が蜂起して権別当・範俊の房舎を破壊
- 1102年9月25日-09:00|日本|京都府宇治市|康和4年8月12日|朝廷は宇治橋を壊して衆徒入京を阻止
- 1102年10月14日-09:00|日本|京都府京都市|康和4年9月1日|放火により藤原季仲の新造三条第焼亡
- 1102年10月25日-09:00|日本|京都府京都市|康和4年9月12日|六条堀川の安芸守・藤原経忠第焼亡
- 1103年-06:30|ミャンマー| |||<即位>アラカン国王「レティア・ミンタン」 (~1109年)
- 1103年-06:30|ミャンマー/中国| |||ハカン朝が宋に入貢
- 1103年-01:00|ドイツ| |||<死去>オスマルク辺境伯・ラウジツツ辺境伯・マイエン辺境伯「ハインリヒ」1世
- 1103年-01:00|モンテネグロ| |||<死去>ドゥクリヤ王「コチャパル・ラトスヴァイッチ」ザクミアとの戦いで戦死
- 1103年-01:00|フランス| |||<就任>アンジュー伯「ジヨフワ」4世「若伯」フルク4世病気質伯とエルマカルト・ド・ブルボンの息子 (父フルク4世と共同統治 ~11060519死去36歳)
- 1103年-01:00|ドイツ| |||<就任>オスマルク辺境伯・ラウジツツ辺境伯・マイエン辺境伯「ハインリヒ」2世 (~1123年死去)
- 1103年-01:00|フランス| |||<就任>ナント伯「アラン」2世「ブルターニュ」公「アラン」4世 (~11191013死去)
- 1103年-01:00|スペイン| |||<即位>アルメリア・アルバチン・タイア「Yahya Husam ad-Dawla」 (~1104年ムラビト朝へ)
- 1103年-01:00|モンテネグロ| |||<即位>ドゥクリヤ王「ウラジミール・ウラジミロヴィッチ」ラシア大公「ブーカン」の娘と結婚 (~1114年、いとこのゾルジエ1世に毒殺された)
- 1103年 00:00|イギリス| |||<再任>サリ伯「ウィリアム・ド・ワーレン」復権 (~11380511死去)
- 1103年1月2日-01:00|フランス| |||<死去>モンベリアル伯「ティエリ」1世
- 1103年1月2日-01:00|フランス| |||<就任>モンベリアル伯「ティエリ」2世「ティエリ」1世の息子 (~1163. 1死去)
- 1103年1月6日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||契丹・乾統2年11月26日|生女直の盈歌、高麗に使を遣わす
- 1103年1月10日-09:00|韓国/朝鮮| ||高麗・乾統2年12月|高麗、海東通宝を鑄造
- 1103年2月6日-09:00|日本|島根県隠岐郡隠岐の島町|康和4年12月28日|康和の乱の源義親が隠岐に配流
- 1103年2月9日-08:00|中国| ||後理国の天政1年|後理国の段正淳が天政 (-1104年) と改元
- 1103年2月15日-09:00|日本|京都府京都市右京区|康和5年1月7日|仁和寺北院が炎上
- 1103年2月27日-09:00|日本|京都府京都市中京区|康和5年1月19日|前相模守・橘に綱の二条東洞院第焼亡
- 1103年3月10日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||契丹・乾統3年2月|生女直の盈歌、高麗と通好する
- 1103年3月23日-01:00|フランス| |||<即位>ブルゴニュー公「ユグ」2世「平和公」 (~11430206死去)
- 1103年4月19日-09:00|日本|京都府京都市下京区|康和5年3月11日|五条高倉の藤原顕隆第焼亡
- 1103年4月20日-09:00|日本| ||康和5年3月12日|<死去>娟子内親王 (生年1032年/皇族、賀茂斎院、源俊房の室)
- 1103年7月10日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<死去>デンマーク王・シュレーグ「エリック」1世「常善王」
- 1103年7月10日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<即位>シュレーグ「ニコラス」1世 (~1115年退位)
- 1103年7月13日-09:00|日本| ||康和5年6月8日|田植えの神事などから発展した芸能の田楽初上演
- 1103年8月1日-09:00|日本| ||康和5年6月27日|<死去>藤原顕綱 (生年1029年/公家、歌人)

1150迄 (1562件)

- 1103年8月24日-01:00|ノルウェー| |||<死去>ノルウェー王「マグヌス3世オラフソン裸足王」
- 1103年8月24日-01:00|ノルウェー| |||<即位>ノルウェー王「オシュタイン1世マグナソン」(~11230829没)、「シグルド1世マグヌソン・ヨルサルファー」(~11300326没)
- 1103年8月24日 00:00|マン島| |||<就任>マン王「Olafur Gudhfridharson (Olaf1世)」(~11530629死去)
- 1103年8月26日-01:00|ノルウェー| |||<即位>ノルウェー王「オラフ4世マグナソン」共同統治(~11151222没)
- 1103年8月31日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||契丹・乾統3年7月27日|生女直の盈歌、高麗に使を遣わす
- 1103年10月14日-01:00|イタリア/フランス| |||<死去>サッファイド伯「ウンベルト2世」
- 1103年10月14日-01:00|イタリア/フランス| |||<就任>サッファイド伯「アマテオ3世」(~1148.4死去)
- 1103年11月30日-08:00|中国| ||契丹・乾統3年10月29日|<死去>女真完顔部9代目首長「盈歌」51歳
- 1103年11月30日-08:00|中国| ||契丹・乾統3年10月29日|<即位>女真完顔部10代目首長「烏雅東(康宗)」劬里鉢の長子(~1113年死去)
- 1103年12月17日-09:00|日本|京都府京都市|康和5年11月16日|京都大火、五条坊門室町辺より失火、因幡堂・祇園大政所・民家など数百戸火災
- 1104年-08:00|インドネシア| |||<即位>クリヤ・マハラジャ「Cri Jayawarsa」(~1115年)
- 1104年-05:30|インド| |||<即位>ガハダヴァーラ朝国王「Madanapala」(~1113年)
- 1104年-03:00|イェメン| |||<即位>ナジャフ朝アミール「al-Fatig1世」(~1106年)
- 1104年-02:00|トルコ| |||<死去>タニシュメント朝マリク「タニシュメント・アハマト・ガースィー」
- 1104年-02:00|トルコ| |||<即位>アルトゥク朝スルタン「イル・ガースィー1世」シヤズィーラに建国(~1122年死去)
- 1104年-02:00|トルコ| |||<即位>タニシュメント朝マリク「アミール・ガースィー・グムシュキーン」(~1134年死去)
- 1104年-02:00|シリア・アラブ| |||フーリー朝がタマスカスを支配(~1154年)
- 1104年-01:00|アルジェリア| |||<死去>ハンマド朝スルタン「アル=マンズール」
- 1104年-01:00|デンマーク| |||<即位>デンマーク王「ニルス・スヴェン2世」の庶子(~11340625死去)
- 1104年-01:00|アルジェリア| |||<即位>ハンマド朝スルタン「ハデイス」⇒「アブド・アル=アジズ」(~1121年)
- 1104年-01:00|ドイツ| |||ハインリヒ5世がハインリヒ4世と離反し反対派諸公と結託
- 1104年1月30日-07:00|ベトナム| ||大越・竜符元化4年|リ・トン・キェトがチャンパを討つ
- 1104年2月4日-08:00|中国| ||契丹・乾統4年1月6日|烏雅東、女直の別の部を攻める
- 1104年2月25日-09:00|日本|京都府京都市東山区|康和6年1月27日|六波羅蜜寺焼亡
- 1104年3月8日-09:00|日本| ||長治1年2月10日|康和から長治に改元
- 1104年3月9日-09:00|日本|京都府京都市下京区|長治1年2月11日|亭子院本堂・近辺の小屋焼亡
- 1104年3月28日-09:00|韓国/朝鮮| ||高麗・乾統4年3月|高麗の伊カ、東女真と戦い結盟して帰る
- 1104年4月-03:00|イラク/シリア・アラブ| |||イブサハバード・ウアン2世軍がイスラム勢力のモスル領へ侵攻しジエカルミシュと元エルサレム総督ソクマンとハッラントで戦い敗北
- 1104年4月26日-09:00|日本|京都府京都市下京区|長治1年3月30日|盗賊のため、備中守・藤原仲実の堀川四条第倉炎上
- 1104年5月26日-02:00|エジプト/イスラエル/パレスチナ| |||エルサレム王ボートウアン1世がエジプト人からアッコンの港を奪う
- 1104年5月27日-09:00|日本| ||長治1年5月2日|<任命>鎮守府将軍「藤原基頼」(~不詳)
- 1104年6月8日-02:00|シリア・アラブ| |||<死去>シリア(タマスカス)セルジューク朝スルタン「テュカーク」
- 1104年6月8日-02:00|シリア・アラブ| |||<即位>フーリー朝アミール「トウグ・テギーン(サイフルイスラム・ザヒール・ウッデイン・トウグ・テギーン)」建国(~11280212死去)
- 1104年9月28日-01:00|スペイン| |||<死去>アラゴン国王・ナバラ王「ペドロ1世」36歳
- 1104年9月28日-01:00|スペイン| |||<即位>アラゴン国王・ナバラ国王「アルフォンソ1世」サンチヨ5世ラミスとフェリシード・ルシーの男子(~11340908死去61歳)
- 1104年12月22日-03:30|イラン/イラク/トルクメニスタン| |||<死去>大セルジューク朝スルタン「バルキヤルク」
- 1104年12月22日-03:30|イラン/イラク/トルクメニスタン| |||<即位>大セルジューク朝スルタン「マリク・シャ2世」(~1105年死去)
- 1105年-03:30|イラン/イラク/トルクメニスタン| |||<死去>大セルジューク朝スルタン「マリク・シャ2世」
- 1105年-03:30|イラン/イラク/トルクメニスタン| |||<即位>大セルジューク朝スルタン「ムハンマド・タバル」(~1118.4死去)
- 1105年-02:00|パレスチナ| |||エルサレム王国に侵攻したファーティマ朝軍をエルサレム国王ボートウアン1世がラムレで迎撃し破る
- 1105年-01:00|スウェーデン| |||<死去>スウェーデン王国国王「インゲ1世」
- 1105年-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチア・ハン「セルキウス」(~同年)
- 1105年-01:00|ドイツ| |||<就任>ニュルンベルク城伯「ゴットフリート2世・フォン・レープス」(~1137年死去)
- 1105年-01:00|スウェーデン| |||<即位>スウェーデン王国国王「フィリップ」(~1118年死去)
- 1105年1月2日-01:00|フランス| |||<死去>バル伯「ティエリ2世」兼ヴェルダン伯・モンベリアル伯「ティエリ1世」
- 1105年1月2日-01:00|フランス| |||<就任>ヴェルダン伯「ルノー1世」(~1134年退位)兼バル伯(~11490310死去)
- 1105年1月18日-09:00|韓国/朝鮮| ||高麗・乾統5年|この年高麗、耽羅国を廃し郡となす
- 1105年1月18日-08:00|中国| ||大理・文安1年|後理国の段正淳が文安(-1108年)と改元
- 1105年2月28日-01:00|フランス| |||<死去>トゥールーズ伯「レイモンド6世・ド・サンジール」兼プロヴァンス辺境伯「レーモン4世」
- 1105年2月28日-01:00|フランス| |||<就任>トゥールーズ伯「ベルラン」兼プロヴァンス辺境伯「ベルラン3世」(~1112年死去)
- 1105年3月3日-09:00|日本|岩手県西磐井郡平泉町|長治2年2月15日|藤原清衡が、平泉に最初院(中尊寺)を建立
- 1105年4月20日-02:00|トルコ| |||アンティオキア公が、セルジューク朝より外ロニア地方を奪う
- 1105年5月16日-09:00|日本|京都府京都市|長治2年4月|京で疾病流行し、河原辺に死骸充満
- 1105年7月21日-01:00|ドイツ/スイス| |||<死去>シュヴァーベン大公「フリードリヒ1世」
- 1105年7月21日-01:00|ドイツ/スイス| |||<即位>シュヴァーベン大公「フリードリヒ2世独眼公」(~11470406死去)

1150迄 (1562件)

- 1105年9月28日-01:00|イタリヤ| |||<死去>シチリア伯「シモーネ」
- 1105年9月28日-01:00|イタリヤ| |||<就任>シチリア伯「ルジエーロ2世」(⇒11300927シチリア王~11540226死去)南イタリヤ全域を征服し、その国境線は7世紀にわたって固定された
- 1105年10月26日-09:00|日本| ||長治2年9月17日<死去>章子内親王(生年1027年/皇族、後冷泉天皇の中宮)
- 1105年11月10日-09:00|朝鮮| ||高麗・乾統5年10月2日<即位>高麗王「睿宗」(~11220515(天輔6年4月8日)死去)
- 1105年11月18日-01:00|バチカン| |||<就任>対立ローマ教皇「シルヴェステル4世(マキムス)」(~11110411退任)
- 1105年12月15日-09:00|日本| ||長治2年11月7日<死去>祐子内親王、皇族(生年1038年)
- 1105年12月26日-09:00|日本| ||長治2年11月18日<死去>覚行法親王(生年1075年、法親王)
- 1105年12月31日-01:00|フランス/スイス| |||<即位>ブルグント王「ハインリヒ5世」(~11250523死去)
- 1105年12月31日-01:00|ドイツ/オーストリア/フランス/イタリヤ/スイス| |||<廃位>フランク・ローマ帝国皇帝・ブルグント王「ハインリヒ4世」兼イタリヤ王「エンリコ4世」
- 1106年-04:30|アフガニスタン| |||<死去>ナシド朝マリク「Taj al-Din II Nasr ibn Khalaf」(~1169年)
- 1106年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<死去>シルヴァンシャ朝国王「Manuchehr2世」
- 1106年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<即位>シルヴァンシャ朝国王「Afridun1世the Martyr」前王の兄弟(~1120年死去)
- 1106年-03:00|タンザニア| |||<即位>キルワ・スルタン「al-Hassan ibn Dawud」(~1129年)
- 1106年-03:00|イェメン| |||<即位>ナジャフ朝アミール「al-Mansur」(~1130年)
- 1106年-02:00|シリア・アラブ| |||アンティオキア公タンクレド「ガアハメア(シリア)奪取/キルワ・アルスラーンがメリネ(アナトリア東部)占領
- 1106年-01:00|イタリヤ| |||<死去>カプア公「リカルド2世」
- 1106年-01:00|ドイツ| |||<死去>ノルトマルク辺境伯「ロタル・ウト3世」
- 1106年-01:00|ドイツ| |||<就任>シャウエンブルク伯「アドルフ1世」(⇒1110年兼オシュタイン伯~11301113死去)
- 1106年-01:00|ドイツ| |||<就任>ノルトマルク辺境伯「ルドルフ1世」(~1112年退任)
- 1106年-01:00|ポーランド| |||<就任>ポメラニヤ統治者「シュヴェントボーク1世」(~1113年死去)
- 1106年-01:00|フランス| |||<就任>ロレンゾ伯「Robert2世」(~1112年)
- 1106年-01:00|フランス| |||<即位>下ロランキア公「ゴトフロワ6世(5世)」(~1129年)
- 1106年-01:00|イタリヤ| |||<即位>カプア公「ロベルト1世」(~1120年死去)
- 1106年-01:00|イタリヤ| |||<即位>トレント司教公「Gebhard」(~1120年)
- 1106年-01:00|フランス| |||<即位>ノルマンディー公「アンリ1世碩学公」[イングランド王ヘンリー1世(~11351201死去)]
- 1106年-01:00|フランス| |||<廃位>ノルマンディー公「ロベール2世(ロベール3世)短靴公」
- 1106年 00:00|モロッコ| |||<死去>ムラビト朝アミール「ユースフ・イブン・タシュフィーン」
- 1106年 00:00|モロッコ| |||<即位>ムラビト朝アミール「アリー・イブン・ユースフ」(~11430126死去)
- 1106年1月6日-01:00|ドイツ/イタリヤ/オーストリア/フランス/スイス| |||<即位>フランク・ローマ帝国皇帝・ブルグント王「ハインリヒ5世」兼イタリヤ王「エンリコ5世」(~11250523没)
- 1106年1月31日-09:00|日本|京都府京都市|長治2年12月25日<就任>関白:藤原忠実
- 1106年2月4日-09:00|日本|山口県|長治2年12月29日|太宰権帥藤原季仲を周防国に流す
- 1106年2月6日-09:00|日本| ||長治3年|この年以後、『今昔物語集』が成立
- 1106年2月9日-09:00|日本| ||長治3年1月4日|酉刻彗星子坤方に現れる/長さ10丈、色白く15日まで見える
- 1106年3月24日-09:00|日本|茨城県|長治3年2月17日|流人藤原季仲の配所を常陸国に改める
- 1106年4月16日-01:00|ベルギー| |||<死去>シエー伯「Arnold1世」
- 1106年4月16日-01:00|ベルギー| |||<就任>シエー伯「Otto2世」(~1131年)
- 1106年5月13日-01:00|ベルギー/オランダ| |||<就任>リンブルク公「ヘンリー1世」(~1118年)
- 1106年5月13日-09:00|日本| ||嘉承1年4月9日|長治から嘉承に改元
- 1106年5月17日-09:00|日本|京都府京都市北区|嘉承1年4月13日|賀茂別雷神社炎上
- 1106年5月19日-01:00|フランス| |||<死去>アンジュー伯「ジヨワワ4世鎚若伯」36歳
- 1106年5月19日-01:00|フランス| |||<就任>アンジュー伯「フルク5世若伯」兼エルサレム国王/フルク4世病気質伯とベルトラード・ド・モンフォールの息子(父フルク4世と共同統治~11290602退任~11431101死去54歳)
- 1106年7月3日-09:00|日本|茨城県|嘉承1年6月|源義国、叔父新羅三郎義光等と争う(常陸合戦)
- 1106年7月3日-09:00|日本|京都府京都市|嘉承1年6月|(5月~)京で疾病流行し、夭亡者多数
- 1106年7月31日-09:00|日本|京都府京都市|嘉承1年6月29日|京都大火、二条北・大炊御門南・西洞院東・町西の間炎上
- 1106年8月4日-09:00|日本| ||嘉承1年7月4日<死去>源八幡太郎義家(享年68、1039年生/武将・出羽守)
- 1106年8月7日-01:00|ドイツ/オーストリア/チェコ/イタリヤ| |||<死去>ブルグント王・ハインリヒ4世「エンリコ4世」55歳(誕生10501111)
- 1106年8月7日-01:00|ドイツ| |||<即位>ドイツ国王「ハインリヒ5世」(~1125年)
- 1106年8月16日-09:00|日本| ||嘉承1年7月16日<死去>藤原敦基(生年1046年/公家、漢詩人)
- 1106年8月23日-01:00|ドイツ| |||<即位>サクセン公「ロタル1世」神聖ローマ皇帝ロタル3世(~11371204死去)
- 1106年8月25日-09:00|日本|京都府京都市|嘉承1年7月25日|堀川五条坊門の伊予三位兼子宅焼亡
- 1106年9月13日-01:00|フランス| |||<死去>ダマルタン伯「Pierre」
- 1106年9月13日-01:00|フランス| |||<就任>ダマルタン伯「Alberic1世 de Mello」(~1112年死去)
- 1106年9月28日-01:00|フランス/イギリス| |||イギリス王ヘンリー一世がノルマンディー公ロベール二世短靴下にタンブレーで勝利→<即位>ノルマンディー公(ノルマンディー家)アンリ1世碩学公[イングランド王ヘンリー1世](~11351201)
- 1107年-07:00|カンボジア| |||<即位>クメール王朝国王「ダーラントラウアルマン1世」(~1113年戦死)

1150迄 (1562件)

- 1107年-03:30|イラン/イラク| ||<即位>アブド王「Abu Mansur ibn Surkhab」
- 1107年-03:00|タンザニア| ||ザンジバル島にモスクが建設される
- 1107年-02:00|トルコ| ||<死去>ルーム・セルジューク朝スルタン「クルチ・アルスラン1世」
- 1107年-02:00|トルコ| ||<即位>ルーム・セルジューク朝スルタン「マリク・シャー・イブン・クルチ・アルスラン」(~1116年死去)
- 1107年-02:00|シリア/アラブ| ||アンティオキア公タンクレドがラオテ・イキア(シリア)を占領
- 1107年-01:00|イタリヤ| ||<死去>パトリック「セルギウス6世」
- 1107年-01:00|カロチア/スロベニア/イタリヤ| ||<就任>イストリア辺境伯「Engelbert2世」(~1124年)
- 1107年-01:00|スロベニア| ||<就任>カロチア辺境伯「Engelbert1世」(~1124年)
- 1107年-01:00|ポーランド| ||<廃位>ポーランド公「ズビグニフ」追放、ポーランド3世クワチェスチの単独治世になる
- 1107年 00:00|イギリス| ||<就任>レスター伯「ロバート・ド・ホモン」ムラン伯(~11180605死去)
- 1107年1月8日 00:00|イギリス| ||<死去>スコットランド王「エドガー」
- 1107年1月8日 00:00|イギリス| ||<即位>スコットランド王「アレクサンダー1世」獐猛王「マルカム3世」の息子(~11240423死去)
- 1107年1月26日-08:00|中国| ||宋・大観1年|宋の徽宗が大観と改元(-1110)
- 1107年3月20日-09:00|日本|京都府京都市中京区|嘉承2年2月24日|藤原顕隆の大炊御門高倉第焼亡
- 1107年4月9日-09:00|日本|岩手県西磐井郡平泉町|嘉承2年3月15日|藤原清衡大長寿院を平泉に建てる
- 1107年4月26日-09:00|日本|京都府京都市|嘉承2年4月2日|東三条東町の小屋焼亡、三条町尻室町に延焼
- 1107年5月14日-01:00|チェコ| ||<即位>オモツク公「オジ2世」(1回目~11100716ホヘミアの囚人~1113年12月)
- 1107年5月14日-01:00|チェコ| ||<即位>ホヘミア王「スヴァトプルク・オモツク」(~11090921死去)
- 1107年5月14日-01:00|チェコ| ||<退位>ホヘミア王「ボジウオ2世」
- 1107年6月15日-09:00|日本|京都府京都市|嘉承2年5月23日|前年から京中で飛礫(つぶて-印地打ち)と呼ばれる石合戦が流行し、死傷者が多くでたので検非違使に禁止令を出させる
- 1107年7月13日-09:00|日本|京都府京都市|嘉承2年6月21日|京中落雷多発、京極殿仏堂・西大門焼亡
- 1107年8月9日-09:00|日本| ||嘉承2年7月19日|<死去>「73代天皇堀河天皇」29歳(誕生:承暦3(1079)0709)
- 1107年8月9日-09:00|日本| ||嘉承2年7月19日|<就任>摂政:藤原忠実
- 1107年8月9日-09:00|日本| ||嘉承2年7月19日|<踐祚>宗仁親王/12月1日、74代鳥羽天皇として即位(~11230128)
- 1107年10月1日 00:00|ポルトガル| ||<死去>ポルトガル伯「Raimundo(in Galicia)」
- 1107年10月5日-09:00|日本|京都府京都市中京区|嘉承2年9月17日|藤原俊第(二条室町)焼亡
- 1107年10月15日 00:00|アイスランド| ||<就任>アイスランド連邦共和国政府(アルシング)法話者「ウルフェイン・グンナソン」(11080619まで代行~1116年)
- 1107年12月29日-09:00|日本| ||嘉承2年11月14日|<死去>藤原公実(生年1053年/公卿、歌人)
- 1108年-05:30|インド| ||<即位>ヒイラ朝国王「ウイシュヴァルタナ」ハッラ-1世の弟(~1152年)
- 1108年-04:00|ロシア| ||<即位>ウラジミール・スズダリ公「ユーリー・ド・ルーキ」(~1149.9退位)
- 1108年-03:00|イラク| ||<即位>マサヤト朝アミール「テュバ・イス2世・イブン・スィドカ、ヌルタウラ」(~1135年)
- 1108年-01:00|チュニジア/アルジェリア/リビア| ||<死去>スィール朝アミール「タミン・イブン・アルムイッス」
- 1108年-01:00|ドイツ| ||<就任>オルデンブルク伯「エグムル2世」(~1142年)
- 1108年-01:00|ハンガリー| ||<就任>ハンガリー王国パライン「ヨハン」(~1116年)
- 1108年-01:00|チュニジア/アルジェリア/リビア| ||<即位>スィール朝アミール「ヤフヤー・イブン・タミン」(~1116年)
- 1108年1月29日-09:00|朝鮮/中国| ||高麗・乾統7年12月15日|高麗、女直を攻める
- 1108年2月14日-08:00|中国| ||大理・文安4年|<譲位>後大理初代皇帝「中宗文安帝(段正淳)」
- 1108年2月14日-08:00|中国| ||大理・文安4年|<即位>後大理第2代皇帝「憲宗宣仁帝(段正嚴)」(~1147年譲位)
- 1108年2月14日-07:00|ベトナム| ||大越・竜符元化8年|コサ堤防を建設
- 1108年3月3日-09:00|日本| ||嘉承3年1月19日|平正盛、源義親を追討する
- 1108年4月17日-09:00|日本|福岡県太宰府市|嘉承3年3月5日|太宰府管内の神人が蜂起
- 1108年5月12日-08:00|中国/朝鮮| ||契丹・乾統8年3月30日|高麗、女直の地に九城を築く
- 1108年5月13日-09:00|日本|京都府京都市|嘉承3年4月1日|延暦寺大衆数千人が神輿を奉じて入洛、朝廷、源平二氏の兵を派遣して防御
- 1108年5月16日-09:00|日本|京都府京都市|嘉承3年4月4日|町尻東西・近衛北・土御門南2町焼亡
- 1108年7月29日-01:00|フランス| ||<死去>フランス王(カペー朝)「フィリップ1世」56歳(1052年生)
- 1108年8月3日-01:00|フランス| ||<即位>フランス王(カペー朝)「ルイ6世(肥満王)」フィリップ1世の子(~11370801死去)
- 1108年8月29日-09:00|日本| ||嘉承3年7月21日|<浅間山「天仁噴火」>突然、浅間山噴火/猛火は峰を焼き、噴煙は天に立ち昇り、火山灰や礫(れき・焼けた小石)などが上野国一帯に降り、庭にも積もり、国内の田畑は壊滅状態になった
- 1108年9月9日-09:00|日本| ||天仁1年8月3日|嘉承から天仁に改元
- 1108年10月16日-09:00|日本|奈良県桜井市|天仁1年9月10日|興福寺僧徒が多武峯の堂舎などを焼く
- 1109年-06:30|ミャンマー| ||<即位>アラン国王「ティハ」(~1110年)
- 1109年-01:00|フランス/スペイン| ||<死去>コンフラン伯「ギョーム2世 Jordan」兼サルト・ニヤ伯「ウイリアム2世」
- 1109年-01:00|スペイン| ||<死去>ペルカ伯「William2世」
- 1109年-01:00|フランス/スペイン| ||<就任>コンフラン伯「Bernard」(~1117年)兼サルト・ニヤ伯「Bernard」(~1118年死去)
- 1109年-01:00|イタリヤ| ||聖ユークがクニエ修道院でロマネスク様式を創始
- 1109年2月2日-08:00|中国| ||大理・日新1年|後理国の段正嚴が日新と改元(-1147)
- 1109年4月1日-09:00|日本|新潟県佐渡市|天仁2年2月29日|源義綱が佐渡に流される
- 1109年4月14日-01:00|フランス| ||<死去>アンジュ伯「フルク4世病気質伯」66歳

1150迄 (1562件)

- 1109年6月29日-01:00|スเปน| |||<死去>カスティーリヤ国王・レオン国王「アルフォンソ6世勇敢王」
- 1109年6月29日-01:00|スเปน| |||<即位>カスティーリヤ国女王・レオン女王「ウカ」(~11260308死去)
- 1109年7月12日-01:00|リビア/イスラエル| |||イェルサレム王ホー・ト・ウアン1世がトリポリを占領
- 1109年7月22日-02:00|レバノン| |||十字軍が、シバハラを占領
- 1109年7月31日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||高麗・乾統9年7月2日|高麗、女直に九城を返す
- 1109年9月21日-01:00|チェコ| |||<死去>ホヘミア王「スヴァトプルク・ボボウキ」
- 1109年9月21日-01:00|チェコ| |||<即位>ホヘミア王代行「ウジスラフ1世」(1回目⇒10.2王~11171221)
- 1110年-06:30|ミャンマー| |||<即位>アラカン国王「ラサジ」(~1112年)
- 1110年-05:30|スリランカ| |||<死去>ホロナル王「ウイジャバハ1世」
- 1110年-05:30|インド| |||<即位>カカティヤ朝国王「プロラ2世」(~1158年)
- 1110年-05:30|インド| |||<即位>チャンドラ朝国王「Jaya-Varman」(~1120年)
- 1110年-05:30|スリランカ| |||<即位>ホロナル王「Jayabahu1世」(~1111年)
- 1110年-01:00|ドイツ| |||<就任>ヴェルテンベルク伯「コンラート2世」(~1143年死去)
- 1110年-01:00|ドイツ| |||<就任>シャウエンベルク伯・ホルシュタイン伯「アトル1世」(~11301113死去)
- 1110年-01:00|スウェーデン| |||<即位>スウェーデン王国国王「インゲ2世」(~1125年死去)
- 1110年 02:00|グリーンランド/アイスランド| |||<就任>グリーンランド統治者「Eirik Gnupasson」
- 1110年1月 00:00|イギリス| |||<即位>ホイス公「Iorwerth ap Bleddyn」(~1111年)
- 1110年1月22日-08:00|中国| ||大理・文治1年|後理の段正嚴が文治と改元
- 1110年1月22日-07:00|ベトナム| ||大越・会祥大慶1年|大越・李朝の仁宗李乾徳が会祥大慶と改元(-1119)
- 1110年4月18日-09:00|日本|山形県|天仁3年3月27日|出羽守源光国が、摂政藤原忠実の寒河江荘を侵す/源光国は後に国家呪詛の罪で流される
- 1110年5月13日-02:00|エジプト/イスラエル/レバノン| |||イェルサレム王ホー・ト・ウアン1世がエジプト人からベイルートの港を奪う
- 1110年6月2日-09:00|日本| ||天仁3年5月13日|彗星東方に現れる。長さ5尺
- 1110年7月11日-01:00|フランス| |||<死去>メヌ伯「エリア1世」
- 1110年7月11日-01:00|フランス| |||<就任>メヌ伯「エランベール」(~11260115死去)、「フルク5世」(~11260115退位)
- 1110年7月16日-01:00|チェコ/スロバキア| |||ボボウキをホヘミアが支配(~1113年12月)
- 1110年7月31日-09:00|日本| ||天永1年7月13日|天永に改元
- 1110年8月6日-03:00|イラク| |||<即位>バグダート・アッバース朝カリフ「ムスタヒド」(~11350829死去)
- 1110年12月4日-02:00|エジプト/ルウェー/イスラエル| |||ホー・ト・ウアン1世が、エジプト領シオンを占領/ルウェーとヴェネツィア海軍が支援
- 1111年-05:30|スリランカ| |||<即位>ホロナル王「Vikramabahu1世」Vi jayabahu1世の息子(~1132年死去)
- 1111年-04:00|アルメニア| |||<死去>シャー=アルメニス「Sokmen1世」
- 1111年-04:00|アルメニア| |||<即位>シャー=アルメニス「Zahireddin Ibrahim」(~1127年)
- 1111年-01:00|ドイツ| |||<就任>テューリングェン方伯「ヘルマン1世」ウイツェンベルク伯(~1130年薨位)
- 1111年-01:00|スเปน| |||<即位>ガルシア王「アルフォンソ7世」(~1126年)
- 1111年 00:00|イギリス| |||<死去>ハンティントン伯・ノーサンブトン伯「Simon1世 de Senlis」
- 1111年 00:00|イギリス| |||<就任>ハンティントン伯「David1世 of Scotland」(~1130年)
- 1111年 00:00|イギリス| |||<即位>ホイス公「キルトウアン・アブ・ブレイン」⇒「オウエイン・アブ・キルトウアン」(~1116年死去)
- 1111年2月-01:00|ドイツ/バチカン| |||ハインリッヒ5世が教皇バスカリス2世とストリ条約を結び、国王の聖職叙任権放棄、教会の帝国財産放棄を規定
- 1111年2月10日-08:00|中国| ||宋・政和1年|北宋代徽宗が政和(-1118年)と改元
- 1111年2月10日-08:00|中国| ||契丹・天慶1年|遼天祚帝が天慶(-1120年)と改元
- 1111年2月19日-09:00|日本| ||天永2年1月10日|<死去>源国信(生年1069年/公卿、歌人)
- 1111年2月22日-01:00|イタリア| |||<死去>プツィヤ・カラブリア公「ルジジェーロ1世」
- 1111年2月22日-01:00|イタリア| |||<即位>プツィヤ・カラブリア公「グリエルモ2世」ルジジェーロ1世の三男(~1127.7死去シチリア伯領に併合)
- 1111年2月24日-09:00|日本|京都府京都市|天永2年1月15日|放火により高陽院女房曹司町焼亡
- 1111年3月3日-02:00|シリア・アラブ| |||<死去>アンティオキア公「マルコ・ボエモン1世」
- 1111年3月3日-02:00|シリア・アラブ| |||<即位>アンティオキア公「ボエモン2世」(~1130.2死去)
- 1111年3月12日-09:00|日本|京都府京都市東山区|天永2年2月1日|六波羅蜜寺焼亡
- 1111年4月11日-01:00|バチカン| |||<退任>対立ローマ教皇「シルヴェスター4世(マクヌス)」
- 1111年4月13日-09:00|日本|奈良県奈良市|天永2年3月4日|円成寺の塔、放火で焼亡
- 1111年10月5日-01:00|フランス/ベルギー| |||<死去>フランドル伯「ロベール2世」
- 1111年10月5日-01:00|フランス/ベルギー| |||<就任>フランドル伯「ホー・ト・ウアン7世」ロベール2世の息子(~11190717死去)
- 1111年11月7日-09:00|日本| ||天永2年10月5日|荘園の整理の徹底を目的に荘園記録所が開設
- 1111年11月14日-09:00|日本| ||天永2年10月12日|<死去>藤原正家(生年1026年/公家、学者、歌人)
- 1112年-06:30|ミャンマー| |||<即位>アラカン国王「タウイン1世」(~1115年)
- 1112年-01:00|フランス| |||<死去>タマルタン伯「Alberic1世 de Mello」
- 1112年-01:00|フランス| |||<死去>トゥールーズ伯「ベルトラン」兼フワンス辺境伯「ベルトラン3世」
- 1112年-01:00|セルビア| |||<死去>ラシア大公「ブーカン」
- 1112年-01:00|フランス| |||<就任>タマルタン伯「Alberic2世」(~1183年死去)
- 1112年-01:00|フランス| |||<就任>トゥールーズ伯・フワンス辺境伯「アルフォンソ1世ジョルダン」(~1148年)

1150迄 (1562件)

- 1112年-01:00|ドイツ| |||<就任>ノルトマルク辺境伯「Helperich」(~1114年退任)
- 1112年-01:00|ドイツ| |||<就任>フェルデンツ伯「Gerlach1世」(~1146年)
- 1112年-01:00|フランス| |||<就任>プロヴァンス伯「トウヌ1世」ジユベールジュの娘(~1127年)、「レモン・ベランジュ1世」ハルシュ伯ラモン・ランゲ-3世(~1130123死去)
- 1112年-01:00|フランス| |||<就任>エリク伯「Stephen」(~1135年)
- 1112年-01:00|フランス| |||<即位>ブルターニュ公・レンヌ公・レンヌ伯「コナン3世肥満公」アラン4世とエルマンガルト・ダンジュ-の長子(~11480917死去)
- 1112年-01:00|セルビア| |||<即位>ラシア大公「ウロシュ1世」(~1145年)
- 1112年-01:00|フランス| |||<退位>ブルターニュ公「アラン4世若公」(~11191013死去60歳)
- 1112年-01:00|ドイツ| |||<退任>ノルトマルク辺境伯「ルトル1世」
- 1112年-01:00|ドイツ| |||<発足>ケルンで住民自治の「自由のための専制共同体」が成立
- 1112年3月15日-01:00|チェコ| |||<死去>スノイ公「リトル」
- 1112年3月15日-01:00|チェコ| |||<就任>スノイ公摂政「ソヘスラフ1世」(1回目~11130718)
- 1112年3月15日-01:00|チェコ| |||<即位>スノイ公「コラート2世オク」(1回目~1128年11月投獄される~1134年)
- 1112年5月13日-01:00|ドイツ| |||<就任>ヴァイマル=オラミュンデ伯「ジークフリート1世」ライン宮中伯(~1113年)
- 1112年6月9日-09:00|日本| 京都府京都市中京区|天永3年5月13日|皇居高陽院焼失
- 1113年-07:00|カンボジア| |||<死去>クメール王朝国王「タランティラウアルマン1世」戦死
- 1113年-07:00|カンボジア| |||<即位>クメール王朝国王「スリヤワアルマン2世」(~1150年)
- 1113年-06:30|ミャンマー| |||<死去>パガン王朝君主「チャンツター」
- 1113年-06:30|ミャンマー| |||<即位>パガン王朝君主「アラウシードウー」(~1167年死去)
- 1113年-04:30|アフガニスタン/インド| |||カズナ朝マサウド3世がカナク占領、カハダヴァー朝マタナチャントラを捕虜
- 1113年-04:00|ロシア| |||<即位>スモレンスク公「ウヤチスラフ・ウラジミロウイチ」(~1127年)
- 1113年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ペレヤスラフリ公「スヴャトスラフ・ウラジミロウイチ」(~1114年)
- 1113年-02:00|ウクライナ| |||<退位>ペレヤスラフリ公「ウラジミール・フセヴォドウイチ」
- 1113年-01:00|ポーランド| |||<死去>ポメリニ統治者「シュウイェントウク1世」
- 1113年-01:00|ドイツ| |||<就任>ヴァイマル=オラミュンデ伯「ジークフリート2世」(~1124年)
- 1113年-01:00|フランス| |||<就任>ルシヨン伯「Gausfred3世」(~1164年死去)
- 1113年4月6日-01:00|ドイツ| |||<就任>ライン宮中伯「ゴットフリート・フォン・カル」(~1129年退位)
- 1113年4月16日-02:00|ウクライナ| |||<死去>キエフ大公「スヴャトホルク2世」
- 1113年5月4日-02:00|ウクライナ| |||<即位>キエフ大公「ウラジミール2世モロワ」(~11250519死去)
- 1113年5月16日-09:00|日本| 京都府京都市東山区|天永4年閏3月29日|延暦寺の僧徒が清水寺の堂舎を破壊し、法皇御所に至って興福寺僧徒の罪を訴える(永久の強訴~4月30日)
- 1113年7月18日-01:00|チェコ| |||<就任>スノイ公摂政「ホルジビ2世」(~11151111)
- 1113年8月25日-09:00|日本| ||永久1年7月13日|永久に改元
- 1113年9月10日-09:00|日本| ||永久1年7月29日|<任命>鎮守府将軍「橘以綱」(~不詳)
- 1113年11月1日-09:00|日本| 京都府宇治市|永久1年9月21日|暴風、宇治橋流出
- 1113年11月11日-08:00|中国| ||契丹・天慶3年10月以降|<死去>女真完顔部10代目首長「烏雅束」53歳
- 1113年11月11日-08:00|中国| ||契丹・天慶3年10月以降|<即位>女真完顔部11代目首長「阿骨打(太祖)」劾里鉢の次子
- 1113年12月-01:00|チェコ| |||<復位>オロモウツ公「オク2世」(2回目~11260218死去)
- 1113年12月10日-02:00|シリア・アラブ| |||<死去>シリア(アレクソ)セルジューク朝スルタン「リトワン」
- 1113年12月10日-02:00|シリア・アラブ| |||<即位>シリア(アレクソ)セルジューク朝スルタン「アルブ・アルスラン」リトワンの息子(~1114年)
- 1114年-05:30|インド| |||<即位>カハダヴァー朝国王「コウインダチャントラ」(~1155年)
- 1114年-03:30|イラン| |||<死去>パハント朝太守「Shahriyar4世」
- 1114年-03:30|イラン| |||<即位>パハント朝太守「Qarin3世」(~1117年死去)
- 1114年-02:00|シリア・アラブ| |||<即位>シリア(アレクソ)セルジューク朝スルタン「スルタン・シャー」リトワンの息子(~1117年)
- 1114年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ペレヤスラフリ公「ヤホルク・ウラジミロウイチ」(~1132年)
- 1114年-02:00|ルワンダ| |||<即位>ルワンダ王国ムミ「カンヤワンタ1世」カヒム1世(~1147年)
- 1114年-01:00|モンテネグロ| |||<死去>トウクリヤ王「ウラジミール・ウラジミロウイチ」いとこのジヨルジュ1世に毒殺された
- 1114年-01:00|フランス| |||<就任>トゥールズ伯「フィリップ」「ギョーム9世」(~1117年)
- 1114年-01:00|ドイツ| |||<就任>ノルトマルク辺境伯「ハインリヒ2世」(~11281204死去)
- 1114年-01:00|フランス| |||<就任>ヒューゴール伯「Gentule2世」(~1129年死去)
- 1114年-01:00|ドイツ/オランダ| |||<就任>ユリヒ伯「ケルハルト2世(4世)」(~1127年)
- 1114年-01:00|モンテネグロ| |||<即位>トウクリヤ王「ジヨルジュ・コンスタンティン」(1回目~1118年)
- 1114年-01:00|スペイン| |||<即位>マジョルカ・タイファ「Abu-l-Rabi Sulayman "El Burabe"」(~1126年)
- 1114年-01:00|ドイツ| |||<退任>ノルトマルク辺境伯「Helperich」
- 1114年2月3日-09:00|日本| ||永久1年12月26日|<就任>関白:藤原忠実(~保安2年正月22日女勲子の入内への対応で白河上皇の勸氣に触れ失脚)
- 1114年2月8日-08:00|中国| ||西夏・雍寧1年|西夏の崇宗が雍寧(-1118年)と改元
- 1114年2月8日-07:00|ベトナム| ||大越・会祥大慶5年|<即位>チャンパ王「ハリウアルマン5世」(~1129年)
- 1114年3月22日-09:00|日本| ||永久2年2月14日|民間の摺衣着用や博打を禁止する/以後、摺衣は高貴な者の着用となる

1150迄 (1562件)

- 1114年6月5日-09:00|日本|奈良県天理市|永久2年5月|権少僧都頼實永久寺を奈良に建立  
 1114年9月3日-09:00|日本|京都府京都市中京区|永久2年8月3日|皇居大炊殿焼失  
 1114年9月20日-09:00|日本| ||永久2年8月20日|<死去>正子内親王(生年1045年/皇族、賀茂斎院)  
 1114年10月1日-08:00|中国| ||遼の天慶4年9月|阿骨打、挙兵し、寧江州等を占領  
 1114年10月30日-09:00|日本| ||永久2年10月1日|<死去>篤子内親王(生年1060年/堀河天皇の皇后、賀茂斎院)  
 1114年12月27日-09:00|日本|京都府京都市左京区|永久2年11月29日|白河法皇の発願で建立した法勝寺の新阿陀堂の供養、9体の弥陀尊像は越前守藤原顕盛が作ったもの  
 1115年-06:30|ミャンマー| ||<即位>アラン国王「タウイン2世」(~1133年)  
 1115年-04:30|アフガニスタン/インド| ||<即位>ガズナ朝君主「シールザード」(~1116年)  
 1115年-02:00|ウクライナ| ||<即位>ヴォロド・セヴェルスキー公「フセヴォド・オリコウイチ」(~1127年)  
 1115年-02:00|シリア・アラブ| ||アレクサンドロス1世がアンティオキア公国へ攻め込みサルミンでアンティオキア公ロジェに敗北  
 1115年-01:00|デンマーク/ドイツ| ||<即位>シュレーズビヒ公「クヌズ・ラウアー」(~11310107死去)  
 1115年-01:00|デンマーク/ドイツ| ||<退位>シュレーズビヒ公「ニコラス1世」  
 1115年1月23日-01:00|フランス| ||<即位>ロレーヌ(ロトリンゲン)公「シモン1世」(~11380413)  
 1115年1月28日-08:00|中国| ||契丹・天慶5年|遼の天祚帝、金を討つ為親征するも、混同江畔護歩答岡で大敗  
 1115年1月28日-08:00|中国| ||金・収国1年1月1日|<即位>金第1代皇帝「太祖(阿骨打=アハダ)完顔旻」(~1123年9月19日(天輔7年8月28日)死去)大金国を建国、収国(-1116年)と改元  
 1115年7月24日-01:00|イタリヤ| ||<死去>トスカナ辺境伯・マントヴァ伯「マティルデ」  
 1115年11月11日-01:00|チェコ| ||<死去>ブルノ公「オルジヒ2世」  
 1115年11月11日-01:00|チェコ| ||<就任>スヴォイモ公摂政「ソラスラフ1世」(2回目)兼ブルノ公摂政(~1123年3月)  
 1115年11月11日-01:00|チェコ| ||<即位>ブルノ公「ヴラチスラフ2世」(1回目~1128年11月)  
 1115年12月22日-01:00|ルウェー| ||<死去>ルウェー王「オラフ4世マグナソン」  
 1116年-04:30|アフガニスタン/インド| ||<即位>ガズナ朝君主「アルスラン・シャー」(~1117年)  
 1116年-03:30|イラン| ||ヒザンツ、アレクシオス1世、ホリュホトスの戦いでセルジューク軍を破る  
 1116年-02:00|トルコ| ||<死去>ルム・セルジューク朝スルタン「マリク・シャー・イブン=クルチ・アルスラン」  
 1116年-02:00|トルコ| ||<即位>ルム・セルジューク朝スルタン「マスード1世」(~1156年死去)  
 1116年-01:00|スペイン| ||<死去>アンフリアス伯「Hugh2世」  
 1116年-01:00|ドイツ| ||<就任>東フランク大公(ロテンブルク大公)「コンラート1世」(~1152年)  
 1116年-01:00|スペイン| ||<就任>アンフリアス伯「Ponc2世」(~1154年)  
 1116年-01:00|クロアチヤ| ||<就任>クロアチヤ・ハン「クレティン」(~1117年)  
 1116年-01:00|チュニジア/アルジェリア/リビア| ||<即位>スィール朝アミール「アリー・イブン・ヤフヤー」(~1121年)  
 1116年-01:00|スペイン| ||<即位>ハタム・タィファ「Hakam ibn Muhammad al-Hayy」(~1143年)  
 1116年 00:00|イギリス| ||<死去>ホイス公「オウエイン・アブ・キヤトウカ」  
 1116年 00:00|アイルランド| ||<就任>アイルランド連邦共和国政府(アルシング)法話者「ベルグ・トル・フラーソン」(11170622日まで代行~1122年没)  
 1116年 00:00|イギリス| ||<即位>ホイス公「マレタット・アブ・ブレティン」(~11320209死去)  
 1116年1月17日-09:00|日本| ||永久4年|この年、三善為康、詩文・宣旨・官符・書札等各種文書を分類した「朝野群載」を編纂  
 1116年1月17日-08:00|中国| ||金・収国2年1月|<即位>大渤海(大元)王「高永昌(隆基)」遼陽に拠って自立、隆基元年を称する(~5月、金軍により殺害され大渤海は滅亡)  
 1116年2月3日-01:00|ハンガリー/クロアチヤ| ||<死去>ハンガリー王・クロアチヤ王「カルマン文人王」  
 1116年2月3日-01:00|ハンガリー/クロアチヤ| ||<即位>ハンガリー王・クロアチヤ王「シュテファン2世」カルマン文人王の息子(~11310301没)  
 1116年6月13日-08:00|中国| ||金・収国2年5月|金將幹魯、遼陽を攻略して高永昌を殺害し、遼東地方を征圧  
 1116年9月25日-09:00|日本|京都府京都市中京区|永久4年8月17日|皇居大炊殿焼失  
 1117年-08:00|インドネシア| ||<即位>ケティ王国国王「ハーム・シュワ」(~1130年)  
 1117年-05:00|モルデイヴ| ||<即位>ティムケ朝国王「Koimala」(~1141年)  
 1117年-04:00|ロシア| ||<即位>ヴォロド公「フセヴォド・ムスチスラウイチ」(~1132年)  
 1117年-03:30|イラン| ||<死去>ハハント朝太守「Qarin3世」  
 1117年-03:30|イラン| ||<即位>ハハント朝太守「Rustam3世」(~1118年病死)  
 1117年-03:30|イラン| ||<即位>ハタム・ニド朝君主「Shahrivash」(~1168年死去)  
 1117年-02:00|ウクライナ| ||<即位>ヴォロド公「ムスチスラフ・ウラジミロウイチ」(~1125年)  
 1117年-01:00|イタリヤ| ||<就任>ヴェネツィア共和国第35代ドージェ(元首)「トメッコ・ミキエル」(~1130年)  
 1117年 00:00|ポルトガル| ||<即位>ポルトガル女王「レリ」ポルトガール女伯(~11301111死去)  
 1117年2月4日-08:00|中国| ||金・天輔1年1月1日|金、阿骨打が天輔(-1123年)と改元  
 1117年2月8日-09:00|日本|京都府京都市|永久5年1月8日|京都大火、高倉が/小路より出火、東・河原に及ぶ。法成寺塔・京極御堂・南大門・惣社・民家など1000余焼亡  
 1117年2月25日-04:30|アフガニスタン/インド| ||<即位>ガズナ朝君主「ハフラーム・シャー」(~1150年~1157年死去)  
 1117年9月28日-09:00|日本|京都府京都市|永久5年9月1日|大風雨で新造内裏・勸学院・梅宮社・法興院など顛倒  
 1117年10月11日-09:00|日本|京都府京都市|永久5年9月14日|皇后御所二条殿炎上  
 1117年12月10日-09:00|日本|京都府京都市|永久5年11月15日|藤原長実第(二条万里小路)焼亡  
 1117年12月21日-01:00|チェコ| ||<復位>ホヘミヤ王「ボジウオイ2世」(2回目~11200816退位~11240202死去)

1150迄 (1562件)

- 1118年-05:30|インド| |||<即位>チョーラ朝国王「Vikrama」(~1135年死去)
- 1118年-04:00|アルメニア/アゼルバイジャン| |||<即位>シャッター朝(アニ)国王「アブール=アスワル=シャウール2世」(~1124年)
- 1118年-03:30|イラン| |||<死去>ハハント朝太守「Rustam3世」病死
- 1118年-03:30|イラン| |||<即位>ハハント朝太守「Ali1世」(~1142年)
- 1118年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ウァルイーニ公「ロマン=ウラジミロウイチ」(~1119年)
- 1118年-02:00|トルコ| |||<即位>メンジューク君主「Ishak」(~1142年)
- 1118年-01:00|フランス/スペイン| |||<死去>サルト=ニャ伯「Bernard」兼ヘルク伯「Bernard2世」
- 1118年-01:00|フランス/スペイン| |||<死去>スウェーデン王国国王「ワイリップ」
- 1118年-01:00|フランス| |||<死去>ルテル伯「ユーク1世」
- 1118年-01:00|フランス| |||<即位>サルト=ニャ伯「ラモン=ハランゲール1世」(~11310123死去)
- 1118年-01:00|フランス| |||<即位>サン=ポル伯「ユーク3世」(~1130年)ユーク2世の子
- 1118年-01:00|ドイツ| |||<即位>スポンハイム伯「Meginhard1世」(~1136年)
- 1118年-01:00|フランス| |||<即位>トゥールーズ伯「キョーム10世」(~1120年退任)
- 1118年-01:00|ベルギー=オランダ| |||<即位>リンブルフ公「ワラム1世パガヌ」(~1139年)
- 1118年-01:00|フランス| |||<即位>ルテル伯「シエルグエ」(~1124年死去)ユーク1世の子、エルサレム王ホードゥアン2世兄
- 1118年-01:00|モンテネグロ| |||<即位>ドゥクリヤ王「ケルベ=シャ=フランスラウ=リェウイッチ=ビザンチン」の助けを借りてジョルジエを打倒(~1125年死去)
- 1118年-01:00|フランス/イギリス| |||アンジュー伯フォルク5世がイギリス王ヘンリー一世とメイン伯領をめぐりアランソンで戦い勝利
- 1118年-01:00|カプア/イタリア| |||ウエネツィアによるダルマチアのスパラト/スプリット統治(~1124年)
- 1118年 00:00|アイルランド| |||<即位>トモント王「コンチョール=オー=ブリアン」デアムイト=オブリアンの息子(~1142年没)
- 1118年 00:00|アイルランド| |||ダブリンをコノートが占領(~1125年)
- 1118年 00:00|アイルランド| |||テスマム(テスマント)(南ミンスター)がムム(ミンスター)から分離
- 1118年1月21日-01:00|ハチカン| |||<死去>第160代ローマ教皇「ハスクリス2世」
- 1118年1月24日-01:00|ハチカン| |||<即位>第161代ローマ教皇「ケラウス2世」(~11190129死去)
- 1118年3月2日-09:00|日本|奈良県|永久6年2月9日|大和国大和社焼失
- 1118年3月10日-01:00|ハチカン| |||<即位>対立ローマ教皇「グレゴリウス8世(マリテウス=ブルティヌス)」(~11210420)
- 1118年4月-03:30|イラン/イラク/トルクメニスタン| |||<死去>大セルジューク朝スルターン「ムハンマド=タハル」
- 1118年4月-03:30|イラン/イラク/トルクメニスタン| |||<即位>大セルジューク朝スルターン「アフラト=サンジャル」(~11570508),「マフムド2世」(~11310910死去)
- 1118年4月2日-02:00|ハレスチナ| |||<死去>エルサレム国王「ホードゥアン1世」60歳
- 1118年4月2日-02:00|トルコ| |||<即位>ティッサ伯「ジョスラン1世」(~1131年死去)
- 1118年4月2日-02:00|ハレスチナ| |||<即位>エルサレム国王「ホードゥアン2世」ルテル伯ユーク1世とメリザント=ド=モンテリの息子(~11310821死去)
- 1118年4月2日-02:00|トルコ| |||<退任>ティッサ伯「ホードゥアン2世」
- 1118年4月25日-09:00|日本| |||元永1年4月3日|元永に改元
- 1118年6月5日 00:00|イギリス| |||<死去>ムラン伯=レスタ伯「ロバート1世=ド=ホーモン」
- 1118年6月5日 00:00|イギリス| |||<即位>ムラン伯「Waleran=ド=ホーモン」(~11660406死去)
- 1118年6月5日 00:00|イギリス| |||<即位>レスタ伯「ロバート=ド=ホーモン」(~11680405死去)
- 1118年6月21日-09:00|日本|京都府京都市|元永1年6月|京都長雨=洪水=飢饉=餓死者多数
- 1118年8月6日-03:00|イラク| |||<死去>バグダード=アッバース朝第28代カリフ「ムスタヒル」
- 1118年8月6日-03:00|イラク| |||<即位>バグダード=アッバース朝第29代カリフ「ムスタヒド」(~11350829死去)
- 1118年8月15日-02:00|トルコ| |||<死去>東ローマ皇帝「アレクシオス1世コムネノス」61歳(誕生1048年)
- 1118年8月15日-02:00|トルコ| |||<即位>東ローマ皇帝「ヨハネス2世コムネノス(心美しきヨハネス)」アレクシオス1世コムネノスの子(~11430408死去)
- 1118年10月9日-09:00|日本|京都府京都市|元永1年9月23日|七条堀川辺焼亡、延焼10余町
- 1118年12月10日-09:00|日本|京都府京都市|元永1年10月26日|藤原宗通の九条水閣焼亡
- 1118年12月15日-08:00|中国| |||宋=重和1年11月1日|北宋の徽宗が重和(-1119年)と改元
- 1118年12月18日-01:00|スペイン| |||イベリア半島で、レコンキスタ(国土回復運動)がすすめられ、アラゴン王アルフォンソ1世がサラゴサを占領して首都と
- 1119年-03:00|ベルギー=フランス| |||<死去>ミンク公「ケレフ=フェスラウイチ」
- 1119年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ウァルイーニ公「アント=レイ=ウラジミロウイチ」(~1135年)
- 1119年-02:00|ハレスチナ| |||エルサレムでテンポル騎士団が結成される
- 1119年-01:00|ベルギー=フランス| |||<死去>リエージュ公「オットルト」
- 1119年-01:00|ベルギー=オランダ| |||<死去>リンブルフ公「ハインリヒ1世」
- 1119年-01:00|デンマーク| |||<即位>シュレスヴィヒ公「クヌズ=ラウアー」(~11310107死去)
- 1119年-01:00|フランス| |||<即位>ナント伯「コナン2世」アランの息子(~1148年)
- 1119年-01:00|フランス| |||<即位>プロヴァンス辺境伯「アルフォンソ1世」トゥールーズ伯(~1148年)
- 1119年-01:00|ベルギー=フランス| |||<即位>リエージュ公「フレデリック」(~1121年死去)
- 1119年-01:00|ベルギー=オランダ| |||<即位>リンブルフ公「ヴァラム2世」(~11390806死去)
- 1119年-01:00|ドイツ/オランダ| |||<即位>クレフェ伯「アルノルト1世」(~1147年)
- 1119年1月12日-09:00|日本|京都府京都市|元永1年11月29日|穀倉院焼亡
- 1119年1月29日-01:00|ハチカン| |||<死去>第161代ローマ教皇「ケラウス2世」

1150迄 (1562件)

1119年1月29日-09:00|日本|京都府京都市左京区|元永1年12月17日|最勝寺建立  
1119年2月2日-01:00|バチカン| ||<就任>第162代ローマ教皇「カリストゥス2世」(~11241213死去)  
1119年2月12日-08:00|中国| ||西夏・元徳1年|西夏の崇宗が元徳(-1127年)と改元  
1119年3月12日 00:00|アイルランド| ||<死去>アイルランド 上王「ミューフェルトゥハ・マック・テルテルバ イク」  
1119年3月12日 00:00|アイルランド| ||<即位>アイルランド 上王「ト・ナル・マック・アード・ヘア」(~11210209没)  
1119年3月16日-08:00|中国| ||宋・宣和1年2月4日|北宋代徽宗が宣和(-1125年)と改元  
1119年5月2日-09:00|日本|京都府京都市中京区|元永2年3月21日|藤原宗通の新造六角東洞院宅焼亡  
1119年5月14日-09:00|日本|京都府京都市右京区|元永2年4月14日|仁和寺金堂など焼亡  
1119年5月25日-08:00|中国| ||西夏の元徳1年4月15日|童貫、西夏軍を破る  
1119年6月20日 00:00|イギリス| ||<死去>ウァリック伯「ヘンリー・ド・ホーモント」  
1119年6月28日-02:00|シリア・アラブ| ||アレクソのイルガジ軍はサマタの戦いで四方からアンティオキア軍を攻撃しアンティオキア公ロジエ戦死/エルサレム国王ボートゥアン2世が摂政に入ってアンティオキア公国はエルサレム王国の保護国となった  
1119年7月17日-01:00|フランス/ベルギー| ||<死去>フランドル伯「ボートゥアン7世」  
1119年7月17日-01:00|フランス/ベルギー| ||<就任>フランドル伯「シャルル1世(善良伯)」デンマーク王クヌーズ4世(聖王)の息子(~11270302死去)  
1119年8月14日-02:00|シリア・アラブ| ||アレクソのイルガジとダマスカスのトゥグテギンがアンティオキア公国へ侵攻しハブでエルサレム王ボートゥアン二世に勝利  
1119年8月15日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|元永2年7月8日|法界寺観音堂焼亡  
1119年8月20日-01:00|フランス/イギリス| ||ノルマンディ公国を巡り、イギリス王ヘンリー1世がフランス王ルイ六世肥満王とブルームルで戦い勝利  
1119年9月21日-08:00|中国| ||金・天輔3年8月15日|金、女直大字を頒かつ  
1119年10月13日-01:00|フランス| ||<死去>ナント伯「アラン2世」  
1119年12月1日-09:00|日本|京都府京都市左京区|元永2年11月1日|賀茂下社焼失  
1119年12月31日-09:00|日本| ||元永2年11月28日|<死去>輔仁親王(生年1073年/皇族、歌人)  
1120年-05:30|インド| ||<即位>チャンドラ朝国王「Prithvi-Varman」(~1128年)  
1120年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| ||<死去>シルヴァンシャー朝国王「Afridun1世the Martyr」  
1120年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| ||<即位>シルヴァンシャー朝国王「Manuchehr3世」前王の息子(~1160年死去)  
1120年-04:00|ロシア| ||<復元>テムルバント首長国(~1239年)  
1120年-01:00|オランダ| ||<死去>エノー伯「ボートゥアン3世」  
1120年-01:00|イタリア| ||<死去>カプア公「ロベルト1世」  
1120年-01:00|イタリア| ||<死去>ナポリ公「ジヨン6世」  
1120年-01:00|オランダ| ||<就任>エノー伯「ボートゥアン4世」(~11711108死去)  
1120年-01:00|ドイツ/オランダ| ||<就任>クレーフェ伯「アルノルト1世」(~1147年)  
1120年-01:00|イタリア| ||<就任>トスカナ辺境伯「コンラート2世・フォン・シェイエルンダッハウ」メラノ公(~1127年)  
1120年-01:00|フランス| ||<就任>ヌール領主「オグソンド・シャト＝ランドン」(~1148年)  
1120年-01:00|フランス| ||<就任>プロヴァンス伯(プロヴァンス伯家)「ドゥーヌ1世[ジュルベルジュの娘]」(~1127年), (バルセロナ家)レモン・ベランジュ1世[ドゥーヌ1世と結婚](~1131年)  
1120年-01:00|クロアチア| ||<就任>ホルツァー伯「ケール・ヴァニシエウイチ」  
1120年-01:00|イタリア| ||<即位>カプア公「Richard3世」(~6.10死去)  
1120年-01:00|イタリア| ||<即位>トレント司教公「Albert1世」(~1124年)  
1120年-01:00|イタリア| ||<即位>ナポリ公「セルギウス7世」(~11371030死去)  
1120年 00:00|マリ/ニジェール| ||<即位>ソガイ王国国王「カイ・シユンホ」(~1139年)  
1120年 02:00|グリーンランド/アイスランド| ||<就任>グリーンランド 統治者「Sokki Thorisson」  
1120年2月1日-07:00|ベトナム| ||大越・天符睿武1年|大越・李朝の仁宗李乾徳が天符睿武と改元(-1126)  
1120年2月8日-09:00|日本|京都府京都市中京区|元永3年1月8日|藤原清実の大炊御門京極第焼亡、法興院類焼  
1120年2月29日-09:00|日本|京都府京都市中京区|元永3年1月29日|故藤原師通の二条第焼亡  
1120年5月9日-09:00|日本| ||保安1年4月10日|保安に改元  
1120年5月18日-09:00|日本|京都府京都市中京区|保安1年4月19日|堀河院焼失  
1120年5月27日-01:00|イタリア| ||<即位>カプア王リカルド3世(~6.10)  
1120年6月10日-01:00|イタリア| ||<死去>カプア公「Richard3世」  
1120年6月10日-01:00|イタリア| ||<即位>カプア公「Jordan2世」(~11271219死去)  
1120年6月12日-08:00|中国| ||金・天輔4年;契丹・天慶10年5月15日|遼の上京臨柁府金将幹魯の攻撃を受けて陥落  
1120年8月5日-01:00|フランス| ||<即位>ノルマンディ公「ギヨーム3世」アンリ1世の息子(~11201125事故死)  
1120年8月16日-01:00|チェコ| ||<退位>ボヘミア王「ボジウフ2世」(~11240202死去)  
1120年8月16日-01:00|チェコ| ||<復位>ボヘミア公「ウラジスラフ1世」(2回目~11250412死去)  
1120年9月3日-02:00|イスラエル/パレスチナ| ||<就任>聖ヨハネ騎士団「デリアン・レイモン・デュ・ピュイ」(~11581025)  
1120年9月24日-01:00|ドイツ/オーストリア| ||<死去>ハインリヒ大公「ウエルツ2世肥満公」  
1120年9月24日-01:00|ドイツ/オーストリア| ||<即位>ハインリヒ大公「ハインリヒ9世(黒公)」ウエルツ1世の次男(~11261213死去)  
1120年10月24日-08:00|中国| ||宋・宣和2年10月|睦州の方臘、宋に反乱を起こし、聖公と称す  
1120年11月20日-01:00|フランス| ||<退任>トゥールーズ伯「ギヨーム10世」  
1120年11月25日-01:00|フランス| ||<死去>ノルマンディ公「ギヨーム3世」事故死

1150迄 (1562件)

- 1120年11月25日 00:00|イギリス| ||<死去>2代チェスター伯「リチャード・ダウランシュ」
- 1120年11月25日 00:00|イギリス| ||<就任>3代チェスター伯「ラヌルフ・メソン」(~1129. 1死去)
- 1120年11月25日 00:00|イギリス| ||<ホワイトシップの遭難>ホワイト・シップ号がイギリス海峡で難破しイングランド王ヘンリー1世の一人息子ウィリアムなどイングランド、ノルマンディーの王族、貴族多数が水死
- 1121年-01:00|ベルギー-| ||<死去>リエージュ公「フレデリック」
- 1121年-01:00|チュニジア/アルジェリア/リビア| ||<即位>ズール朝アミール「アブルハサン・アルハサン・イブン・アリー」(~1152年シリア王国によって滅亡)
- 1121年-01:00|アルジェリア| ||<即位>ハンマド朝スルタン「ヤフヤー」(~1152年)
- 1121年-01:00|ポーランド/ドイツ| ||<即位>ポズナン公「ヴァルティスラフ1世」(~1135年死去)
- 1121年 00:00|モロッコ| ||トウマルトがマティエを自称し、ムラビト朝の打倒を宣言
- 1121年1月21日-08:00|中国| ||宋・宣和3年1月|方臘、衢州等を占領
- 1121年1月21日-08:00|中国| ||契丹・保大1年1月1日|遼の天祚帝が保大(-1125年)と改元
- 1121年2月9日 00:00|アイルランド| ||<死去>アイルランド上王「ドナル・マック・アード・ヘア」
- 1121年2月9日 00:00|アイルランド| ||<即位>アイルランド上王「ターテルハッハ・マック・ルアイト・クリーナ・サイン・フイン」(~11560520死去)
- 1121年2月19日-08:00|中国| ||宋・宣和3年2月|方臘、処州占領
- 1121年3月2日-01:00|オランダ| ||<死去>ホトトギス伯「フロリス2世(肥満伯)」
- 1121年3月2日-01:00|オランダ| ||<就任>ホトトギス伯「ティルク6世」(~11570805死去)
- 1121年3月25日-09:00|日本| ||保安2年3月5日|<就任>関白:藤原忠通
- 1121年4月19日-08:00|中国| ||宋・宣和3年4月|童貫、兵15万を以って、方臘の本拠地青溪を攻略
- 1121年6月18日-09:00|日本|滋賀県大津市|保安2年閏5月2日|延暦寺僧徒が園城寺金堂などを焼く
- 1121年8月15日-08:00|中国| ||宋・宣和3年7月|方臘、童貫に捕らわれる
- 1121年10月14日-08:00|中国| ||宋・宣和3年9月|方臘、処刑される
- 1122年-05:30|インド| ||<死去>チョーラ朝国王「クローットウガ1世」
- 1122年-02:00|トルコ| ||<死去>アルトゥク朝スルタン「イル・ガース1世」
- 1122年-02:00|トルコ| ||<即位>アルトゥク朝スルタン「テムル・タシュ・フサム」(~1152年)
- 1122年-01:00|イタリヤ| ||<就任>エステ辺境伯「アッツォ3世」(~1137年死去)
- 1122年-01:00|ドイツ| ||<就任>テューリンゲン方伯「ヘルマン2世」グィンツェンブルク伯、マイセン辺境伯(~1130年)
- 1122年2月21日-08:00|中国| ||金・天輔6年; 契丹・保大2年1月13日|金軍、中京大定府を攻略
- 1122年4月21日-08:00|中国| ||金・天輔6年; 契丹・保大2年3月13日|金軍、西京大同府を攻略
- 1122年4月24日-08:00|中国| ||金・天輔6年; 契丹・保大2年3月16日|西京大同府、金に叛く
- 1122年4月25日-08:00|中国| ||北遼・建福1年3月17日|<即位>北遼可汗「宣宗耶律淳」(~6月), 建福(-6月)に改元
- 1122年5月10日-08:00|中国| ||金・天輔6年; 北遼・建福1年4月3日|金軍、再度西京大同を攻略
- 1122年5月15日-09:00|朝鮮| ||高麗・保大2年4月8日|<死去>高麗王「睿宗」
- 1122年5月15日-09:00|朝鮮| ||高麗・保大2年4月8日|<即位>高麗王「仁宗」(~11460410(皇統6年2月28日)死去)
- 1122年6月6日-08:00|中国| ||北遼・建福1年; 宋・宣和4年5月|童貫、遼攻撃のため、雄州に進撃するも、遼將蕭幹に敗北
- 1122年7月6日-08:00|中国| ||北遼・徳興1年; 西夏・元徳4年6月|西夏、遼救援のために出兵するも、金軍に破れる
- 1122年7月29日-08:00|中国| ||北遼・徳興1年6月24日|<死去>北遼可汗「宣宗耶律淳」病死
- 1122年7月29日-08:00|中国| ||北遼・徳興1年6月24日|<即位>北遼可汗「耶律定(摂政:蕭普賢女)」(~12月)、耶律淳の後妃である蕭徳妃普賢女が摂政となり国政を見た、徳興(-1123年2月)と改元
- 1122年8月25日-09:00|日本|京都府京都市|保安3年7月22日|大学寮廟堂頽壊
- 1122年9月23日-01:00|ドイツ/バチカン| ||ドイツ皇帝とローマ教皇の間でウァルムス平和協定が締結され、俗人による聖職叙任権闘争が終わる
- 1122年11月1日-08:00|中国| ||北遼・徳興1年; 宋・宣和4年10月|宋軍燕京を攻撃するも、遼將蕭幹に敗れる
- 1122年11月28日-01:00|オーストリア| ||<死去>シュターアマルク辺境伯「オカール2世」
- 1122年11月28日-01:00|オーストリア| ||<就任>シュターアマルク辺境伯「レオルト」(~1129年死去)
- 1122年12月4日-01:00|オーストリア/スロベニア/イタリア| ||<死去>ケルテン公「ハインリヒ5世」兼グェロナ辺境伯「Henry4世」
- 1122年12月4日-01:00|オーストリア/スロベニア/イタリア| ||<即位>ケルテン公「ハインリヒ4世」兼グェロナ辺境伯「Henry5世」(~11231214死去)
- 1122年12月31日-08:00|中国| ||北遼・徳興1年12月|<死去>北遼可汗「耶律定(摂政:蕭普賢女)」
- 1123年-04:00|ロシア| ||<即位>ムロム公「フセヴォド・ダウイドヴィチ」(~1127年)
- 1123年-03:00|イラク| ||バグダットで物価が高騰し、2万5千人が死亡
- 1123年-02:00|ウクライナ/ベラルーシ/ロシア| ||<即位>チェルニヒウ公「ヤロスラフ・スヴァトスラヴィチ」(~1127年)
- 1123年-01:00|ドイツ| ||<死去>オストマルク辺境伯・ラウジッツ辺境伯・マイセン辺境伯「ハインリヒ2世」
- 1123年-01:00|ドイツ| ||<死去>テューリンゲン方伯「ルートヴィヒ・デア・シュワブリンガー-跳躍伯」
- 1123年-01:00|ドイツ| ||<就任>オストマルク辺境伯・ラウジッツ辺境伯「ウイブレヒト2世」(同年追放~11240522死去)⇒「アルブレヒト熊公」(~1128年退任)
- 1123年-01:00|ドイツ| ||<就任>テューリンゲン方伯「ルートヴィヒ1世」(~11400112死去)
- 1123年-01:00|ドイツ| ||<就任>マイセン辺境伯「ウイブレヒト2世」(~11240522死去)、「コンラート1世」ハインリヒ1世の従兄弟(~1156年)
- 1123年-01:00|ベルギー-| ||<就任>リエージュ公「ルヴェン公アルベロ1世」(~11280101死去)

1150迄 (1562件)

- 1123年 00:00|イギリス| |||<就任>ウァリック伯「ロジャー・ド・ホーモン」先代の子(~11530612死去)
- 1123年1月4日-08:00|中国| ||金・天輔6年;北遼・徳興1年12月5日|燕京、宋の要請を受けた金軍の攻撃を受けて陥落
- 1123年1月29日-08:00|中国| ||金・天輔7年;西夏・元徳5年|この歳 西夏、金と講和
- 1123年1月31日-08:00|中国| ||契丹・保大3年1月3日|奚王回離保、大奚皇帝を称し遼より自立、天復と改元
- 1123年2月25日-09:00|日本| ||保安4年1月28日|<就任>摂政:藤原忠通
- 1123年2月25日-09:00|日本| ||保安4年1月28日|<譲位>「鳥羽天皇」上皇となる
- 1123年2月25日-09:00|日本| ||保安4年1月28日|<踐祚>「顕仁親王」鳥羽天皇の子(実際は白河法皇の子と言われる)5歳/2月19日75代崇徳天皇として即位~11411207
- 1123年3月-01:00|チエコ| |||<就任>ブルノフ公摂政「オカ2世」(~1125年10月~11260218死去)
- 1123年3月-01:00|チエコ| |||<退任>ズノイェ・ブルノフ公摂政「ソハスラ1世」武力により
- 1123年4月18日-02:00|イスラエル| |||エルサレム王ホドゥアン2世がバルク家の藩主ハラクに捕らえられて幽閉される
- 1123年5月7日-08:00|中国| ||金・天輔7年;北宋・宣和5年4月10日|金、燕雲16州の内、燕京を含む6州を宋に譲渡
- 1123年5月21日-09:00|日本| |京都府京都市右京区|保安4年4月24日|愛宕寺が焼失
- 1123年6月3日-08:00|中国| ||北遼・神歴1年5月8日|<即位>北遼可汗「順文皇帝耶律雅里」(~10月殺害された)神歴(-10月)と改元
- 1123年6月4日-08:00|中国| ||契丹・保大3年5月9日|大奚皇帝を称し遼より自立した回離保、殺される
- 1123年6月22日 00:00|アイルランド| |||<就任>アイルランド 連邦共和国政府(アルシング) 法話者「グドムントゥルトルゲイルソン」(~1135年)
- 1123年7月7日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||宋・宣和5年6月13日|宋、高麗に使を遣わす
- 1123年8月2日-09:00|日本| ||保安4年7月9日|<死去>藤原俊忠(生年1073年/公卿、歌人)
- 1123年8月11日-09:00|日本| |京都府京都市|保安4年7月18日|越前守平忠盛が越前で日吉社の神人を逮捕したことに端を発し、天台の衆徒が京中に乱入し祇園内に立て籠る。忠盛らを派遣し、合戦となる
- 1123年8月29日-01:00|ルウエー| |||<死去>ルウエー王「オシュタイン1世マクナツソ」
- 1123年9月19日-08:00|中国| ||金・天輔7年8月28日|<死去>金第1代皇帝「太祖(阿骨打=アクダ)完顔旻」病没/年56
- 1123年9月27日-08:00|中国| ||金・天輔7年9月6日|<即位>金第2代皇帝「太宗(呉乞買=ウキマイ)完顔晟」(~天会13年1月25日(1135年2月9日)死去)
- 1123年10月7日-08:00|中国| ||金・天会1年9月16日|金の太宗が天会(-1137年)と改元
- 1123年10月21日-08:00|中国| ||北遼・神歴1年10月|<死去>北遼可汗「順文皇帝耶律雅里」殺害された/年30
- 1123年10月21日-08:00|中国| ||北遼・神歴1年10月|<即位>北遼可汗「英宗耶律赤烈」(~11月)
- 1123年11月20日-08:00|中国| ||北遼・神歴1年11月|<死去>北遼可汗「英宗耶律赤烈」殺される/北遼は滅亡
- 1123年11月20日-08:00|中国| ||金・天会1年11月|金軍、平州を攻略して張覚、殺害される
- 1123年11月20日-08:00|中国| ||金・天会1年11月|金、選挙(科挙)を始める
- 1123年11月29日-09:00|日本| |京都府京都市下京区|保安4年11月10日|六条院焼失
- 1123年12月14日-01:00|オーストリア/スロベニア/イタリア| |||<死去>ケルテン公「ハインリヒ4世」兼ウエロナ辺境伯「Henry5世」
- 1123年12月14日-01:00|オーストリア/スロベニア/イタリア| |||<即位>ケルテン公「エンゲルベルト」兼ウエロナ辺境伯(~1135年引退)
- 1124年-02:00|ウクライナ| |||<死去>テレボウリ公「ウアシコウ・ロスラウイチ」
- 1124年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ガリチ公「ウアン・ウアシコウイチ」(~1141年死去)
- 1124年-02:00|トルコ| |||<即位>サルトキッド 君主「Muzaffer Gazi」(~1132年)
- 1124年-02:00|ウクライナ| |||<即位>テレボウリ公「ロスラウウ・ウアシコウイチ」=>「ウアン・ウアシコウイチ」(~1141年死去)
- 1124年-02:00|バナン| |||十字軍、ティール(バナン)を占領
- 1124年-01:00|フランス| |||<死去>ルテル伯「ジエルク」
- 1124年-01:00|クロアチア/スロベニア/イタリア| |||<就任>イストリア辺境伯「Engelbert3世」兼カルネオラ辺境伯「Engelbert2世」(~1131006死去)
- 1124年-01:00|ドイツ| |||<就任>ウァイマル=オーラミュンデ 伯「ウイヘルム」(~1140年)
- 1124年-01:00|フランス| |||<就任>ルテル伯「マティルト」(~1151年死去)ユグ1世の娘、「ウード・ド・ウァイトリ」(~1158年死去)女伯マティルトと結婚
- 1124年-01:00|イタリア| |||<即位>トレント司教公「Altmann」(~1149年)
- 1124年-01:00|クロアチア/ハンガリー| |||ハンガリーによるダルマチアのスピリット統治(~1125年)
- 1124年 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド 大法官「John Capellanus」(~1126年)
- 1124年1月19日-08:00|中国| ||金・天会2年;西夏・元徳6年1月|西夏、金に臣属
- 1124年2月22日-09:00|日本| |京都府京都市|保安5年2月6日|賀茂社焼亡
- 1124年3月19日-02:00|ウクライナ| |||<即位>ズヴェニコト公「ウラジミール・ウオダレウイチ」(~1128年)
- 1124年3月19日-01:00|ポーランド| |||<死去>ヘルムツェリ公「ウオダレウイチ」
- 1124年3月19日-01:00|ポーランド| |||<即位>ヘルムツェリ公「ロスラウウ・ウオダレウイチ」(~1129年)
- 1124年4月23日 00:00|イギリス| |||<死去>スコットランド 王「アレクサンダー1世獅子王」
- 1124年4月23日 00:00|イギリス| |||<即位>スコットランド 王「テウグイット1世聖王」(~11530524死去)
- 1124年5月18日-09:00|日本| ||天治1年4月3日|天治に改元
- 1124年5月22日-01:00|ドイツ| |||<死去>マイセン辺境伯「ウイブレヒト2世」
- 1124年5月22日-01:00|ドイツ| |||<就任>マイセン辺境伯「ヘルマン2世」(~1130年)
- 1124年5月22日-01:00|ドイツ| |||<就任>ラウッツェン辺境伯「ハインリヒ3世」(~11351231死去)
- 1124年5月26日 00:00|イギリス| |||イギリス王ハノー1世王党派諸侯が反旗を翻したムーラン伯ウエランにブルグテンロールで勝利

1150迄 (1562件)

- 1124年6月12日-03:30|イラン| |||<死去>ニザリ・イスマイリ国君主「Da' i Hassan-i Sabbah」
- 1124年6月12日-03:30|イラン| |||<即位>ニザリ・イスマイリ国君主「Da' i Kiyā Buzurg-Ummid」(~1138年死去)
- 1124年7月-08:00|中国| |||<即位>西遼可汗「徳宗耶律大石」(~1143年)
- 1124年7月7日-02:00|エジプト/イタリア| |||ティベリアス領主とヴェニス海軍がエジプトからティルス港を奪取
- 1124年7月13日-09:00|日本| ||天治1年6月|良忍、融通念仏を始める
- 1124年7月22日-02:00|レバノン| |||十字軍がレバノンのスールを攻略する
- 1124年8月12日-09:00|日本| ||天治1年7月|以後彗星が見られる
- 1124年9月29日-09:00|日本|岩手県西磐井郡平泉町|天治1年8月20日|藤原清衡が中尊寺に金色堂を建立
- 1124年12月13日-01:00|バチカン| |||<死去>第162代ローマ教皇「カリストゥス2世」
- 1124年12月16日-01:00|バチカン| |||<就任>対立ローマ教皇「クレスティヌス2世(テハルトゥス・ブッカヘウス)」(~11241216)
- 1124年12月21日-01:00|バチカン| |||<就任>第163代ローマ教皇「ホノリウス2世」(~11300213死去)
- 1125年-07:00|カンボジア| |||12世紀前半頃、アンコール・ワット造営
- 1125年-05:30|インド| |||<建国>ニルガリ国
- 1125年-04:00|シベリア| |||<死去>ケルジヤ国王「テビット4世」
- 1125年-04:00|シベリア| |||<即位>ケルジヤ国王「テメトリス1世」(~1154年退位)
- 1125年-04:00|アルメニア| |||<即位>シャッター朝(アニ)国王「ファトメ4世」(~1130年)
- 1125年-04:00|ロシア| |||<即位>スモレンスク公「ロズスラフ・ムズスラウイチ」(~1160年)
- 1125年-03:00|ペラルシ| |||<即位>トゥーロフ公「ウヤチスラフ・ウラジミロウイチ」(~1132年)
- 1125年-01:00|フランス| |||<死去>ジャンパニュー伯「ユーク」
- 1125年-01:00|スウェーデン| |||<死去>スウェーデン王国国王「イング2世」
- 1125年-01:00|モンテネグロ| |||<死去>トウクリヤ王「ケルベ・シャ・ブラニスラウ・リエウイチ」
- 1125年-01:00|イタリア/フランス| |||<就任>サルツァ侯「マンフレート1世」侯国成立(~1175年死去)
- 1125年-01:00|フランス| |||<就任>ジャンパニュー伯「ティホー2世」シャルトル伯・モーブワ伯(~11520110死去)
- 1125年-01:00|スウェーデン| |||<即位>スウェーデン王国国王「ラグナール」(~1126年殺害される)
- 1125年-01:00|モンテネグロ| |||<復位>トウクリヤ王「ジヨルジェ・コンスタンティノウイチ」(2回目~1131年死去)
- 1125年-01:00|アラブ/イタリア| |||ウエネツィアによるダルマチアのスパラト/スプリット統治(~1141年)
- 1125年 00:00|アイルランド| |||タブリンを上王の下でライギン(レンスター)が占領(~1141年)
- 1125年1月-01:00|フランス| |||<就任>ブルゴニュー伯・モン伯「ギヨーム3世」ギヨーム2世の息子(~11270301死去)
- 1125年2月-08:00|中国| |||<死去>遼可汗「延禧阿果(耶律延禧)」
- 1125年3月7日-05:00|カザフスタン/中国| ||遼・保大5年;金・天会3年2月|耶律大石、モンゴル高原の鎮州可敦城にて18部族の推戴を受け、王を称して金と対抗
- 1125年3月26日-08:00|中国| ||金・天会3年2月20日|天祚帝、陰山山脈方面に逃れるも、応州新城付近にて金軍に捕らわれる(遼の滅亡)
- 1125年4月12日-01:00|チェコ| |||<死去>ホヘミア公「ウラジスラフ1世」
- 1125年4月12日-01:00|チェコ| |||<即位>ホヘミア王代行「オタ」(~16日)
- 1125年4月14日-08:00|中国| ||金・天会3年3月9日|金、会寧(黒龍江省阿城県)を都とする
- 1125年4月16日-01:00|チェコ| |||<即位>ホヘミア王「ツェスラフ1世オラビ」(~11400214死去)
- 1125年5月17日-09:00|日本|京都府京都市上京区|天治2年4月17日|祇陀林寺焼失
- 1125年5月19日-02:00|ウクライナ| |||<死去>キエフ大公「ウラジミール2世モノマフ」
- 1125年5月19日-02:00|ウクライナ| |||<即位>キエフ大公「ムズスラフ1世」(~11320414死去)
- 1125年5月23日-01:00|ドイツ/イタリア/オーストリア/スイス/フランス| |||<死去>フランク・ローマ帝国皇帝・ブルグント王「ハインリヒ5世」兼イタリア王「エンリコ5世」
- 1125年5月23日-01:00|ドイツ/イタリア/オーストリア/フランス| |||<就任>フランク・ローマ帝国宰相「マインツ大司教アダルベルト」(~8.30)
- 1125年6月11日-02:00|イスラエル| |||モスル総督アル・ホルクキのイスラム教徒軍がエルサレム王ホドゥアン二世軍へ突撃を仕掛けて、騎士部隊の反撃に遭い敗走(アザスの戦い)
- 1125年8月30日-01:00|ドイツ/フランス/スイス| |||<即位>ドイツ王・ブルグント王「ロタール3世」(⇒9.13.兼イタリア王「ロタリオ3世」)
- 1125年9月13日-01:00|イタリア| |||<即位>イタリア王「ロタリオ3世」(ドイツ王・ブルグント王「ロタール3世」⇒11330604.フランク・ローマ帝国皇帝)
- 1125年9月13日-09:00|日本| ||天治2年8月14日|<死去>藤原寛子、後冷泉天皇の皇后(生年1036年)
- 1125年12月27日-08:00|中国| ||金・天会3年12月|金将完顔宗翰[朮]、朔州占領し、太原包囲。金将完顔宗望[朮]、燕山の諸州県を攻撃、信徳府を占領
- 1125年12月31日-09:00|日本|京都府京都市|天治2年12月5日|<京都天治2年の大火>平安京の中心を南北に縦断する油小路の五条坊門あたりで出火、三条から四条油小路一帯を焼き、北東に進んで二条の鴨川河原まで達する(京市街の中心地を90余町も焼失させた)/公卿や朝士大夫など当時の中央政府を構成し宮中など御所内の役所に勤める官僚たちの屋敷が60余か所全焼
- 1126年-05:30|インド| |||<死去>後期チャルキヤ朝国王「ウイクラマデーイティヤ6世」
- 1126年-05:30|インド| |||<即位>後期チャルキヤ朝国王「ソメーシュヴァラ3世」(~1138年死去)
- 1126年-05:30|インド| |||<即位>ハラ朝君主「クマラハラ」(~1128年)
- 1126年-01:00|スウェーデン| |||<死去>スウェーデン王国国王「ラグナール」殺害される
- 1126年-01:00|スウェーデン| |||<即位>スウェーデン王国国王「マグヌス1世」(~1130年退位~11340604死去)
- 1126年-01:00|スペイン| |||<即位>マジョルカ・タイファ「Muhammad1世」(~1156年)
- 1126年 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド大法官「Herbert of Selkirk」(~1143年)

1150迄 (1562件)

1126年1月15日-01:00|フランス| |||<死去>メヌ伯エランピュルジュ、<退任>「フルク5世」  
1126年1月15日-01:00|フランス| |||<就任>メヌ伯「シヨフロワ」(~1151年)  
1126年1月18日-08:00|中国| ||宋・宣和7年12月23日|<退位>北宋第8代皇帝「徽宗」  
1126年1月19日-08:00|中国| ||宋・宣和7年12月24日|<即位>北宋第9代皇帝「欽宗」(~1127年3月20日)  
1126年1月25日-09:00|日本|千葉県千葉市中央区|天治3年|千葉常重、千葉城築城(亥鼻城/千葉県)  
1126年1月25日-08:00|中国| ||金・天會4年|<即位>天山ウイグル王国可汗「テングリ・ホギュー・イル・ビルゲ・アルスラン・テングリ・ウイグル・テルケニズ」  
1126年1月25日-08:00|中国| ||宋・靖康1年|北宋代欽宗が靖康(-1127年)と改元  
1126年2月15日-09:00|日本| ||大治1年1月22日|大治に改元  
1126年2月18日-01:00|チェコ| |||<死去>オモツク公「オク2世」  
1126年2月18日-01:00|チェコ| |||オモツクがホヘミアに戻る(~9月)  
1126年3月8日-01:00|スペイン| |||<死去>カスティール王国女王・レオン女王「ウラカ」  
1126年3月10日-01:00|スペイン| |||<即位>カスティール国王・レオン国王「アルフォンソ7世皇帝」(~11570821死去)  
1126年4月18日-09:00|日本|岩手県西磐井郡平泉町|大治1年3月24日|藤原清衡が中尊寺の金堂・三重塔を完成させ落慶法会を行なう  
1126年5月5日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||金・天會4年;高麗・天會4年4月11日|高麗、金に使を遣わし、臣を称す(6月1日に至る)  
1126年5月24日-09:00|韓国/朝鮮| ||宋・靖康1年5月|高麗で李資謙の乱が起こる→李資謙、王毒殺の嫌疑で靈光郡に流される  
1126年6月23日-09:00|日本| ||大治1年6月|諸国の魚網を捨てさせ、殺生禁断を命じる  
1126年6月25日-02:00|パレスチナ| |||エルサレム王ホドゥアン二世軍がタマサス領へ侵攻しメルジュ・エ・サファーでトゥグ・ティギンに勝利  
1126年7月23日-09:00|日本| ||大治1年7月1日|彗星北方に見ゆ  
1126年9月-01:00|チェコ| |||<即位>オモツク公「ヴァーツラフ1世」スヴァトプルクの息子(~11300301死去)  
1126年12月13日-01:00|トイ/オーストリア| |||<死去>ハインリヒ9世(黒公)  
1126年12月13日-01:00|トイ/オーストリア| |||<即位>ハインリヒ10世(傲岸公)|ハインリヒ9世の息子(~11391020死去)  
1127年-05:00|ウズベキスタン| |||<死去>ホラスム・シャー朝スルターン「クトゥブ・ツティーン・ムハンマド」  
1127年-05:00|ウズベキスタン| |||<即位>クワズミアン朝シャー「Qizil Arslan Atsiz ibn Muhammad」(~1156年死去)  
1127年-04:00|ロシア| |||<即位>カスク公「イジヤスラフ・ムスチスラフ・イ」(~1129年)  
1127年-04:00|アルメニア| |||<即位>シャー=アルメニス「Ahmet」(~1128年)  
1127年-04:00|ロシア| |||<復位>ムロム公・リヤザン公「ヤロスラフ・スヴァトスラフ・イ」(~1129年死去)  
1127年-03:00|イラク| |||<即位>ザンギー朝モスル・エミール「イマドゥッティーン・ザンギー-1世」(~11460914死去)  
1127年-03:00|ベラルーシ| |||<即位>ドルツク公「ロクウ・オド・ロクウ・オド・イ」(~1129年ビザンツ帝国に追放)  
1127年-03:00|ベラルーシ| |||<即位>ボロツク公「ボリス1世・フェスラフ・イ」(~1128年)  
1127年-03:00|ベラルーシ| |||<退位>ドルツク公「ロクウ・オド・フェスラフ・イ」  
1127年-02:00|ウクライナ/ベラルーシ/ロシア| |||<即位>チェルニヒウ公「フセウ・オド・オレコウ・イ」(~1139年)  
1127年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ノヴゴロド・セウエルスキ公「ウラジミール・ダウ・イ」(~1139年)  
1127年-01:00|フランス| |||<死去>オマル伯・モー伯「Stephen」  
1127年-01:00|フランス| |||<就任>オマル伯「William le Gros」(~11790820死去)  
1127年-01:00|トイ/オランダ| |||<就任>ユリヒ伯「ケルハルト3世(5世)」(~1138年)  
1127年1月10日-08:00|中国| ||金・天會4年;北宋・靖康1年11月25日|金により首都開封(東京)は陥落(靖康の変)  
1127年1月20日-09:00|日本|京都府京都市|大治1年12月5日|京都大火、五条坊門小路より出火、三四条油小路・二条河原に及ぶ/朝廷の勅願所の六角堂焼亡  
1127年2月3日-09:00|日本|京都府京都市左京区|大治1年12月19日|鞍馬寺焼亡  
1127年2月11日-01:00|フランス| |||<死去>アキテーヌ公「ギヨーム9世」54歳/最初のトルバドゥール(吟遊詩人)  
1127年2月11日-01:00|フランス| |||<即位>アキテーヌ公「ギヨーム10世」(~11370409死去)  
1127年2月13日-09:00|日本| ||大治2年|この年源敏頼が金葉和歌集を撰進  
1127年2月13日-09:00|日本|大阪府大阪市平野区|大治2年|良忍上人が鳥羽上皇の勅願により平野に根本道場として大念仏寺創建<融通念仏宗総本山/大阪府>  
1127年2月13日-08:00|中国| ||西夏・正徳1年|西夏の崇宗が正徳(-1134年)と改元  
1127年2月13日-08:00|中国| ||金・天會5年|耶律大石、カシュガルの軍(カラハン朝)を破る  
1127年2月13日-07:00|ベトナム| ||大越・天符慶寿1年|大越・李朝の仁宗が天符慶寿と改元  
1127年2月13日-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン| |||<死去>ホラスム・シャー朝スルターン「クトゥブ・ツティーン・ムハンマド」  
1127年2月13日-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン| |||<即位>ホラスム・シャー朝スルターン「アヌ・シュ・テギン・アトス」(~1156年死去)  
1127年3月1日-01:00|フランス| |||<死去>ブルゴニュー伯・マコン伯「ギヨーム3世」  
1127年3月2日-01:00|フランス/ベルギー-| |||<死去>フランドル伯「シャルル1世(善良伯)」  
1127年3月2日-01:00|フランス/ベルギー-| |||<就任>フランドル伯「ギヨーム・クリトン」ノルマンディー公ロベール2世の息子(~11280728死去)  
1127年3月20日-08:00|中国| ||宋・靖康2年2月6日|<退位>北宋第9代皇帝「欽宗」、金に降る(北宋滅亡)  
1127年3月28日-09:00|日本|京都府京都市|大治2年2月14日|京都大火/大内裏火災、陰陽寮・勘解由使庁など焼亡  
1127年4月20日-08:00|中国| ||金・天會5年3月7日|金、張邦昌(宋の宰相)を傀儡政権大楚皇帝に冊立

1150迄 (1562件)

- 1127年5月23日-08:00|中国| ||金・天會5年4月11日|張邦昌、南京応天府(歸徳)に拠る欽宗の弟、康王趙構に降り、楚消滅
- 1127年6月12日-08:00|中国| ||宋・建炎1年5月1日|<即位>南宋初代皇帝「高宗」(~1162年7月24日)建炎(-1130年)と建元(南宋建国)
- 1127年6月17日-01:00|フランス/イギリス| ||「アンジュー伯」ジユフワ、イングランド王ヘンリー1世の娘マティルドと結婚
- 1127年6月30日-09:00|日本| ||大治2年5月19日|寛徳以後の新設荘園を停止し、公民が荘園に逃れて課役を免れることを禁じる(大治の荘園整理令)
- 1127年7月-01:00|イタリヤ| ||<死去>フツリヤ・カラリア公「ケリエル2世」シチリア伯領に併合
- 1127年7月-01:00|イタリヤ| ||<即位>フツリヤ・カラリア公「ルツィエーロ2世」ロベルトの甥、シチリア王(~1134年)
- 1127年10月-03:00|イラク| ||<即位>モースル・ザンギ朝アハメド「イマドゥッディーン・ザンギ1世」(~11460914奴隷により殺される)
- 1127年12月18日-01:00|ドイツ/イタリヤ/オーストリア/チェコ| ||<即位>神聖ローマ(ザクセン朝)対立王:コンラート3世(シュタウフェン家~1135年)
- 1127年12月19日-01:00|イタリヤ| ||<死去>カプア公「Jordan2世」
- 1127年12月19日-01:00|イタリヤ| ||<即位>カプア公「ロベルト2世」(~1156年死去)
- 1128年-05:30|インド| ||<即位>チャンドラ朝国王「Madana-Varman」(~1165年)
- 1128年-05:30|インド| ||インド<即位>ハラ朝君主「ゴハラ3世」(~1143年)
- 1128年-05:00|キルギス/ウズベキスタン/中国| ||<即位>東カラハン朝ハン「Ibrahim bin Ahmad」(~1158年)
- 1128年-04:00|アルメニア| ||<即位>シャー=アルメニス「Nasireddin Muhammed Sokmen2世」(~1185年死去)
- 1128年-03:00|イラク| ||<即位>アルッホ・ザンギ朝アミール「イマドゥッディーン・ザンギ1世」モースル・ザンギ朝アハメド(~11460914奴隷により殺される)
- 1128年-02:00|シリア・アラブ| ||<即位>ザンギ朝アルッホ・エミール「イマドゥッディーン・ザンギ1世」(~11460914死去)
- 1128年-02:00|ウクライナ| ||<即位>スウエーデン公「イヴァン・ロズスラウイチ」(~1144年)
- 1128年-01:00|イタリヤ| ||<死去>エステ辺境伯「フォルコ1世」
- 1128年-01:00|イタリヤ| ||<就任>エステ辺境伯「アッツォ4世」(~1145年死去)、「ホニファツィオ1世」(~1163年死去)、「フォルコ2世」(~1178年死去)、「アルベルト4世」(~1184年死去)、「ホニツォ1世」(~11931225死去)
- 1128年-01:00|ドイツ| ||<就任>オストマルク辺境伯「ハインリヒ」(~11351231死去)
- 1128年-01:00|フランス| ||<即位>下ロタリンギア公「ウアルラム」リンブルク公ウアルラム2世、フランク公(~11390806死去)
- 1128年-01:00|ドイツ| ||<退任>オストマルク辺境伯「アルブレヒト熊公」
- 1128年-01:00|ハンガリー/トルコ| ||ヒュンティン皇帝ヨハネス2世がハンガリー軍の侵入を撃退
- 1128年1月1日-01:00|ベルギー| ||<死去>リエージュ公「ルーヴェン公アルベロ1世」
- 1128年1月1日-01:00|ベルギー| ||<就任>リエージュ公「アレクサンドル1世」(~11350706死去)
- 1128年1月15日-09:00|日本|京都府京都市|大治2年12月12日|三条坊門北烏丸東西辺焼亡、藤原為隆・藤原顕頼第など焼亡
- 1128年1月15日-07:00|ベトナム| ||大越・天符慶寿1年12月12日|<死去>李朝大瞿越第4代皇帝「仁宗李乾徳」
- 1128年1月15日-07:00|ベトナム| ||大越・天符慶寿1年12月12日|<即位>李朝大瞿越第5代皇帝「神宗李陽煥」(~11381031死去)
- 1128年2月3日-09:00|日本|神奈川県川崎市川崎区|大治3年|金剛山金乗院平間寺(通称川崎大師)創建<真言宗智山派大本山/神奈川県>
- 1128年2月3日-07:00|ベトナム| ||大越・天順1年|大越・李朝の神宗が天順と改元(-1132年)
- 1128年2月12日-02:00|シリア・アラブ| ||<死去>フーリー朝アミール「トゥグ・テギーン(サイフルイスラム・ザヒール・ウッディーン・トゥグ・テギーン)」
- 1128年2月12日-02:00|シリア・アラブ| ||<即位>フーリー朝アミール「フーリ(タジ・ウルムク・フーリ)」トゥグ・テギーンの息子(~11320606死去)
- 1128年6月17日 00:00|イギリス| ||イングランド王ヘンリー1世の娘のマチルダ(神聖ローマ皇帝ハインリッヒ5世の寡婦)が、アンジュー伯シユフワ・プラツィユネと結婚
- 1128年6月21日-02:00|シリア・アラブ| ||ノルマンディー公ロバートの子息クリトがティールの戦いでアルサス伯ディートリヒに勝利
- 1128年6月24日 00:00|ポルトガル| ||<就任>ポルトガルのレオ「アフォンソ・エンリクス」(~11390725)
- 1128年6月24日 00:00|ポルトガル| ||サンマテの戦いで、アフォンソエンリクスが率いるポルトガル軍は、母親のレサ伯爵夫人と恋人のフェルナンド・ペレス・トラバが率いる軍を打ち負かした
- 1128年6月29日-01:00|イタリヤ| ||<即位>イタリヤ王「コンラート3世」ローマ王、ロリア3世の対立王として挙兵、その死後に選挙君主制の支持を集めて王朝を開く(~1135年)
- 1128年7月28日-01:00|フランス/ベルギー| ||<死去>フランドル伯「ギヨーム・クリトン」
- 1128年7月28日-01:00|フランス/ベルギー| ||<就任>フランドル伯「ティエリ」(~11680117死去)
- 1128年8月10日-09:00|日本|岩手県|大治3年7月13日|<死去>奥州・藤原清衡(武将)[1056年生~](享年73)
- 1128年11月-01:00|チェコ| ||ブルノ(~1130年9月)とズノイェ(~1134年)がホミアに帰還
- 1128年11月22日-09:00|日本|滋賀県大津市|大治3年10月28日|延暦寺惣持寺焼亡
- 1128年12月4日-01:00|ドイツ| ||<死去>ノルマルク辺境伯「ハインリヒ2世」
- 1128年12月4日-01:00|ドイツ| ||<就任>ノルマルク辺境伯「ウド4世」(~11300215死去)
- 1129年-05:00|キルギス/ウズベキスタン/中国| ||<即位>西カラハン朝ハン「Nasr」=>「Ahmad Qadir Khan」(~1130年)
- 1129年-04:00|アルメニア| ||<死去>キリキア・アルメニア王国国王「トロス1世」
- 1129年-04:00|ロシア| ||<死去>ムロム公・リヤザン公「ヤロスラフ・スヴャトスラウイチ」ムロム公国からリヤザン公国、ポロンスク公国が分離
- 1129年-04:00|アルメニア| ||<即位>キリキア・アルメニア王国国王「コンスタンティヌス2世」(~1130年死去)

1150迄 (1562件)

- 1129年-04:00|ロシア| |||<即位>プ ロンスク公「ロスチスラフ・ヤロスラフ イチ」(~1143年)
- 1129年-04:00|ロシア| |||<即位>ム-ロム公「ユ-リー・ヤロスラフ イチ」(~1143年死去)
- 1129年-04:00|ロシア| |||<即位>リヤザン公「スヴヤトスラフ・ヤロスラフ イチ」(~1143年退位~1145年死去)
- 1129年-03:00|ヘラルーン| |||<即位>ウ イテフ スク公「ウァシリコ・スヴヤトスラフ イチ」(~1132年退位)
- 1129年-03:00|タンザニア| |||<即位>キルワ・スルタン「Suleiman」(~1131年)
- 1129年-03:00|ヘラルーン| |||<即位>ホ ロック公「イジヤスラフ・ムスチスラフ イチ」(~1132年)
- 1129年-03:00|ヘラルーン| |||<廃位>ウ イテフ スク公「スヴヤトスラフ・フェスラフ イチ」キエフ大公ムスチスラフ1世に捕縛された
- 1129年-03:00|ヘラルーン| |||<廃位>ト ルツク公「ロクウ・オト・ロクウ・オトウ イチ」ビザンツ帝国に追放
- 1129年-01:00|オーストリア| |||<死去>シュターア-マルツ辺境伯「レヒルト」
- 1129年-01:00|フランス| |||<死去>ヒゴール伯「Centule2世」
- 1129年-01:00|オーストリア| |||<就任>シュターア-マルツ辺境伯「オカール3世」(~11641231死去)
- 1129年-01:00|ドイツ| |||<就任>ライン宮中伯「ウイヘルム」(~1139年)
- 1129年-01:00|ポーランド| |||<即位>ヘレムシユリ公「ウラジミール・オタレフ イチ」(1141年、ガリチ公国と合併~1153年死去)
- 1129年-01:00|チェコ| |||<退位>ブルノ公「ウラチスラフ」
- 1129年-01:00|ドイツ| |||<退位>ライン宮中伯「コッットフリート・フォン・カルフ」
- 1129年-01:00|チェコ| |||<復位>ブルノ公「ソビエスラフ1世」ホヘミア公(~1130年退位~11400214死去)
- 1129年-01:00|ベルギー| |||ハール伯ルノーがフロン城を占領(~1141年)
- 1129年1月 00:00|イギリス| |||<死去>3代チェスター伯「ラルフ・ル・メン」
- 1129年1月 00:00|イギリス| |||<就任>4代チェスター伯「ラルフ・ド・カーノン」(~11531216死去)
- 1129年1月22日-08:00|中国| ||大理・保天1年|後理の段正嚴が保天と改元
- 1129年1月22日-09:00|日本| ||大治3年7月13日|<死去>源俊頼(生年1055年/公家、歌人)
- 1129年2月5日-09:00|日本|京都府京都市|大治4年1月15日|京都大火/六角東洞院東南より失火、四条万里小路まで延焼
- 1129年2月17日-02:00|トルコ| |||<死去>キリキア・アルメニア王国国王「トロス1世(ソロス1世)」
- 1129年2月17日-02:00|トルコ| |||<即位>キリキア・アルメニア王国国王「コスタンティン2世」⇒「レヴォン1世」(~1137年)
- 1129年2月21日-08:00|中国| ||宋・建炎3年2月|南宋の高宗、杭州臨安に都を移す
- 1129年3月8日-01:00|ポーランド| |||<死去>ゲルトルン伯「ゲルハルト1世(ヘルム1世)」
- 1129年3月8日-01:00|ポーランド| |||<就任>ゲルトルン伯「ゲルハルト2世(ヘルム2世)」(~11311024死去)
- 1129年3月26日-08:00|中国| ||宋・建炎3年3月5日|苗傅、劉正彦ら、高宗を退位させ、皇子の魏国公趙昞を立てる(明受の乱)
- 1129年4月6日-09:00|日本|京都府京都市左京区|大治4年3月16日|最勝寺五大堂焼亡
- 1129年4月21日-08:00|中国| ||宋・建炎3年4月|張浚ら、苗傅、劉正彦を討ち、高宗復位
- 1129年6月2日-01:00|フランス| |||<就任>アンジュー伯「ジヨワワ5世・ト・ブランタンネット」兼トール伯、メヌ伯、ノルマンディー公/ブルグ5世若伯とエルマンガルト・ド・メヌの息子(~11510907死去38歳)
- 1129年6月2日-01:00|フランス| |||<退任>アンジュー伯「ブルグ5世若伯」兼エルサレム国王(~11431101死去54歳)
- 1129年7月18日-09:00|日本| ||大治4年7月1日|<就任>関白:藤原忠通
- 1129年7月24日-09:00|日本| ||大治4年7月7日|<死去>白河法皇(第72代白河天皇)/77歳(誕生:天喜1(1053)0620)鳥羽院政
- 1129年10月15日-09:00|日本| ||大治4年9月1日|日蝕
- 1129年11月27日-09:00|日本|京都府京都市東山区|大治4年10月14日|清閑寺焼亡
- 1130年-05:00|キルギス/ウスベキスタン/中国| |||<即位>西カラハン朝ハン「Hasan Jalal ad-Dunya」(~1132年)
- 1130年-04:00|アルメニア| |||<死去>キリキア・アルメニア王国国王「コスタンティヌス2世」
- 1130年-04:00|アルメニア| |||<即位>キリキア・アルメニア王国国王「レオ1世」(~1137年、ビザンチン帝国占領下)
- 1130年-04:00|アルメニア/アゼルバイジャン| |||<即位>シャッター朝(アニ)国王「マフメド」(~1131年)
- 1130年-03:00|イェメン| |||<即位>ナジャーフ朝アミール「al-Fatig2世」(~1133年)
- 1130年-02:00|シリア・アラブ| |||ザンギーがハマ(シリア)を占領し、アンティオキアを攻撃
- 1130年-01:00|フランス| |||<死去>サンボール伯「ユーク2世」
- 1130年-01:00|イタリア| |||<就任>ウエネツィア共和国第36代ドージェ(元首)「ピエトロ・ポラニ」(~1148年)
- 1130年-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチア・ハン「アレクシエ」(~1141年)
- 1130年-01:00|フランス| |||<就任>サンボール伯「アンゲラン」(~1150年)ユーク3世の長男
- 1130年-01:00|デンマーク| |||<即位>シュレスヴィヒ公マグヌス「スウェーデン王」(~1134年)
- 1130年-01:00|スウェーデン| |||<即位>スウェーデン王国国王「スヴェルケル1世年長王」(~11561225死去)
- 1130年-01:00|スウェーデン| |||<退位>スウェーデン王国国王「マグヌス1世」(~11340604死去)
- 1130年-01:00|ドイツ| |||<廃位>ウイツェンブーレン伯・テューリンゲン方伯「ヘルマン1世」
- 1130年-01:00|クロアチア/イタリア| |||ウエネツィアによるダルマチアのザラ/ザダル支配(~1157年)
- 1130年 00:00|イギリス| |||<就任>ハンティントン伯「Henry」(⇒1139年兼ノサンブリア伯~1141年~11520612死去)
- 1130年1月22日-08:00|中国| ||金の天会7年・南宋の建炎3年12月11日|ウグ率いる金軍、臨安府を占領
- 1130年1月23日-01:00|ルクセンブルク| |||<死去>ルクセンブルク伯「ウイヘルム1世」
- 1130年1月23日-01:00|ルクセンブルク| |||<就任>ルクセンブルク伯「コンラッド2世」ウイヘルム1世の息子(~1136年没)
- 1130年1月24日-09:00|日本|京都府京都市|大治4年12月13日|四条坊門堀川4町焼亡
- 1130年2月-02:00|シリア・アラブ| |||<死去>アンティオキア公「ホエモン2世」
- 1130年2月-02:00|シリア・アラブ| |||<即位>アンティオキア公「コンスタン(女公)」(~1163年死去)

1150迄 (1562件)

- 1130年2月13日-01:00|バチカン| |||<死去>第163代ローマ教皇「ホノリウス2世」  
 1130年2月14日-01:00|バチカン| |||<就任>対立ローマ教皇「アナクレトゥス2世(ピエトロ・ピエリノ)」(~11380125)  
 1130年2月14日-01:00|バチカン| |||<就任>第164代ローマ教皇「インノケンティウス2世」(~11430924)  
 1130年2月15日-01:00|ドイツ| |||<死去>ノルマルク辺境伯「ウド4世」  
 1130年2月15日-01:00|ドイツ| |||<就任>ノルマルク辺境伯「コンラート」(~11321225戦死)  
 1130年3月1日-01:00|チェコ| |||<死去>オモウツ公「ウァーツラフ1世」  
 1130年3月1日-01:00|チェコ| |||<即位>オモウツ公「ツビェスラフ1世」ウァーツラフ2世の五男。ホヘミア公(~1135年)  
 1130年3月1日-01:00|チェコ| |||オモウツ公ホヘミアに帰還(~1135年10月)  
 1130年3月10日-09:00|日本|京都府京都市|大治5年1月29日|藤原忠実の鴨井殿焼亡  
 1130年3月12日-08:00|中国| ||宋・建炎4年2月|南宋の湖南で鍾相の指導する均産一揆がおこる/鍾相、楚王と称し天載(1130)と改元  
 1130年3月26日-01:00|ノルウェー| |||<死去>ノルウェー王「シグルド1世マグソフ・ヨルサルファー」  
 1130年3月26日-01:00|ノルウェー| |||即位>ノルウェー王「マグヌス4世シグルドソフ盲目王」(1回目~11350107)  
 1130年8月00:00|モロッコ| |||<即位>ムワヒド朝アミール「アブド・アルムミン」(~1163年死去)  
 1130年8月4日-09:00|日本|京都府京都市|大治5年6月29日|中御門北・室町東より失火、西洞院土御門に及び  
 1130年8月15日-09:00|日本|京都府京都市中京区|大治5年7月10日|上皇御所大炊御門殿焼亡/大炊御門万里小路の院御所焼亡  
 1130年9月-01:00|チェコ| |||<退位>ブルノ公「ツビェスラフ1世」(~11400214死去)  
 1130年9月-01:00|チェコ| |||<復位>ブルノ公「ウァーツラフ2世」(2回目~11560816)  
 1130年9月27日-01:00|イタリア| |||<即位>シチリア伯「ルッジェーロ2世」⇒シチリア王(~11540226死去)  
 1130年10月-01:00|フランス| |||パリの北東の「マルセル」城主トマ・ド・マルセルの「反乱」が起こり、フランス王ルイ6世が鎮圧(王領地を平定)  
 1130年10月3日-01:00|ノルウェー| |||<即位>ノルウェー王「ハラルド4世シグル・マグヌソン」共同統治(1回目~11340809)  
 1130年10月4日-08:00|中国| ||金・天会8年;宋・建炎4年9月|ウジユ、ルシラの率いる金軍、富平で呉玠らの率いる宋軍を大破。陝西方面を制圧  
 1130年10月7日-01:00|ドイツ| |||<死去>ハートン辺境伯「ヘルマン2世」  
 1130年10月7日-01:00|チュニジア/エジプト| |||<死去>ファーティマ朝第10代カリフ「アルアミール・ヒェアガミールラー」殺害される  
 1130年10月7日-01:00|ドイツ| |||<就任>ハートン辺境伯「ヘルマン3世」(~11600116死去)  
 1130年10月7日-01:00|チュニジア/エジプト| |||<即位>ファーティマ朝第11代カリフ「アルハフィズ」(~11491008死去)  
 1130年10月12日-08:00|中国| ||金・天會8年9月9日|金、大名府で劉予を大齊皇帝に冊立し阜昌(1130-1137)と改元、南宋と対抗せしむる  
 1130年11月11日00:00|ポルトガル| |||<死去>ポルトガル女王「テレサ」ポルトガール女伯  
 1130年11月13日-01:00|ドイツ| |||<死去>シャウエンブルク伯・ルシュタイン伯「アドルフ1世」  
 1130年11月13日-01:00|ドイツ| |||<就任>シャウエンブルク伯「アドルフ2世」(~11640706死去)兼ルシュタイン伯(~1137年)  
 1130年12月20日-09:00|日本|京都府京都市|大治5年7月10日|前斎院・禊子内親王御所(土御門高倉第)炎上  
 1131年-05:30|スリランカ| |||<死去>ポロンナル王「Vikramabahu1世」  
 1131年-05:30|スリランカ| |||<即位>ポロンナル王「Gajabahu2世」Vikramabahu1世の息子(~1153年)  
 1131年-04:00|アルメニア/アゼルバイジャン| |||<即位>シャッター朝(アニ)国王「クシチクル」⇒「ファクル・アルデイン・シャッタード」(~1155年)  
 1131年-03:00|タンザニア| |||<即位>キルワ・スルタン「Dawud ibn Suleiman」(~1170年)  
 1131年-02:00|トルコ| |||<死去>エディッサ伯「ジョスラン1世」  
 1131年-02:00|トルコ| |||<就任>エディッサ伯「ジョスラン2世」(~1150年ザンギ朝の捕虜となる~1159年死去)  
 1131年-01:00|モンテネグロ| |||<死去>ドゥクリヤ王「ジョルジエ・コンスタンティノウィッチ」  
 1131年-01:00|ベルギー| |||<就任>シー伯「Albert1世」(~11620929死去)  
 1131年-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パタイン「ヤノシュ・フィアウロス」(~1138年頃)  
 1131年-01:00|モンテネグロ| |||<即位>ドゥクリヤ王「グラーニャ・ブラニスラヴ・リェウィッチ」(~1146年死去)  
 1131年-01:00|モンテネグロ/トルコ| |||モンテネグロはビザンチンの家臣(~1186年)  
 1131年1月7日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<死去>シュレースヴィヒ公「クヌズ・ラウアー」  
 1131年1月7日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<即位>シュレースヴィヒ公「マグヌス・スウェーデン王」(~11340604死去)  
 1131年1月23日-01:00|スペイン/フランス| |||<死去>サルトーニャ伯「ラモン・バルランゲ-1世」兼ハルルバヤ伯「ラモン・バルランゲ-3世(大伯)」兼プロヴァンス伯「レモン・ベランジェ1世」  
 1131年1月23日-01:00|スペイン| |||<就任>サルトーニャ伯・ハルルバヤ伯「ラモン・バルランゲ-4世(聖伯)」ラモン・バルランゲ-3世の子(1150年、アラゴン王女ペドロニャと結婚、アラゴンとの同君連合(アラゴン連合王国)成立~11620806死去)  
 1131年1月23日-01:00|フランス| |||<就任>プロヴァンス伯「ベランジェ・レモン1世」(~1144.3死去)  
 1131年1月31日-09:00|日本| ||大治6年|この頃、歴史物語「大鏡」成る  
 1131年1月31日-08:00|中国| ||宋・紹興1年1月1日|南宋代高宗が紹興(-1162年)と改元  
 1131年2月17日-01:00|イタリア| |||シチリア王ルッジェーロ2世がアルフィ公国を併合  
 1131年2月28日-09:00|日本| ||天承1年1月29日|天承に改元  
 1131年3月1日-01:00|ハンガリー/クロアチア| |||<死去>ハンガリー王・クロアチア王「シュテファン2世」  
 1131年3月1日-01:00|ハンガリー| |||<即位>ハンガリー国王「ベ-ラ2世盲目王」カールマン1世の甥(~11410213死去)  
 1131年4月3日-01:00|クロアチア| |||<即位>クロアチア王「ハンガリー王ベ-ラ2世盲目王」(~11410213死去)  
 1131年8月2日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|天承1年7月8日|鳥羽阿弥陀堂の落慶供養が行われる

1150迄 (1562件)

- 1131年8月21日-02:00|パレスチナ| ||<死去>エルサレム国王「ホードゥアン2世」(~11431113, 52歳没)
- 1131年8月21日-02:00|パレスチナ| ||<即位>エルサレム国王「メリザント」ホードゥアン2世とモルフィア・オブ・マラティアの娘(~1153年退位~11610911死去56歳), 「フルク」アンジュ-伯フルク4世とベルトラード・ド・モンフォールの息子(メリザントと共同統治~11431113死去52歳) (~11431113, 52歳没)
- 1131年9月10日-03:00|イラク/イラン/トルクメニスタン| ||<死去>大セルジューク朝スルターン「マフムド2世」
- 1131年9月10日-03:00|イラク/イラン/トルクメニスタン| ||<即位>大セルジューク朝スルターン「ターウド」(~1132年)
- 1131年10月8日-08:00|中国| ||金・天會9年9月16日| 耶律大石が天山ウイグル王国を破り、ビシュバリク占領。天山ウイグル王国、耶律大石の宗主権承認
- 1131年10月18日-01:00|フランス| ||<即位>フランス王ルイ6世の子ルイ(後のルイ7世)、ランスでローマ教皇インノケンティウス2世により「戴冠」し、父との「共同統治者」となる
- 1131年10月24日-01:00|オランダ| ||<死去>ゲルデルン伯「ゲルハルト2世(ヘラルト2世)」
- 1131年10月24日-01:00|オランダ| ||<就任>ゲルデルン伯「ハインリヒ(ヘンドリック)」(~1182年死去) 母エルメンガルトよりストフエン伯位を継承
- 1132年-05:30|インド| ||<即位>パ-ンテ-ヤ朝君主「Maaravaramban Seervallaban」(~1161年)
- 1132年-05:00|キルギス/ウズベキスタン/中国| ||<即位>西カラハ朝ハーン「Ibrahim Rukn ad-Dunya」⇒「Mahmud」(~1141年)
- 1132年-04:00|ロシア| ||<即位>ノヴゴロド公「スヴャトホルク・ムスチスラフイチ」(~1132年) ⇒<復位>「フェウオド・ムスチスラフイチ」(~1136年)
- 1132年-03:00|イラク/イラン/トルクメニスタン| ||<即位>大セルジューク朝スルターン「トウケリル2世」(~1134年死去)
- 1132年-03:00|ベラルーシ| ||<即位>ウイェフスク公「フセワフ・ウァシリコフイチ」(~1162年退位)
- 1132年-03:00|ベラルーシ| ||<即位>トウロフ公「フェウオド・ムスチスラフイチ」⇒「Iziaslav2世・ムスチスラフイチ」(~1134年)
- 1132年-03:00|ベラルーシ| ||<即位>ホロツク公「スヴャトホルク・ムスチスラフイチ」⇒「ウァシリコフ・ウイェフスク公」(~1144年)
- 1132年-03:00|ベラルーシ| ||<退位>ウイェフスク公「ウァシリコフ・ウイェフスク公」
- 1132年-02:00|ウクライナ| ||<即位>ベレヤスラフリ公「フェウオド・ムスチスラフイチ」⇒「ユーリー・ウラジミロフイチ」(~1132年)
- 1132年-01:00|イタリヤ| ||<就任>ゲラウイナ伯「Robert」(~1132年)
- 1132年-01:00|ドイツ| ||<就任>ベルク伯「アドルフ4世」(~1160年)
- 1132年2月-02:00|トルコ| ||<即位>サルトキッド君主「Izzeddin Saltuk2世」(~1168年)
- 1132年2月9日 00:00|イギリス| ||<死去>ホイス公「マルダット・アフ・フレディン」
- 1132年2月9日 00:00|イギリス| ||<即位>ホイス公「マルダット・アフ・マルダット」(~1160年死去)
- 1132年2月19日-09:00|日本| ||天承2年2月1日|<死去>良忍(生年1073年/天台宗の僧、融通念仏宗の開祖)
- 1132年2月23日-08:00|中国| ||西遼・延慶1年2月5日| 耶律大石がカラハ朝の領主「ルグ」を破り、首都のベラカゴン占領/アラーシャブの子孫とされるハラサーグ-ンの王=大食国王?に代わり、即位してグルカゴン(天祐皇帝、徳宗)を称す(西遼建国) 延慶(-1134年)と改元
- 1132年3月31日-09:00|日本| 京都府京都市左京区| 天承2年3月13日| 鳥羽上皇が得長寿院(白河千体観音堂)の落慶供養を行う
- 1132年3月31日-09:00|日本| 京都府京都市東山区| 天承2年3月13日| 初代三十三間堂(正式名称は蓮華王院)落慶式
- 1132年4月14日-02:00|ウクライナ| ||<死去>キエフ大公「ムスチスラフ1世」
- 1132年4月17日-02:00|ウクライナ| ||<即位>キエフ大公「ヤ味ルク2世」(~11390218死去)
- 1132年6月6日-02:00|シリア・アラブ| ||<死去>フ-リー朝アミール「フ-リ(タジ・ウムルク・フ-リ)」
- 1132年6月6日-02:00|シリア・アラブ| ||<即位>フ-リー朝アミール「イスマイル(シャムス・ウムルク・イスマイル)」(~11350201死去)
- 1132年6月22日-09:00|日本| 滋賀県| 天承2年5月8日| 大雨により淀浮橋流失
- 1132年9月4日-09:00|日本| 京都府京都市| 天承2年7月23日| 鳥羽上皇(第74代)御所3カ所(三条烏丸・姉小路室町・御倉町)焼亡
- 1132年9月14日-09:00|日本| ||天承2年8月4日| 天文博士兼時彗星見る/7, 8夜見える
- 1132年9月21日-09:00|日本| ||長承1年8月11日| 長承に改元
- 1132年10月5日-09:00|日本| ||長承1年8月25日| 寅刻、彗星北方に見ゆ。長さ3尺、白色/29日まで
- 1132年11月25日-09:00|日本| ||長承1年10月16日|<死去>恂子内親王(生年1093年/皇族、伊勢斎宮)
- 1132年12月25日-01:00|ドイツ| ||<死去>ノルマルク辺境伯「コンラート」戦死
- 1132年12月25日-01:00|ドイツ| ||<就任>ノルマルク辺境伯「ルドルフ2世」(~1134年退位)
- 1133年-06:30|ミャンマー| ||<即位>アラカン国王「カウリヤ」(~1153年) マ-ティ寺院を建てる
- 1133年-05:30|インド| ||<即位>チョ-ラ朝国王「Kulothunga2世」(~1150年死去)
- 1133年-05:30|インド| ||<即位>パ-ラマ-ラ朝国王「Yashovarman」(~1142年)
- 1133年-03:00|イェメン| ||<即位>ナジ-ヤ-フ朝アミール「al-Fatih3世」(~1158年)
- 1133年-02:00|ウクライナ| ||<即位>ベレヤスラフリ公「ウイェフスク・ムスチスラフイチ」(~1133年)
- 1133年2月7日-09:00|日本| 茨城県常陸太田市| 長承2年| 佐竹昌義、天神林氏の居城馬坂城を占領
- 1133年2月7日-07:00|ベトナム| ||大越・天彰宝嗣1年| 大越・李朝の神宗李乾徳が天彰宝嗣と改元(-1138)
- 1133年4月24日-09:00|日本| 京都府宇治市| 長承2年3月18日| 平等院多宝塔が建立される
- 1133年5月7日-08:00|中国| ||宋・紹興3年4月| 楊太、大聖天王(-1135)を称し鍾相の子・鍾儀を擁立
- 1133年6月4日-01:00|ドイツ/オーストリア/フランス/イタリヤ| ||<即位>フランク-ローマ帝国皇帝「ロタル3世」(ブルグント王・ザクセン公兼イリア王「ロターリオ3世」~11371203死去)
- 1133年8月3日-08:00|中国| ||宋・紹興3年| 金・天会11年秋| 岳飛、襄陽を金から奪回
- 1133年9月19日-09:00|日本| ||長承2年8月19日|<死去>藤原長実(生年1075年/公卿、歌人)

1150迄 (1562件)

- 1134年-03:30|イラン/イラク/トルクメニスタン| |||<死去>大セルジューク朝スルターン「トゥグ・リル2世」
- 1134年-03:30|イラン/イラク/トルクメニスタン| |||<即位>大セルジューク朝スルターン「マスウード」(~11520913死去)
- 1134年-03:00|ベラルーシ| |||<復位>トゥーロフ公「ウァチスラフ・ウラジミロウイチ」(~1142年)
- 1134年-02:00|トルコ| |||<死去>タニシュメント朝マリク「アミール・ガーズィー・ゲムシュテギン」
- 1134年-02:00|トルコ| |||<即位>タニシュメント朝マリク「マリク・ムハンマド・ガーズィー」(~1142年死去)
- 1134年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ベレヤスラヴリ公「ウァチスラフ・ウラジミロウイチ」(~1134年)
- 1134年-01:00|ドイツ| |||<就任>ノルマルク辺境伯「アルブレヒト1世熊公」(~11701118死去)
- 1134年-01:00|イタリア| |||<即位>フツリヤ・カラブリア公「ルッジェーロ3世」ルッジェーロ2世の長男(~11480502死去)
- 1134年-01:00|フランス| |||<退任>ウエルタン伯「Reginald」(~1149年死去)
- 1134年-01:00|ドイツ| |||<退任>ノルマルク辺境伯「ルドルフ2世」
- 1134年-01:00|チェコ| |||<復位>スノイ公「コネラート2世オタ」(2回目~11601213)
- 1134年1月27日-08:00|中国| ||西遼・康国1年|西遼耶律大石がこの歳、西遼、ハラーサーグーンの近くに新都ヲスルヲ建て、虎思斡耳朵と号し、康国(-1143年)と改元
- 1134年3月14日-09:00|日本|京都府京都市|長承3年2月17日|六条殿が焼失
- 1134年6月4日-01:00|デンマーク| |||<死去>シュレーヴイヒ公「マグヌス」
- 1134年6月11日-09:00|日本|京都府京都市|長承3年5月17日|<長承3年京都、鴨川、桂川氾濫>河水が多く流れ出て、河原の小屋(住家)はすべて流された/京の堀川西洞院では河水が氾濫し流されて死亡した人がある/鴨川や桂川も氾らんし、道路はまったく渡れなくなった/具体的な被害は、京都市中が浸水したこと、川の沿岸に建てていた住家がすべて流されたということ、堀川西洞院で死亡者が出たということだけで、そのほかは不明
- 1134年6月25日-01:00|デンマーク| |||<死去>デンマーク王「ニコル」
- 1134年6月25日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<即位>デンマーク王・シュレーヴイヒ公「エーリク2世」エーリク1世の庶子(~11370918死去)
- 1134年7月7日-09:00|日本|京都府京都市|長承3年6月14日|大風雨で四條大橋が崩れ、祇園御霊会の神輿1基が鴨川に墜落
- 1134年8月19日-09:00|日本|京都府京都市|長承3年7月28日|四條坊門西洞院辺失火、朱雀に及ぶ
- 1134年9月8日-01:00|スペイン| |||<死去>アラゴン国王・ナバラ国王「アルフォンソ1世」61歳
- 1134年9月8日-01:00|スペイン| |||<即位>アラゴン国王「ラミロ2世」サンチョ・ラミレスとフェリシ・デ・ルシーの息子(~11371113退位~11570816死去82歳);ナバラ王「ガルシア・ラミレス」ラミロ・サンチェスとクリスティーナ・ロドリゲスの男子(~11501121死去)
- 1135年-08:00|インドネシア| |||<即位>ケティ王国国王「ジヤバヤ」(~1179年)
- 1135年-05:30|インド| |||<死去>チョーラ朝国王「Vikrama」
- 1135年-03:00|イラク| |||<即位>マサヤト朝アミール「ムハンマド・イブン・テュハイス」(~1138年)
- 1135年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ヴォルィニ公「イジヤスラフ・ムチスラヴイチ」(~1142年)
- 1135年-02:00|ウクライナ| |||<復位>ベレヤスラヴリ公「ユーリー・ウラジミロウイチ」⇒「アンドレイ・ウラジミロウイチ」(~1141年)
- 1135年-01:00|オーストリア/スロベニア/イタリア| |||<引退>ケルンテン公「エンゲルベルト」兼ヴェロナ辺境伯
- 1135年-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<死去>ポズナン公「ヴァルティスラフ1世」
- 1135年-01:00|イタリア| |||<就任>トスカナ辺境伯「ハインリヒ10世」ハイン公、ザクセン公(~1139年)
- 1135年-01:00|フランス| |||<就任>モルテン伯「Eustace4世」(~1141年)
- 1135年-01:00|イタリア| |||<即位>カプア公「アルフォンソ」(~11441010死去)
- 1135年-01:00|オーストリア/スロベニア/イタリア| |||<即位>ケルンテン公「ウルリヒ1世」兼ヴェロナ辺境伯(~11440407死去)
- 1135年-01:00|イタリア| |||<即位>スペレート公「エンゲルベルト3世」(~1137年)
- 1135年-01:00|フランス| |||<即位>ノルマンディー公「エティエンヌ」イングランド王「ステイヴン」(~1144年)
- 1135年-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<即位>ポズナン公「ラティボル1世」(~1156年死去)
- 1135年-01:00|スペイン| |||<即位>レオン国王「アルフォンソ7世」ガリシア国王・カスティリア国王(~11570821死去)
- 1135年-01:00|チュニジア/イタリア| |||シリア・ノルマン王国がジゼルバ島占領(~1158年)
- 1135年 00:00|イギリス| |||<即位>デハバース公「Gruffydd ap Rhys」公国部分的に再開(~1137年死去)
- 1135年1月7日-01:00|ルウェー| |||<即位>ルウェー王「ハラル4世」ル・マクヌソン(2回目~11361214)
- 1135年1月16日-08:00|中国| ||西夏・大徳1年|西夏の崇宗が大徳(-1139年)と改元
- 1135年1月16日-09:00|韓国/朝鮮| ||宋・紹興5年1月|高麗で妙清らが西京で反乱を起こし国号を大為国として自立、天開(-1136)と改元
- 1135年1月16日-09:00|日本| ||長承3年間12月1日|日蝕
- 1135年2月1日-02:00|シリア・アラブ| |||<死去>ブーリー朝アミール「イスマイル(シャムス・ウマルク・イスマイル)」
- 1135年2月1日-02:00|シリア・アラブ| |||<即位>ブーリー朝アミール「マフムド(シハブ・ウッティーン・マフムド)」イスマイルの弟(~1139年)
- 1135年2月9日-08:00|中国| ||金・天會13年1月25日|<死去>金第2代皇帝「太宗(呉乞買=ウキマイ)完顔晟」年61
- 1135年2月10日-08:00|中国| ||金・天會13年1月26日|<即位>金第3代皇帝「熙宗(合剌=ホ)完顔亶」(~皇統9年12月9日(1150年1月9日)死去)
- 1135年3月6日-09:00|日本|京都府京都市|長承4年1月20日|待賢門院御所(三条京極)焼亡
- 1135年3月21日-09:00|日本| ||長承4年2月5日|<死去>行尊(生年1055年/天台宗の僧、歌人)
- 1135年5月-01:00|イタリア| |||<死去>モンフェッラート侯「ラニエリ1世」
- 1135年5月-01:00|イタリア| |||<就任>モンフェッラート侯「グリエルモ5世」ラニエリ1世の子(~1191年夏死去)
- 1135年6月4日-08:00|中国| ||金・天會13年4月21日|<死去>北宋第8代皇帝「徽宗」配流先の五国城にて没する[1082年10月10日生~](享年52)
- 1135年6月10日-09:00|日本| ||保延1年4月27日|長承から保延に改元

1150迄 (1562件)

- 1135年6月21日 00:00|アイスランド| |||<就任>アイスランド 連邦共和国政府(アルシング) 法話者「フラン ウルフェデ インソン」(~1139年)
- 1135年7月6日-01:00|ベルギー-| |||<死去>リエージュ公「アレクサンドル1世」
- 1135年7月6日-01:00|ベルギー-| |||<就任>リエージュ公「フィリップ1世」(~11450327死去)
- 1135年7月13日-09:00|日本| ||保延1年6月|平忠盛が海賊の首領を捕らえる
- 1135年7月13日-08:00|中国| ||宋・紹興5年6月|楊太・鍾子儀の乱平定
- 1135年8月29日-03:00|イラク| |||<死去>ハゲダート・アッバース朝カリフ「ムスタシド」
- 1135年8月29日-03:00|イラク| |||<即位>ハゲダート・アッバース朝カリフ「ラシド」(~11360817退位~11380606刺客に殺害された)
- 1135年10月-01:00|チェコ| |||<即位>オロモウツ公「レホルト」ボジワフ2世の息子(~1137年)
- 1135年12月1日-01:00|フランス| |||<即位>ノルマンディー公(フロワ家)エティエンヌ[イングランド 王ステイヴン](~1144年)
- 1135年12月1日 00:00|イギリス/フランス| |||<死去>イギリス王「ヘンリー2世 碩学王」兼ノルマンディー公「アンリ1世 碩学公」67歳
- 1135年12月22日 00:00|イギリス| |||<即位>イギリス王「ステイヴン・オブ・ブロウ」ブロウ伯エティエンヌ2世とアデルモント・ノルマンディーの男子(1期目~11410408)ヘンリー1世の娘マチルダとの間に王位をめぐる内乱が勃発
- 1135年12月31日-01:00|ドイツ| |||<死去>オストマルク辺境伯・ラウジッツ辺境伯「ハインリヒ3世」
- 1136年-08:00|マレーシア| |||<即位>スマタラ国スルタン「ムザファル・シャー1世」建国(~11790727死去)
- 1136年-04:00|ロシア| |||<就任>ノヴゴロド 共和国ノヴゴロド 公「スヴャトスラフ・オリゴウイチ」(~1138年)
- 1136年-04:00|ロシア| |||<即位>カスク公「ケレブ・オリゴウイチ」(~1138年死去)
- 1136年-02:00|シリア・アラブ| |||<即位>アンティオキア公「レモン・ト・ホウティエ」(~11490629死去)
- 1136年-02:00|シリア・アラブ| |||<即位>アンティオキア公「レモン・ト・ホウティエ」(~1149年)
- 1136年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ウイニコト 公「フセヴォド・ムスチスラフイチ」(~1136年)
- 1136年-01:00|ルクセンブルグ| |||<死去>ルクセンブルク伯「コンラット2世」
- 1136年-01:00|ドイツ| |||<就任>下ラウジッツ辺境伯「コンラット1世」(~11561130退任)
- 1136年-01:00|フランス| |||<就任>オーベールニュ伯「Robert3世」(~1145年)
- 1136年-01:00|ドイツ| |||<就任>スポンハイム伯「Godfrey1世」(~1159年)
- 1136年-01:00|ルクセンブルグ| |||<就任>ルクセンブルク伯「ハインリヒ4世」コンラット2世の従兄弟。ナミュール伯アンリ1世(~11960814没)
- 1136年-01:00|ホースニア・ヘルツェゴビナ/ハンガリー| |||ホースニアはハンガリーのベネ2世に征服される
- 1136年 00:00|イギリス| |||<就任>リッチモント 伯「アラン黒伯」ステイヴンの三男、後のブルターニュ女公ベルトと結婚(~11460915死去)
- 1136年 00:00|イギリス| |||イングランドのステイヴンとマチルダの内戦について、スコットランド 王カーライル、ニューカッスルを占領
- 1136年3月5日-09:00|韓国/朝鮮| ||宋・紹興6年2月|高麗・妙清の乱、平定
- 1136年4月25日-09:00|日本|京都府京都市|保延2年3月23日|鳥羽勝光明院の落慶供養
- 1136年8月17日-03:00|イラク| |||<即位>ハゲダート・アッバース朝カリフ「ムタフイー」(~11600312死去)
- 1136年8月17日-03:00|イラク| |||<退位>ハゲダート・アッバース朝カリフ「ラシド」(~11380606刺客に殺害された)
- 1136年10月14日-09:00|日本|奈良県奈良市|保延2年9月17日|春日若宮「おん祭り」が始まる(奈良県)
- 1136年11月15日-01:00|オーストリア| |||<死去>オーストリア辺境伯「聖レホルト3世」63歳
- 1136年11月15日-01:00|オーストリア| |||<就任>オーストリア辺境伯「レホルト4世」(~11411018死去)
- 1136年12月12日-08:00|中国| ||金・天會14年11月17日|金、齊を廃止し、劉予を蜀王とす
- 1136年12月14日-01:00|ノルウェー| |||<死去>ノルウェー王「ハラルド4世 ジル・マクヌソン」
- 1136年12月14日-01:00|ノルウェー| |||<即位>ノルウェー王「シグムンド2世 ハラルドソン・マン」(~11550610、殺害される)、「インゲ1世 ハラルドソン・クロリク」(~11610204死去)
- 1136年12月25日-09:00|日本|京都府京都市南区|保延2年12月|慈恩寺焼失
- 1137年-04:00|ロシア| |||<即位>プスコフ公「フセヴォド・ムスチスラフイチ」(~1138.2死去)
- 1137年-01:00|イタリア| |||<死去>エスチ辺境伯「アッツォ3世」
- 1137年-01:00|ドイツ| |||<死去>ニュルンベルク城伯「ゴットフリート2世・フォン・レープス」
- 1137年-01:00|ドイツ| |||<就任>ニュルンベルク城伯「コンラット1世・フォン・レープス」(~1143年死去)
- 1137年-01:00|ドイツ| |||<就任>ホルシュタイン伯「ハインリヒ・フォン・ハートウイテン」(~1143年)
- 1137年-01:00|フランス| |||<就任>ホウティエ伯「Eleanor」(~1152年)
- 1137年-01:00|イタリア| |||<即位>スペレート公「ヘンリー・尊大公」ハイルン公(~1139年)
- 1137年-01:00|イタリア| |||<即位>プツィヤ・カラリア対立公「ライヌルフ」教皇インノケンティウス2世と神聖ローマ皇帝ロタール3世に推薦された(~1139年)
- 1137年-01:00|ホースニア・ヘルツェゴビナ/ハンガリー| |||<即位>ホースニア公「ラースロ2世」(~1154年)
- 1137年-01:00|チェコ| |||オロモウツをホースニアが支配(~11400217)
- 1137年 00:00|イギリス| |||<死去>デハイバース公「ケリフイス・アブ・ラセル」
- 1137年 00:00|イギリス| |||<即位>ウェールズ 大公「オウエイン・グウイネッス・アブ・ケリフイス」(~1170年)
- 1137年 00:00|イギリス| |||<即位>デハイバース公「アンウド・アブ・ケリフイス」(~1143年死去)
- 1137年3月4日-09:00|日本| ||保延3年2月11日|<死去>聖恵法親王(生年1094年/真言宗の僧、白河天皇の第五皇子)
- 1137年4月9日-01:00|フランス| |||<死去>アキテーヌ公「ギヨーム10世」
- 1137年4月9日-01:00|フランス| |||<就任>ホウティエ伯「エノア」(~1153年)、「ルイ7世」(~1152年)
- 1137年4月9日-01:00|フランス| |||<即位>アキテーヌ公「エノアル」(~12040401死去)、「ルイ7世」フランス王、アリエールと共同統治(~1152年)

1150迄 (1562件)

- 1137年4月11日 00:00|イギリス| |||<死去>グウィネト王「ケラファット・アブ・サイナン」
- 1137年4月11日 00:00|イギリス| |||<即位>グウィネト王「オウエイン・アブ・ケラファット」(~11701128死去)
- 1137年5月22日-08:00|中国| ||西遼・康国4年5月|西遼、セルジューク朝サマルカント(いまウズベキスタンにある。当時はセミスケント)軍と戦い、コージェンド(いまタジキスタンにある)を占領
- 1137年7月25日-01:00|フランス| |||フランス王ルイ6世の子ルイ(後のルイ7世)、フランス南西部のポルトーを訪れ、「アキーン公」ギヨーム0世の娘アリエール・ダキーンと、「サンタントレ大聖堂」で結婚し、フランス南西部に広がる広大な「アキーン公領」を手に入れる
- 1137年8月-02:00|シリア・アラブ| |||ヒザンツ、ヨハネス2世がアンティオキア侯国を攻略し占領
- 1137年8月1日-01:00|フランス| |||<死去>フランス王(カペー朝)「ルイ6世(肥満王)」病気の突然の悪化で(誕生1081年)
- 1137年8月1日-01:00|フランス| |||<即位>フランス王(カペー朝)「ルイ7世(若王)」ルイ6世の子(~11800918死去)
- 1137年9月18日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<死去>デンマーク王・シュレーズガイト公「エリック2世」殺害される
- 1137年9月18日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<即位>デンマーク王・シュレーズガイト公「エリック3世」ヘコン・スニウアツソとラグンヒルト・エリクスダッタの息子(~11460827死去)
- 1137年9月19日 03:00|イラク/シリア・アラブ| |||イラク、シリアで地震(M7.4)、死者23万人
- 1137年10月30日-01:00|イタリヤ| |||<死去>パトリック「セルギウス7世」
- 1137年11月13日-01:00|スペイン| |||<即位>アラゴン国王「ペドロニラ」ラミロ2世とイネス・デ・アキニアの娘(~11640718退位~11741016死去38歳);<即位>アラゴン王・サルタニャ伯・バルセロナ伯「ラモン・バランカ」4世(聖伯)同君連合(アラゴン連合王国)成立(アラゴン王女ペドロニラと婚約⇒1150年結婚、~11620806死去)
- 1137年11月13日-01:00|スペイン| |||<退位>アラゴン国王「ラミロ2世」(~11570816死去82歳)
- 1137年12月-01:00|ルウェー| |||<即位>ルウェー対立王「マクス4世シグルド」ソ盲目王」(2回目~11391112)
- 1137年12月3日-01:00|ドイツ/オーストリア/フランス/イタリヤ/スイス| |||<死去>フランク・ローマ帝国皇帝・ブルグント王・ザクセン公「ロタール3世」兼イタリヤ王「ロタール3世」(誕生1075年)
- 1137年12月3日-01:00|ドイツ/オーストリア/フランス/イタリヤ| |||<即位>フランク・ローマ帝国皇帝代理「トリア大司教アルベロ・フォン・モントリュ」(~11380201)
- 1137年12月4日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン公「ハインリヒ2世尊大公」ハイル公ハインリヒ10世(~11391020死去)
- 1137年12月31日-08:00|中国| ||金・天會15年11月17日|金、劉予を廃する
- 1138年-05:30|インド| |||<死去>後期チャールキヤ朝国王「ソメシュヴァラ3世」
- 1138年-05:30|インド| |||<即位>後期チャールキヤ朝国王「Jagadhekamalla2世」(~1151年)
- 1138年-04:00|ロシア| |||<再任>ノヴゴロド共和国ノヴゴロド公「スヴャトホルク・ムスチスラヴィチ」(~1138年)⇒「ロスラフ・ユリエヴィチ」(~1140年)
- 1138年-04:00|ロシア| |||<死去>カスク公「ケレブ・オリゴウイチ」
- 1138年-04:00|ロシア| |||<即位>カスク公「スヴャトスラフ・オリゴウイチ」(~1139年)
- 1138年-03:30|イラン| |||<死去>ニザリイスマイリ国君主「Da'i Kiya Buzurg-Ummid」
- 1138年-03:30|イラン| |||<即位>ニザリイスマイリ国君主「Da'i Muhammad ibn Kiya Buzurg-Ummid」(~11620220死去)
- 1138年-03:00|イェメン| |||<死去>スレイト朝スルタン「アル・ヒント・アーマット」
- 1138年-03:00|イラク| |||<即位>マスヤト朝アミール「Muhammad ibn Dubays」(~1145年)
- 1138年-03:00|イェメン| |||<即位>ラッシー朝イマーム「アルムタワキル・アフマド・ビン・スレイマン」(~1171年死去)
- 1138年-01:00|ドイツ/オランダ| |||<就任>ユリヒ伯「ゲルハルト4世」(6世)「(~1142年)
- 1138年 00:00|イギリス| |||<就任>ダーク・ヒューズ伯「Robert de Ferrers」(~1139年死去)
- 1138年 00:00|イギリス| |||<就任>ペンブルック伯「ギルバート・ド・クレア」(~11480106死去)
- 1138年 00:00|アイルランド| |||テスマム(テスマム)がムム(ミュンスター)に再編入(~1152年)
- 1138年2月-04:00|ロシア| |||<死去>プスコフ公「スヴャトホルク・ムスチスラヴィチ」
- 1138年2月-04:00|ロシア| |||<即位>プスコフ公「スヴャトホルク・ムスチスラヴィチ」(~1148年)
- 1138年2月1日-01:00|ドイツ/オーストリア/フランス/イタリヤ| |||<即位>フランク・ローマ帝国皇帝代理「ケルン大司教アールト」(~3.7)
- 1138年2月12日-08:00|中国| ||宋・紹興8年|南宋が臨安に遷都
- 1138年2月12日-08:00|中国| ||金・天眷1年1月1日|金の熙宗が天眷(-1140年)と改元
- 1138年2月12日-08:00|中国| ||金・天眷1年1月1日|金、女直小字を頒かつ
- 1138年3月7日-01:00|ドイツ| |||<即位>ドイツ王「コンラート3世」ハインリヒ4世の娘の息子(~11520215没)
- 1138年3月23日-01:00|バチカン| |||<就任>対立ローマ教皇「ウクトル4世」(~11380325)
- 1138年4月4日-09:00|日本|京都府京都市|保延4年2月23日|賀茂社神館・待賢門院御所の四条西洞院など焼亡
- 1138年4月5日-09:00|日本|京都府京都市上京区|保延4年2月24日|二条東洞院内裏焼亡
- 1138年4月13日-01:00|フランス| |||<即位>ロレーヌ(ロトリンゲン)公「マチュー1世」(~11760513死去)
- 1138年4月15日 05:00|日本|京都府京都市|保延4年3月5日|<京都保延4年の大火>未の刻(14時ごろ)五条坊門の猪隈小路で出火、南に延焼して南殿(御所内の紫宸殿)を焼き八条の通りまで及んだ
- 1138年5月7日-01:00|ドイツ| |||<即位>ブルグント王「コンラート3世」(~11520215死去)
- 1138年6月8日-09:00|日本|京都府京都市|保延4年4月29日|延暦寺が加茂社領下司の日吉祭参加停止を要求。朝廷認可により帰山の途中、加茂神人の家宅を破壊
- 1138年8月9日 12:00|シリア・アラブ| |||シリアのアルホフで地震、死者23万人
- 1138年8月22日 00:00|イギリス| |||スコットランド王聖デヴィット一世がイングランド北部の諸侯にスタンダードで破れ、ニューカッスルを放棄
- 1138年8月27日-09:00|日本| ||保延4年7月20日|戌亥方に彗星見ゆ
- 1138年9月6日-08:00|中国| ||金・天眷1年8月1日|金、官制を頒ち行なう
- 1138年10月28日-01:00|ポーランド| |||<死去>ポーランド公「ボレスワフ3世グワウスタフ」王国は息子たちに分割相続され、ホ

1150迄 (1562件)

°-ランド王国の統一は失われる

- 1138年10月28日-01:00|ホ°-ランド° | |||<即位>ホ°-ランド° 大公「ウ°ワテ° イスワ2世ウ°イグ° ナエツ」ホ° レスワ3世の息子/シロンク公を兼ねる (~1146年弟たちによって追放される)
- 1138年10月28日-01:00|ホ°-ランド° | |||<即位>マヅ° フシエ°クヤウ° イ公「ホ° レスワ4世」ホ° レスワ3世の息子 (~11730105死去)
- 1138年10月31日-07:00|ベ°トナム° | ||大越°・紹明1年9月26日|<死去>李朝大瞿越第5代皇帝「神宗李陽煥」
- 1138年10月31日-07:00|ベ°トナム° | ||大越°・紹明1年9月26日|<即位>李朝大瞿越第6代皇帝「英宗李天祚」 (~11750814死去) 紹明と改元 (-1139)
- 1138年12月27日-09:00|日本|京都府京都市|保延4年11月24日|皇居土御門殿焼失
- 1139年-05:00|ウ°ス°ベ°キスタン°/トルコ° | |||ホ°ラ°ス°ム°・シャ°朝、セルジューク総督支配下のブ°ハラ°を奪取
- 1139年-02:00|ウ°クラ°イ°/ベ°ラル°シ°/ロシア° | |||<即位>チェルニ°ヒウ°公「ウ°ラ°シ°-ミル°ダ°ウ°イ°ト°ウ°イ°チ°」 (~1151年)
- 1139年-02:00|ウ°クラ°イ° | |||<即位>ノ°グ°ロ°ト°・セウ°エルスキー°公「イ°ゴ°リ°オ°リ°ゴ°ウ°イ°チ°」 (~1146年)
- 1139年-02:00|シリア°・アラブ° | |||<即位>ブ°-リー°朝アミール「ムハンマド° (シ°ジャマル°ウッテ°イン°・ムハンマド°)」マフムト°の弟 (~1140年)
- 1139年-01:00|ベ°ルギ°- | |||<死去>ナミュール伯「ジ°ヨフワ」
- 1139年-01:00|イ°タリア° | |||<就任>エ°ステ°辺境伯「アツツオ5世」 (~1193年死去)
- 1139年-01:00|イ°タリア° | |||<就任>ト°スカ°ナ°辺境伯「ウルヒ°・フォン°・アツテム」皇帝代理 (~1152年)
- 1139年-01:00|ベ°ルギ°- | |||<就任>ナミュール伯「アンリ1世」 (~1189年~11960814死去) ルクセン° ルク伯
- 1139年-01:00|ベ°ルギ°- /オ°ランダ° | |||<就任>リン°ブル°伯「ヘンリ°2世」公爵の称号はフ°ラ°バ°ント°のゴ°ット°フリ°2世に委ねられ、伯爵として従った (~11670801死去)
- 1139年-01:00|イ°タリア° | |||<即位>ス°ポ°レート°公「ウルリッヒ」 (~1152年)
- 1139年-01:00|イ°タリア° | |||<即位>ナ°ポリ°公「アルフォンソ」 (~11441010死去)
- 1139年 00:00|イ°ギリス° | |||<死去>ダ°-ヒ°-伯「Robert de Ferrers」
- 1139年 00:00|アイスランド° | |||<就任>アイスランド° 連邦共和国政府 (アルソグ°) 法話者「フィヌル° ハルソ」 (6月23日まで代行~1145年)
- 1139年 00:00|イ°ギリス° | |||<就任>ダ°-ヒ°-伯「Robert de Ferrers」 (~1162年死去)
- 1139年 00:00|イ°ギリス° | |||<就任>ノ°サン°バ°ランド° 伯「Henry of Scotland」 (~11520612死去) 兼ノ°サン°ブ°リア°伯「Henry」ハンティントン°伯 (~1141年~11520612死去)
- 1139年 00:00|マリ°ニ°ジ°エール° | |||<即位>ソグ°イ°王国国王「テイブ」 (~1158年)
- 1139年1月3日-08:00|中国° | ||宋°・紹興8年; 金°・天眷1年12月|南宋、金と和し、臣礼と歳幣の代わりに、開封含む齊の旧領獲得 (1142に第二次和議)
- 1139年1月25日-01:00|ベ°ルギ°- | |||<死去>ル°ベ°ン°・フ°ラッセル°伯「Godfrey1世」
- 1139年1月25日-01:00|ベ°ルギ°- | |||<就任>ル°ベ°ン°・フ°ラッセル°伯「Godfrey2世」Godfrey1世の息子 (~11420613死去)
- 1139年2月1日-07:00|ベ°トナム° | ||大越°・紹明2年|<即位>チャン°ハ°王「ジ°ヤ°・インド°ラウ°アルマン3世」 (~1145年)
- 1139年2月18日-02:00|ウ°クラ°イ° | |||<死去>キ°エフ°大公「ヤ°ホ°ル°2世」
- 1139年2月18日-02:00|ウ°クラ°イ° | |||<即位>キ°エフ°大公「ウ°ヤ°チ°ス°ラフ°1世」 (1期目~3. 4退位)
- 1139年3月4日-02:00|ウ°クラ°イ° | |||<退位>キ°エフ°大公「ウ°ヤ°チ°ス°ラフ°1世」
- 1139年3月5日-02:00|ウ°クラ°イ° | |||<即位>キ°エフ°大公「フ°セウ°オ°ロ°ト°2世」 (~11460801死去)
- 1139年4月-01:00|バ°チカン° | |||第2回ラ°テ°ラ°ノ°公会議で聖職者の妻帯禁止を決定
- 1139年7月1日-08:00|中国° | ||西夏°・大慶1年6月4日|<死去>西夏第4代皇帝「崇宗 (聖文皇帝) 李乾順」
- 1139年7月1日-08:00|中国° | ||西夏°・大慶1年6月4日|<即位>西夏第5代皇帝「仁宗 (聖徳皇帝) 李仁孝」 (~乾祐24年9月20日 (1193年10月16日) 死去) 大慶と改元 (-1143年)
- 1139年7月25日 00:00|ポ°ルトガ°ル°/モ°ロッコ° | |||<オ°リク°の戦い>レ°オンキ°スタ°でポ°ルトガ°ル°キ°リスト°教連合軍がム°ラ°ベ°ト°朝軍に勝利
- 1139年7月26日 00:00|ポ°ルトガ°ル° | |||<即位>ポ°ルトガ°ル°王「ア°フォンソ°1世」ポ°ルトガ°ル°伯ア°フォンソ°・エンリ°カ°スが、オ°リク°の戦いでイスラム軍を破り建国 (~11851206死去)
- 1139年8月6日-01:00|フランス°/オ°ランダ°/ベ°ルギ°- | |||<死去>下°オ°リン°ギ°ア°公・フ°ラ°バ°ント°公「ウ°アルム」兼リン°ブル°公「ウ°アルム2世」
- 1139年8月6日-01:00|ベ°ルギ°- /オ°ランダ° | |||<就任>リン°ブル°公「ハインリヒ2世」 (~1167. 8死去)
- 1139年8月6日-01:00|フランス° | |||<即位>下°オ°リン°ギ°ア°公「ゴ°ト°フ°ロフ°7世 (6世)」 (~11420613死去)
- 1139年9月30日 00:00|イ°ギリス° | |||マ°チル°ダ°が王位を要求してイ°ン°グ°ラ°ント°に上陸
- 1139年9月30日 02:00|ア°ゼル°バ°イ°ジャン° | |||ア°ゼル°バ°イ°ジャン°・ガ°ン°ザ°で地震 (M7. 7)、死者23万人
- 1139年10月20日-01:00|ト°イツ° | |||<死去>サ°ケン°公「ハインリヒ2世尊大公」兼ハ°イ°エル°大公「ハインリヒ10世 (傲岸公)」
- 1139年10月20日-01:00|ト°イツ° | |||<即位>サ°ケン°公「アル°レヒト°熊公」 (~1142年)
- 1139年10月20日-01:00|ト°イツ° | |||<即位>ハ°イ°エル°大公「レ°ホ°ルト」オ°ストリア°辺境伯 (~11411018死去)
- 1140年-05:30|インド° | |||<建国>レ°ウ°国
- 1140年-04:00|ロシア° | |||<再任>ノ°グ°ロ°ト° 共和国ノ°グ°ロ°ト° 公「ス°ヤ°ト°ス°ラフ°・オ°リ°ゴ°ウ°イ°チ°」 (~1141年)
- 1140年-03:00|ベ°ラル°シ° | |||<即位>ベ°レ°ス°チ°エ°公「ス°ヤ°ト°ポ°ルク°・ム°スチ°ス°ラフ°イ°チ°」 (~1142年)
- 1140年-03:00|ベ°ラル°シ° | |||<復位>ト°ルツク°公「ロク°ウ°オ°ロ°ト°・ロク°ウ°オ°ロ°ト°ウ°イ°チ°」 (2度目~1144年)
- 1140年-02:00|シリア°・アラブ° | |||<即位>ブ°-リー°朝アミール「ムイ°ヌッテ°イン°・ウ°ヌル° (トゥク°・テ°キ°-ンのマムル°ク°)」 (~11490828死去)、 「ア°バ°ク° (ム°ジ°-ル°ウッテ°イン°・ア°バ°ク°)」 (~1154年)
- 1140年-01:00|ト°イツ° | |||<就任>ウ°アイ°マル°=オ°ラ°ミュン°テ° 伯「アル°レヒト°熊公」 (~1170年)
- 1140年-01:00|ト°イツ° | |||<就任>ベ°ル°伯「アド°ルフ°5世」 (~1148年)
- 1140年-01:00|バ°チカン° | |||イ°タリア°で教会法「グ°ラ°ティア°ヌ°ス°教令集」が編纂
- 1140年 00:00|イ°ギリス° | |||<就任>エ°セックス°伯「ジ°エ°フリー°ト°・マン°デ°ウ°イル」 (~1144. 9死去)
- 1140年 00:00|イ°ギリス° | |||ス°ティ°ブ°ン°とマ°ティル°ダ°の和議の結果、スコットラ°ント°王ノ°サン°バ°-ラ°ント°、カン°バ°-ラ°ント°などの支配権を獲

## 得

- 1140年1月12日-01:00|ドイッ| |||<死去>テューリンゲン方伯「ルトウ・イヒ1世」  
 1140年1月12日-01:00|ドイッ| |||<就任>テューリンゲン方伯「ルトウ・イヒ2世」(~11721014死去)  
 1140年1月22日-07:00|ベトナム| ||大越・大定1年|大越・李朝の英宗李乾徳が大定と改元(-1162)  
 1140年2月13日-09:00|日本|京都府八幡市|保延6年1月23日|石清水八幡宮焼失  
 1140年2月14日-01:00|チェコ| |||<死去>ホ・ヘミア公「ツビ・エスラフ1世」  
 1140年2月14日-01:00|チェコ| |||<即位>ホ・ヘミア王代行「ウラジ・スラフ2世」(⇒17日王~11580118)  
 1140年2月17日-01:00|チェコ| |||<即位>オモウツ公「オオ3世」オオ2世の息子(~11600512死去)  
 1140年2月17日-01:00|チェコ| |||<退位>オモウツ公「ウラジ・スラフ2世」(~1165年死去)  
 1140年4月-01:00|ドイッ| |||<就任>ライン宮中伯「ハインリヒ3世宣誓公」(~1141. 10)  
 1140年7月2日-09:00|日本|京都府京都市|保延6年閏5月16日|行願寺塔・法成寺西塔、落雷により焼亡  
 1140年7月11日-09:00|日本|滋賀県大津市|保延6年閏5月25日|延暦寺僧徒が園城寺を焼く  
 1140年10月27日-09:00|日本| ||保延6年9月15日|<死去>鳥羽僧正覚猷(88歳、天喜1(1053)年生/天台宗の僧)「鳥獸戯画」を描いた  
 1141年-05:00|キルギス/ウズベキスタン/中国| |||<即位>西カラハン朝ハン「Ibrahim Tabghach Khan」(~1156年)  
 1141年-05:00|モルデヴィア| |||<即位>ティムク朝王「Dhovemi」(⇒11530707スルタン~1166年)  
 1141年-04:00|ロシア| |||<就任>ヴゴロト共和国「ヴゴロト公「スウヤトスラフ・セウグ・オトウ・イ」」(~1141年)⇒<再任>「ロスタフ・ユリエウ・イ」(~1142年)  
 1141年-03:30|イラン| |||<死去>カイト朝アミール「Garshasp2世」  
 1141年-03:30|イラン| |||<即位>ヤスト・アタク朝スルタン「ロクヌッディーン・サム・イブン・ウアルダ・ンルース」(~1188年死去)  
 1141年-02:00|ウクライナ| |||<死去>ガ・リチ公・テレホ・ウリ公「イウ・アン・ウ・アシロウ・イ」  
 1141年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ガ・リチ公「ウラジ・ミル・ウ・オダ・レウ・イ」(~1144年退位)兼テレホ・ウリ公「ウラジ・ミル・ウ・オダ・レウ・イ」(~1153年死去ガ・リチ公国に併合)  
 1141年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ペルコ・ロト公「スウヤトスラフ・オロウ・イ」(~1146年)  
 1141年-02:00|ウクライナ| |||<復位>ペレヤスラリ公「イウ・ヤスラフ・ムスチスラウ・イ」(~1146年)  
 1141年-01:00|フランス| |||<死去>サン・ホル伯「ユーク3世」  
 1141年-01:00|フランス| |||<就任>サン・ホル伯「アンゲラン」(~1150年死去)ユーク3世の長男  
 1141年-01:00|フランス| |||<就任>モルテン伯「Geoffrey」(~11510907死去)  
 1141年-01:00|ポーランド| |||<即位>ペレミシュリ公「ウラジ・ミル・ウ・オダ・レウ・イ」(~1153年死去ガ・リチ・テレホ・ウリス・ウ・ニコロト公国と合併)  
 1141年-01:00|クロアチア/ハンガリー| |||ハンガリーによるダルマチアのスプリット統治(~1171年)  
 1141年 00:00|イギリス| |||<就任>ケント伯「ウィルム・ファン・イ・ヘル」(~1155年、失脚)  
 1141年 00:00|イギリス| |||<就任>サマセット伯「ウリアム・ド・ウ・モン」(~1155年)  
 1141年 00:00|イギリス| |||<就任>デウオン伯「Baldwin de Redvers」(~11550604死去)  
 1141年 00:00|イギリス| |||<就任>リカン伯「ウリアム・ド・オ・ビニー」(~1143年)  
 1141年 00:00|アイルランド| |||ダブリンをムム(ミンスター)が占領(~1142年)  
 1141年1月14日-08:00|中国| ||金・天眷3年;宋・紹興10年12月5日|金、ふたたび宋を攻める  
 1141年2月2日 00:00|イギリス| |||スティーヴンが、マチルダとの内戦に敗れて捕虜となりリカンに幽閉される  
 1141年2月9日-09:00|日本|長崎県壱岐市|保延7年|桂室和尚が香椎村向陽庵[大久保触]を開く  
 1141年2月13日-01:00|ハンガリー/クロアチア| |||<死去>ハンガリー王・クロアチア王「ベラ2世盲目王」  
 1141年2月13日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国摂政「ベロシュ・ウロシッチ」(~1147年)  
 1141年2月13日-01:00|ハンガリー/クロアチア| |||<即位>ハンガリー王・クロアチア王「ゲザ2世」ベラ2世の息子(~11620531死去)  
 1141年2月16日-09:00|日本|京都府京都市|保延7年1月8日|行願寺焼失  
 1141年2月21日-08:00|中国| ||金・皇統1年1月13日|金の熙宗が皇統(-1149年)と改元  
 1141年3月3日 00:00|イギリス| |||スティーヴンに勝利したマチルダが、イングランド女王に推戴される  
 1141年3月9日-09:00|韓国/朝鮮| ||高麗・皇統1年1月29日|金からの知らせにより皇統に改元  
 1141年3月30日-09:00|日本|京都府京都市|保延7年2月21日|女御藤原得子が歓喜光院を供養  
 1141年4月7日 00:00|イギリス| |||<即位>イギリス対立王位請求者「マチルダ」ハンリー1世とマチルダ・オブ・スコットランドの女子(~11. 1~11670910死去)  
 1141年7月 00:00|イギリス| |||<就任>初代オックスフォード伯「オブリー・ド・ウ・イア」(~11941226死去)  
 1141年8月13日-09:00|日本| ||永治1年7月10日|辛酉革命により永治に改元  
 1141年9月9日-05:00|ウズベキスタン| ||西遼・康国8年8月8日|西遼、カワーン(サルカントの北?)でセルジューク軍に勝つ/クワラスム(アマ河下流域)、西遼に降る  
 1141年10月18日-01:00|ドイッ/オーストリア| |||<死去>ハインリヒ大公「レオポルト」兼オーストリア辺境伯「レオポルト4世」  
 1141年10月18日-01:00|オーストリア| |||<就任>オーストリア辺境伯「ハインリヒ2世」(⇒11560917オーストリア公~11770113死去70歳)  
 1141年10月18日-01:00|ドイッ/オーストリア| |||<即位>ハインリヒ大公「ハインリヒ11世宣誓公」レオポルトの兄弟(~1156年退位)  
 1141年12月7日 00:00|イギリス| |||<即位>イギリス王「スティーヴン・オブ・ブロウ」(2期目~11541025死去約58歳)  
 1141年12月26日-08:00|中国| ||宋・紹興11年;金・皇統1年11月27日|南宋の宰相秦檜が金と和議を結ぶ/宋を金の臣下とするというもの  
 1142年-05:30|インド| |||<即位>ハラマラ朝国王「Jayavarman1世」(~1143年)  
 1142年-04:00|ロシア| |||<再任>ヴゴロト共和国「ヴゴロト公「スウヤトスラフ・ムスチスラウ・イ」」(~1148年)  
 1142年-03:30|イラン| |||<即位>ケルマン・セルジューク朝スルタン「ムハンマド1世」(~1156年)

1150迄 (1562件)

- 1142年-03:30|イラン| |||<即位>ハハント朝太宰「Shah Ghazi Rustam」(~11650123死去)
- 1142年-03:00|ヘラルシュ| |||<即位>トゥーロフ公「スウヤトスラフ・フェグ・オトウ・イフ」⇒「グヤチスラフ・ウラジ・ミロウ・イフ」(~1146年)
- 1142年-02:00|トルコ| |||<死去>ダニシュメント朝マリク「マリク・ムハンマド・ガーズィー」
- 1142年-02:00|ウクライナ| |||<即位>グオリニ公「スウヤトスラフ・フェグ・オトウ・イフ」(~1146年)
- 1142年-02:00|トルコ| |||<即位>マラティヤ・ダニシュメント朝エミール「アイヌツァウ」(~1152年)
- 1142年-02:00|トルコ| |||<即位>メンジューク(エルジンジャ)君主「Davudsah」(~1162年)
- 1142年-02:00|トルコ| |||<即位>メンジューク(テイブリー)君主「Suleyman」(~1162年)
- 1142年-01:00|クワチア| |||<就任>クワチア・ハン「ヘロシュ・ウカウ・イツ」(1回目~1158年)
- 1142年-01:00|ドイツ/オランダ| |||<就任>ユーリヒ伯「ウイヘルム1世」(~1176年)
- 1142年-01:00|ドイツ| |||<就任>ライン宮中伯「ヘルマン3世」(~11560920死去)
- 1142年-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン公「ハインリヒ3世」ハイルン公ハインリヒ12世獅子公(~1180年)
- 1142年-01:00|スペイン| |||<即位>ハダ・ハ・タイフ「Siddray ibn Wazir al-Wazir」(~1145年)
- 1142年-01:00|チェコ/イタリア| |||シチリア・ノルマン王国は、アルマデーアを保護領とする(~1148年)
- 1142年 00:00|アイルランド| |||<死去>トモント王「コンチョハール・オー・ブリアン」
- 1142年 00:00|アイルランド| |||<即位>トモント王「トイルバハ・マック・デア・イムイト・ウア・ブリアン」デア・イムイト・オ・ブリアンの息子(~1167年没)
- 1142年1月5日-09:00|日本| ||永治1年12月7日|<就任>摂政:藤原忠通
- 1142年1月5日-09:00|日本| ||永治1年12月7日|<譲位>第75代「崇徳天皇」
- 1142年1月5日-09:00|日本| ||永治1年12月7日|<踐祚>躰仁親王/27日、76代「近衛天皇」として即位(~11550723)
- 1142年2月13日-09:00|日本| ||永治2年1月16日|<死去>藤原基俊(生年1060年/公家、歌人)
- 1142年4月13日-09:00|日本| 滋賀県大津市|永治2年3月16日|園城寺の僧徒が延暦寺を焼く
- 1142年4月20日-08:00|中国| ||金・皇統2年;宋・紹興12年3月23日|金、宋康王を冊して宋帝とする
- 1142年4月21日-01:00|フランス| |||<死去>フランスの騎士・スコラ学の神学者ピエール・アベラルが、フランス中央東部の「サン・マルセル修道院」(ソヌエ=ロワール県)で(1079~、63歳)/理性が信仰に優先するという「唯名論」を主張。恋人の修道院長エロイスとの「愛の書簡集」で有名
- 1142年5月25日-09:00|日本| ||康治1年4月28日|康治に改元
- 1142年5月27日-01:00|ルウェー| |||<即位>ルウェー王「オイクタイン2世ハラルド・ソン」シグル2世、インゲ1世と共同統治(~11570822死去)
- 1142年6月13日-01:00|フランス/ベルギー| |||<死去>下ロトリンギア公「ゴドフロワ7世(6世)」兼ルベノン・ブラッセル伯「Godfrey2世」
- 1142年6月13日-01:00|フランス/ベルギー| |||<即位>下ロトリンギア公「ゴドフロワ8世(7世)」兼ルベノン・ブラッセル伯「Godfrey3世」(~11900821死去)
- 1142年8月23日-08:00|中国| ||宋・紹興12年;金・皇統2年8月|南宋が金の要求に応じて商・秦を割譲し、大散関を境界とする
- 1142年9月22日-09:00|日本| 京都府京都市|康治1年9月2日|大雨で鴨川氾濫。民家など流失
- 1143年-07:00|カンボジア| |||カンボジアのアヌコール・ワットがこのころ造営
- 1143年-05:30|インド| |||<即位>ハラ朝国王「マタナハラ」(~1161年)
- 1143年-04:00|ロシア| |||<死去>ムロム公「ユーリー・ヤロスラウイフ」
- 1143年-04:00|ロシア| |||<即位>プロンスク公「ダウイト・スウヤトスラウイフ」(~1146年)
- 1143年-04:00|ロシア| |||<即位>ムロム公「スウヤトスラフ・ヤロスラウイフ」(~1145年死去)
- 1143年-04:00|ロシア| |||<即位>リャザン公「ロスラフ・ヤロスラウイフ」(~1145年退位~1155年死去)
- 1143年-04:00|ロシア| |||<退位>リャザン公「スウヤトスラフ・ヤロスラウイフ」(~1145年死去)
- 1143年-01:00|ドイツ| |||<再任>ホルシュタイン伯「アドルフ2世」(~11640706死去)
- 1143年-01:00|ドイツ| |||<死去>グユルテンベルク伯「コンラート2世」
- 1143年-01:00|ドイツ| |||<死去>ニルンベルク城伯「コンラート1世・フォン・レープス」
- 1143年-01:00|ドイツ| |||<就任>グユルテンベルク伯「ルートヴィヒ1世」(~1158年死去)
- 1143年-01:00|ドイツ| |||<就任>オルデンブルク=グイルテスハウゼン伯「ハインリヒ1世」(~1167年)
- 1143年-01:00|ドイツ| |||<就任>オルデンブルク伯「クリスチャン1世」(~1167年死去)
- 1143年-01:00|ドイツ| |||<就任>ニルンベルク城伯「ゴットフリート3世・フォン・レープス」(~1160年死去)
- 1143年 00:00|イギリス| |||<死去>デハイバース公「アンロウト・アブ・グリフィス」
- 1143年 00:00|イギリス| |||<就任>アランデル伯「ウィリアム・ド・オービニー」(~11761012死去)
- 1143年 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド 大法官「アバティーン司教エドワード」(~1145年)
- 1143年 00:00|イギリス| |||<就任>リンカーン伯「ウィリアム・ド・ルマル」(~1150年)
- 1143年 00:00|イギリス| |||<即位>デハイバース公「カテル・アブ・グリフィス」(~1153年)
- 1143年1月18日-09:00|日本| 奈良県奈良市|康治2年|この年、崇徳天皇の中宮皇嘉門院により興福寺三重塔建立
- 1143年1月18日-08:00|中国| ||西遼・咸清1年|<死去>西遼可汗「徳宗耶律大石」49歳
- 1143年1月18日-08:00|中国| ||西遼・咸清1年|<摂政>西遼可汗「感天皇后蕭塔不煙」(~1150年)/咸清と改元
- 1143年1月26日 00:00|モロッコ| |||<死去>ムラビト朝アミール「アリー・イブン・ユースフ」
- 1143年1月26日 00:00|モロッコ| |||<即位>ムラビト朝アミール「タシュフィーン・イブン・アリー」(~11450323死去)
- 1143年2月6日-01:00|フランス| |||<死去>ブルゴニュ公「ユーク2世平和公」
- 1143年2月6日-01:00|フランス| |||<即位>ブルゴニュ公「ウート2世」(~11620627死去)
- 1143年4月8日-02:00|トルコ| |||<死去>東ローマ皇帝「ヨハネス2世コムネノス(心美しきヨハネス)」
- 1143年4月8日-02:00|トルコ| |||<即位>東ローマ皇帝「マヌエル1世コムネノス(偉大なる)」ヨハネス2世コムネノスと皇后イレネーの四男(~

1150迄 (1562件)

11800924死去)

- 1143年7月16日-09:00|日本| ||| 康治2年6月3日 | <死去>常陸佐竹氏の祖「佐竹昌義」
- 1143年7月21日-09:00|日本| 福岡県太宰府市 | 康治2年6月21日 | 太宰府観世音寺の堂回廊焼失
- 1143年8月11日-09:00|日本| ||| 康治2年6月29日 | <任命>鎮守府将軍「藤原基成」(~不詳)
- 1143年9月16日-09:00|日本| 京都府京都市右京区 | 康治2年8月6日 | 皇后得子が御願寺法金剛院の落慶供養を行う
- 1143年9月24日-01:00|バチカン| ||| <死去>164代ローマ教皇「インケンティヌス2世」
- 1143年9月25日-01:00|バチカン| ||| <就任>第165代ローマ教皇「クレステニス2世」(~11440308死去)
- 1143年10月5日 00:00|ポルトガル/スペイン| ||| アフォンソ・エンリクスとカスティリア王アルフォンソ7世との間でサモラの条約が結ばれ、ポルトガルが王国となること認められた
- 1143年11月13日-02:00|パレスチナ| ||| <死去>エルサレム国王「フルク」52歳
- 1143年11月13日-02:00|パレスチナ| ||| <即位>エルサレム国王「ホトウアン3世」フルクとリザントの息子(1153年までリザントと共同統治~11620210死去32歳)
- 1143年11月20日 05:00|日本| 京都府京都市 | 康治2年10月12日 | 京都大火/四条南猪熊東より失火、五条東洞院まで類焼、因幡堂など焼亡
- 1144年-05:30|インド| ||| <即位>ハラマラ朝国王「Interregnum」(~1174年)
- 1144年-04:00|アルメニア| ||| <即位>キキア・アルメニア王国国王「トロス2世」(~1169年)
- 1144年-03:00|ベラルーシ| ||| <即位>ドルク公「ウレフ・ロウゴド・ウイ」ロウゴド・ウイの子(~1151年)
- 1144年-03:00|ベラルーシ| ||| <即位>ホロク公「ロウゴド・ホリウイ」ドルク公(~1151年)
- 1144年-02:00|ウクライナ| ||| <即位>ガリチ公「ウアン・ロスラウイ」(~1144年) => 「ウラジミール・ウラドレウイ」(~1153年死去)
- 1144年-02:00|トルコ| ||| <即位>キキア・アルメニア王国国王「トロス2世(ソロス2世)」(~11690206死去)
- 1144年-02:00|ウクライナ| ||| <退位>ガリチ公「ウラジミール・ウラドレウイ」
- 1144年-01:00|クアチア| ||| <就任>ホルビツァ伯「トマソ・ハパーリ」
- 1144年-01:00|ドイツ| ||| <就任>ラーヴェンスベルク伯「オット1世」(~1170年)
- 1144年-01:00|スペイン| ||| <即位>サタレン・タイファ「Labid」(~1145年)
- 1144年-01:00|スペイン| ||| <即位>ムトラ・タイファ「Abu-l-Qasim Ahmad ibn al-Husayn ibn Qasi」(~1145年)
- 1144年-01:00|イタリア| ||| アブルツォ、シチリア王国に併合
- 1144年1月14日-09:00|日本| 京都府京都市中京区 | 康治2年12月8日 | 京都六角堂焼失/現在の建物は1887年に再建
- 1144年2月5日 05:00|日本| 京都府京都市 | 康治2年12月30日 | 京都大火/大炊御門から二条東洞院まで焼亡
- 1144年2月6日-08:00|中国| ||| 西夏・仁慶1年 | 西夏の仁宗が人慶(-1148年)と改元
- 1144年3月-01:00|フランス| ||| <死去>フーアンソ伯「ヘランジエ・レーモン1世」
- 1144年3月-01:00|フランス| ||| <就任>フーアンソ伯「レーモン・ペランジエ2世」(~1166年死去)、「ラモン・バラングエ4世」摂政、バルセロナ伯(~1157年)
- 1144年3月8日-01:00|バチカン| ||| <死去>第165代ローマ教皇「クレステニス2世」
- 1144年3月12日-01:00|バチカン| ||| <就任>第166代ローマ教皇「ルキウス2世」(~11450215死去)
- 1144年3月28日-09:00|日本| ||| 天養1年2月23日 | 天養に改元
- 1144年4月7日-01:00|オーストリア/スロベニア/イタリア| ||| <死去>ケルテン公「ウルリッヒ1世」兼ヴェロナ辺境伯
- 1144年4月7日-01:00|イタリア| ||| <就任>ヴェロナ辺境伯「Henry6世」(~1151年)
- 1144年4月7日-01:00|オーストリア/スロベニア| ||| <即位>ケルテン公「ハインリヒ5世」(~11611012死去)
- 1144年5月-01:00|フランス| ||| <即位>ノルマンディー公「ジョフロワ美男公」アンジュー伯「ジョフロワ4世」(~1150年) / フランス王ルイ7世がフランス北部のジソール(ウル県)、ヴェクサン(フランス北部の地方名)の数城の割譲を条件に、フランス北部アンジュー地方を根拠地とする「プランタジネット家」の「アンジュー伯」ジョフロワの「ノルマンディー公国」領有を承認
- 1144年5月8日-01:00|フランス| ||| <死去>ヘルシュ伯「Rotrou3世」
- 1144年5月8日-01:00|フランス| ||| <就任>ヘルシュ伯「Rotrou4世」(~1191年死去)
- 1144年6月10日-09:00|日本| 京都府京都市 | 天養1年5月8日 | 白河北殿焼亡
- 1144年9月 00:00|イギリス| ||| <死去>エックス伯「ジェフリー・マンデウイ」
- 1144年9月 00:00|イギリス| ||| <就任>エックス伯「ジェフリー・マンデウイ」(~1166年死去)
- 1144年9月29日-09:00|日本| 熊本県宇土市 | 天養1年9月 | 菊池経直・阿蘇大宮司宇治友孝、網田神社を再興
- 1144年10月10日-01:00|イタリア| ||| <死去>カプア公・ナポリ公「アルフォンソ」
- 1144年10月10日-01:00|イタリア| ||| <即位>カプア公・ナポリ公「ウイリアム」(~11540226退位シリ-王)
- 1144年12月23日-02:00|シリア・アラブ| ||| 大守ゼンキがエッセイッサ伯領の首都エッセイッサを占領/エッセイッサ伯領が滅亡
- 1145年-07:00|ベトナム/カンボジア| ||| クメール王国のスルヤアルマン2世がチャンパを一時占領(~1149年)
- 1145年-04:00|ロシア| ||| <死去>ムロム公「スヴァトスラフ・ヤロスラウイ」
- 1145年-04:00|ロシア| ||| <即位>ムロム公「ロスチスラフ・ヤロスラウイ」(~1147年)
- 1145年-04:00|ロシア| ||| <即位>リャザン公「ケレフ・ロスチスラウイ」(~1147年退位~1178年死去)
- 1145年-04:00|ロシア| ||| <退位>リャザン公「ロスチスラフ・ヤロスラウイ」(~1155年死去)
- 1145年-03:00|イラク| ||| <即位>マスヤド朝アミール「アリ-2世・イブン・テュハイス」(~1150年)
- 1145年-01:00|イタリア| ||| <死去>エッセイッサ伯「アツォ4世」
- 1145年-01:00|フランス| ||| <就任>オーベルニュ伯「ギョーム7世」(~1168年)
- 1145年-01:00|クアチア| ||| <就任>ホルビツァ伯「アルベルト」
- 1145年-01:00|スペイン| ||| <即位>ガティクスおよびハサ・タイファ「Ahmad」(~1151年)
- 1145年-01:00|スペイン| ||| <即位>ゲラダ・タイファ「Abu Dja'far Ahmad "Zafadola"」(~同年ムワッヒド朝へ)
- 1145年-01:00|スペイン| ||| <即位>シルバ・タイファ「Abu-l-Walid Muhammad」(~1150年)

1150迄 (1562件)

- 1145年-01:00|スเปน| |||<即位>テハダ・タイア「Yusuf al-Bitruyi」(~1150年)  
 1145年-01:00|スเปน| |||<即位>ニエラ・タイア「Yusuf al-Bitruyi」⇒「al-Wahbi」(~1150年)  
 1145年-01:00|スเปน| |||<即位>ハエン・タイア「Ibn Yuzai」⇒「Abu Dja'far Ahmad Zafadola」(~1159年)  
 1145年-01:00|スเปน| |||<即位>ハレンシア・タイア「Abu 'Abd al-Malik Marwan」⇒「Abu Muhammad」(~1146年)  
 1145年-01:00|スเปน| |||<即位>ブルチエラ・タイア「Ibn Miqdam」(~1150年)  
 1145年-01:00|スเปน| |||<即位>ヘレス・タイア「Abu' l-Qaim Ahyal」⇒「Abu' l-Gammar」⇒「Ali」(~1145年)  
 1145年-01:00|スเปน| |||<即位>マカ・タイア「Abu' l-Hakam al-Husayn」(~1153年)  
 1145年-01:00|セルビア| |||<即位>ラシア大公「ウロシュ2世」(~1162年)  
 1145年 00:00|イギリス| |||<就任>ソールズベリ伯「ハトリック・オブ・ソールズベリ」(~11680327殺害される)  
 1145年 00:00|モッコ/スเปน| |||ムワヒット朝軍がイベリア半島に、侵入しセビリアなど諸都市を攻略  
 1145年1月15日-09:00|日本|京都府京都市|天養1年12月21日|大炊御門室町の小野宮焼亡  
 1145年1月25日-07:00|ベトナム| ||大越・大定6年|<即位>チャンパ王「ルトラウアルマン4世」(~1147年)  
 1145年2月15日-01:00|パチン| |||<死去>第166代ローマ教皇「ルキウス2世」  
 1145年2月18日-01:00|パチン| |||<就任>第167代ローマ教皇「エウゲニウス3世」(~11530708死去)  
 1145年2月24日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|天養2年2月|源義朝が大庭御厨(鎌倉)へ侵入する  
 1145年3月23日 00:00|モッコ| |||<死去>ムラビト朝アミール「ターシュフィン・イブン・アリー」  
 1145年3月23日 00:00|モッコ| |||<即位>ムラビト朝アミール「イブラヒム・イブン・ターシュフィン」(~1147年死去)  
 1145年3月27日-01:00|ベルギー-| |||<死去>リエージュ公「チニヌミュールのアルベール2世」  
 1145年4月7日-09:00|日本|奈良県奈良市|天養2年3月14日|興福寺僧徒が東大寺僧徒と争う  
 1145年4月16日-09:00|日本|京都府京都市|天養2年3月23日|藤原顕房第(六条北、室町西)焼亡  
 1145年4月28日-09:00|日本| ||天養2年4月5日|彗星東方に出現。数日見ゆ  
 1145年5月13日-01:00|ベルギー-| |||<就任>リエージュ公「リスのヘンリー2世」(~11640904死去)  
 1145年6月5日-08:00|中国| ||金・皇統5年5月13日|金、御製小字(女直小字)を初めて用いる  
 1145年7月22日-08:00|中国| ||金・皇統5年7月|皇統新律(皇統制)を頒かつ  
 1145年8月2日-09:00|日本|奈良県吉野郡吉野町|天養2年7月12日|興福寺僧徒が金峯山を攻める  
 1145年8月12日-09:00|日本| ||久安1年7月22日|久安に改元  
 1145年9月10日-09:00|日本| ||久安1年8月22日|<死去>藤原璋子、鳥羽天皇の中宮(生年1101年)  
 1145年10月1日-09:00|日本|奈良県吉野郡吉野町|久安1年9月13日|興福寺僧徒が金峯山を攻める  
 1145年11月8日-09:00|日本|神奈川県|久安1年10月22日|田所目代散位源朝臣頼清・上総曹司源義朝名代清大夫安行・三浦庄司平義次・義次男平義明・中村庄司平宗平・和田太郎平助弘ら1千余騎が大庭御厨に乱入  
 1146年-05:30|インド| |||<即位>チョーラ朝国王「Rajaraja2世」(~1173年死去)  
 1146年-04:30|アフリカ| |||<死去>ゴール朝マリク「イシュバルティーン・フサイン1世」  
 1146年-04:30|アフリカ| |||<即位>ゴール朝マリク「シャイファルティーン・スーリー」フサイン1世の子(~1149年死去)  
 1146年-04:00|ロシア| |||<即位>クルスク公「イヴァン・ユーリエウイチ」(~11470224死去)  
 1146年-03:00|ベラルーシ| |||<即位>トウロフ公「ヤロスラフ・インギヤスラウイチ」(~1146年)  
 1146年-03:00|ベラルーシ| |||<即位>ミンスク公「ロスチスラフ・グレボウイチ」(~1151年退位)  
 1146年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ヴォルィニ公「ウラジミール・アンドレイウイチ」(~1149年)  
 1146年-02:00|トルコ| |||<即位>スィヴァス・ダニシュメント朝マリク「マリク・ヤキハサン」(~1164.8死去)  
 1146年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ノヴゴロド・セウエルスキ公「スヴァトスラフ・オリクウイチ」(~1157年)  
 1146年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ペレヤスラフ公「ムスチスラフ・インギヤスラウイチ」(~1149年)  
 1146年-01:00|モンテネグロ| |||<死去>トウクリヤ王「グラーディニャ・ブラスラウリエウイチ」  
 1146年-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パタイン「ヘロシュ」(~1157年)  
 1146年-01:00|ドイツ| |||<就任>フェルテンツ伯「Gerlach2世」(~1186年)  
 1146年-01:00|クロアチア| |||<就任>ホルツァ伯「ミシエル・フランチェスコ・イヴァンチキ」  
 1146年-01:00|スเปน| |||<即位>ウマ・タイア「Umar」(~1150年)  
 1146年-01:00|モンテネグロ| |||<即位>トウクリヤ王「ラトスラフ・グラーディニャ」(~1162年死去)  
 1146年-01:00|スเปน| |||<即位>ハダ・ハス・タイア「Muhammad ibn Hakam al-Hayy」(~1149年ムワヒット朝へ)  
 1146年-01:00|スเปน| |||<即位>ハレンシア・タイア「Abu Dja'far Ahmad "Zafadola"」⇒<復位>「Abu Muhammad」(~1147年)  
 1146年-01:00|ポーランド| |||<即位>ポーランド公「ボレスワフ4世ケンジエシュヤウ」ボレスワフ3世の息子/マゾフシ公を兼ねる(~11730105死去)  
 1146年-01:00|ポーランド| |||<廃位>ポーランド大公「グワドィスワフ2世ウイグナニェツ」弟たちによって追放される  
 1146年-01:00|スเปน| |||<復位>ムトラ・タイア「Abu-l-Qasim Ahmad ibn al-Husayn ibn Qasi」(~1151年)  
 1146年-01:00|チュニジア/イタリア| |||ノルマン・シリアがケルケ諸島占領(~1158年)  
 1146年1月14日-09:00|朝鮮| ||高麗・皇統5年12月|高麗の金富軾が「三国史記」50巻を編纂  
 1146年4月-01:00|チェコ| |||ボヘミアがスノイ(スナム)を占領  
 1146年4月10日-09:00|朝鮮| ||宋・紹興16年|<死去>高麗王「仁宗」  
 1146年4月10日-09:00|朝鮮| ||宋・紹興16年|<即位>高麗王「毅宗」(~11701013退位)  
 1146年4月30日 05:00|日本|京都府京都市|久安2年3月18日|京都大火/五条京極辺より失火、四条以南・五条以北・東洞院以東・河原以西焼亡  
 1146年5月27日 05:00|日本|京都府京都市東山区|久安2年4月15日|清水寺僧内紛により清水寺焼亡  
 1146年6月17日-01:00|リビア/イタリア| |||<就任>ノルマンのトリスタニア総督「アブ・ヤヒヤ・イブン・マトルーフ・アル・タミミ」(~11600122)

1150迄 (1562件)

- 1146年6月17日-01:00|リビア/イタリア| |||ノルマン・シチリアがトリポリ占領(~11600122)
- 1146年6月21日 00:00|アイスランド| |||<就任>アイスランド 連邦共和国政府(アルシグ) 法話者「グンナール ウルフェテ インソン」(~1156年)
- 1146年8月1日-02:00|ウクライナ| |||<死去>キエフ大公「フセク 2世」
- 1146年8月1日-02:00|ウクライナ| |||<即位>キエフ大公「イゴリ 2世」(~8. 13捕虜となる)
- 1146年8月13日-02:00|ウクライナ| |||<即位>キエフ大公「イジャスラフ 2世」イゴリ 2世を打ち破って捕虜とし即位(~11490823 廃位)
- 1146年8月27日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<死去>デンマーク王・シュレーズヴィヒ公「エリク 3世」
- 1146年8月27日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<即位>シュレーズヴィヒ公「スヴェン 3世」「クヌズ 5世」デンマーク王(~1152年)、「ヴァルター マー 1世」(~1170年)
- 1146年8月27日-01:00|デンマーク| |||<即位>デンマーク王「スヴェン 3世」エリク 2世の庶子(~11571023死去)、「クヌズ 5世」スウェーデン王「マクス 1世」とポーランド 王女「リザ」の長男(~11570809死去)、「ヴァルター マー 1世」クヌズ・レーヴァートとキエフ公女「インゲボルグ」の息子(~11820512死去51歳)
- 1146年9月8日-08:00|中国| ||金・皇統6年8月| 滕骨(モンゴル)の熬羅李極烈、祖元皇帝と自称し、天興と改元
- 1146年9月14日-03:00|イラク/シリア・アラブ| |||<死去>ザンギー朝モースル・アバク兼アレクサンドリア「イマドゥッディーン・ザンギー 1世」 奴隸により殺される
- 1146年9月14日-03:00|イラク| |||<即位>ザンギー朝モースル・エミール「サイフッディーン・ガースィ 1世」(~1149. 11死去)
- 1146年9月14日-02:00|シリア・アラブ| |||<即位>ザンギー朝アレクサンドリア「ヌルッディーン・マフムド」(~11740515死去)
- 1146年9月15日 00:00|イギリス| |||<死去>リッチモンド 伯「アラン黒伯」
- 1146年9月15日 00:00|イギリス| |||<就任>リッチモンド 伯「コナン 4世」アラン黒伯とベルトとの間の息子(1166年~11710220死去)
- 1146年10月27日-02:00|シリア・アラブ| |||ジヨラン 2世がエディッサを取り返す
- 1146年11月3日-02:00|シリア・アラブ| |||ゼンギーの息子ヌール・エッディンがエディッサを征服
- 1147年-04:00|ロシア| |||<死去>カズク公「イヴァン・ユリエヴィチ」
- 1147年-04:00|ロシア| |||<即位>ムロム公「ウラジミール・スヴャトスラヴィチ」(~1149年)
- 1147年-04:00|ロシア| |||<即位>リャザン公「ダヴイド・スヴャトスラヴィチ」(~同年死去)
- 1147年-04:00|ロシア| |||<退位>リャザン公「グレゴリ・ロステスラヴィチ」(~1178年死去)
- 1147年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ペレソフニツァ公「ウヤチスラフ・ウラジミロヴィチ」(~1149年)
- 1147年-02:00|ルワンダ| |||<即位>ルワンダ 王国ムミ「ユビ 1世」ムシテ「イ」(~1180年)
- 1147年-01:00|ドイツ/オランダ| |||<就任>クルフェ伯「ティエトリヒ 2世」(~1172年)
- 1147年-01:00|スペイン| |||<即位>セグーラ・タイファ「Ibrahim」
- 1147年-01:00|ジブラルタル/モロッコ| |||ジブラルタルはアルモハド朝の一部
- 1147年 00:00|モロッコ| |||<死去>ムラービト朝アミール「イブラーヒム・イブン・ターシュフィーン」
- 1147年 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド 大法官「ウィリアム・ガミン」(~1150年)
- 1147年 00:00|モロッコ| |||<即位>ムラービト朝アミール「イサハク・イブン・アリー」(~1147. 4. ムワッヒド朝に滅ぼされる)
- 1147年1月4日-09:00|日本| ||久安2年12月1日| 彗星坤方に見ゆ。長さ2. 3丈。6日に10丈に達する
- 1147年2月2日-08:00|中国| ||大理・広運9年| <譲位>後大理第2代皇帝「憲宗宣仁帝(段正嚴)」
- 1147年2月2日-08:00|中国| ||大理・広運9年| <即位>後大理第3代皇帝「景宗正康帝(段正興)」(~1171年譲位)
- 1147年2月2日-07:00|ベトナム| ||大越・大定8年| <即位>チャンパ王「ジヤハリガ アルマン 1世」(~1166年)
- 1147年2月13日-09:00|日本| ||久安3年1月12日| 寅刻、彗星東方に見ゆ。長さ1丈
- 1147年2月24日-04:00|ロシア| |||<即位>カズク公「グレゴリ・ユリエヴィチ」(~1148年)
- 1147年3月16日-09:00|日本| ||久安3年2月13日| <死去>源有仁、皇族(生年1103年)
- 1147年3月30日-01:00|ドイツ| |||<即位>ドイツ王「ハインリヒ 6世」ベレンガール・コンラート 3世の息子/共同統治(~11500430没)
- 1147年3月30日-01:00|ドイツ/オーストリア/フランス/イタリア| |||<即位>フランク・ローマ帝国総督「スタヴロマルティン修道院長ウバルト」/ハインリヒ・フォン・グアイゼンハウ「ハ」(~1149年5月)
- 1147年4月 00:00|モロッコ| |||<死去>ムラービト朝アミール「イサハク・イブン・アリー」ムワッヒド朝に滅ぼされる
- 1147年4月 00:00|モロッコ| |||<即位>ムワッヒド朝アミール「アブドゥルムウミン」(~1163年死去)
- 1147年4月3日 00:00|モロッコ/スペイン/アルジェリア| |||モロッコはアルモハド・カリフ(モロッコとイベリア半島の一部、アルジェリア、チュニジア、リビア西部)の一部(1121年からアルモラヴィットに反抗) (~1269年)
- 1147年4月6日-01:00|ドイツ/スイス| |||<死去>シュヴァーベン大公「フリートリヒ 2世 独眼公」
- 1147年4月6日-01:00|ドイツ/スイス| |||<即位>シュヴァーベン大公「フリートリヒ 3世 赤髭公」(~11520304退位)
- 1147年5月-01:00|チェコ| |||<就任>ボヘミア王「ジギスムント 1世」(~1148年5月)
- 1147年10月25日 00:00|ポルトガル| |||ポルトガル国王アフォンソの西欧キリスト教国連合軍が、イスラム教徒勢力からリスボンを奪回
- 1147年10月26日-02:00|トルコ| |||第2回十字軍のコンラート 3世がトリア地方のセルジューク・トルコ人に敗れてニケーアに退却
- 1147年12月25日-08:00|中国| ||金・皇統7年12月| 金、滕骨を平らげる
- 1148年-04:00|ロシア| |||<就任>ウゴロト 共和国「ウゴロト 公」ヤロスラフ・イジャスラヴィチ」(~1154年)
- 1148年-04:00|ロシア| |||<即位>リャザン公「イゴリ・スヴャトスラヴィチ」(~1148年)
- 1148年-04:00|ロシア| |||<復位>カズク公「スヴャトスラフ・オリゴヴィチ」(~1149年)
- 1148年-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国第37代ドージェ(元首)「トメスコ・モシーニ」(~1156年)
- 1148年-01:00|フランス| |||<就任>トゥールーズ 伯「レイモン 7世」兼プロヴァンス 辺境伯「レイモン 5世」(~1194年死去)、トゥールーズ 伯「アールフォン 2世」(~1175年)

1150迄 (1562件)

- 1148年-01:00|フランス| |||<就任>ナント伯「ヘル3世」コナンの息子 (~1156年)
- 1148年-01:00|フランス| |||<就任>ヌール領主「アヴリーヌ・ド・シャト＝ラントン」 (~1174年)
- 1148年-01:00|クワチア| |||<就任>ポルヒツァ伯「コム＝リハトック」
- 1148年-01:00|チュニジア/イタリア| |||カサ(ガサ)はシリア王国の配下となる (~1159年)
- 1148年-01:00|チュニジア/イタリア| |||シリア・ノルマン王国がアルカイラン(カイロ)を占領 (~1158年)
- 1148年-01:00|チュニジア/イタリア| |||チュニスはシリア王国の配下となる (~1159. 7)
- 1148年 00:00|イギリス| |||<就任>ペンブルック伯「リチャード・ド・クレア」 (~1168年)
- 1148年 00:00|モロッコ| |||タンジールはアルモハドカリフ領の一部 (~1269年)
- 1148年1月6日 00:00|イギリス| |||<死去>ペンブルック伯「ギルバート・ド・クレア」
- 1148年1月6日 00:00|イギリス| |||<就任>サリ＝女伯「イザベル・ド・ワレン」 (~1203/12死亡)、サリ伯「ウイリアム・オブ・ブロイン」最初の夫 (~1159/1011死亡)
- 1148年1月6日 00:00|イギリス| |||<就任>ペンブルック伯「リチャード・ド・クレア」 (~1176/04/20死亡)
- 1148年1月22日-01:00|フランス| |||<死去>ブルゴニュー伯・マコン伯「ルノー3世」
- 1148年1月22日-01:00|フランス| |||<就任>ブルゴニュー伯「ヘートリス1世」ギヨーム3世の娘 (~1184/11/15死亡)
- 1148年1月23日-08:00|中国| ||大理・永貞1年|後理国の段正興が永貞と改元 (-1172)
- 1148年3月9日 05:00|日本|京都府京都市|久安4年2月17日|京都大火、三条坊門北高倉東より失火、近衛京極に及ぶ。法成寺惣門・法興院など焼亡。数10町焼失
- 1148年3月27日 05:00|日本|京都府京都市|久安4年3月6日|京都大火、四条油小路より失火、六条河原西、六条堀川、東西洞院までの数千戸焼失
- 1148年4月-01:00|フランス| |||<死去>サヴォイ伯「アメーネ3世」
- 1148年4月-01:00|フランス| |||<就任>サヴォイ伯「ウンベルト3世」 (~1189/03/04死亡)
- 1148年4月9日 05:00|日本|京都府京都市東山区|久安4年3月19日|祇園社焼亡
- 1148年4月19日 05:00|日本|京都府京都市|久安4年3月29日|京都大火、三条末河原辺より失火、数百戸焼失、祇園社宝蔵殿焼亡
- 1148年5月2日-01:00|イタリア| |||<死去>フツリヤ・カラブリア公「ルッジェーロ3世」
- 1148年5月2日-01:00|イタリア| |||<即位>フツリヤ・カラブリア公「ゲリエルモ3世」ルッジェーロ2世の四男。シリア王「リエルモ1世」 (~1151年)
- 1148年6月3日-09:00|日本|奈良県高市郡明日香村|久安4年5月15日|橘寺が落雷による火災で五重塔を失う
- 1148年6月22日-01:00|チュニジア/イタリア| |||<即位>ノーマンアフリカ王国国王「ロジャール2世」シリア王 (~1154/02/26、死亡)
- 1148年6月22日-01:00|チュニジア/イタリア| |||シリア王国がスィール朝を滅ぼしマティヤを拠点とするノーマンアフリカ王国設立 (~1160/11)
- 1148年7月-01:00|チュニジア/イタリア| |||シリア王国がカピス(ガベス)を占領 (~1159年)
- 1148年7月1日-01:00|チュニジア/イタリア| |||シリア王国がスーサ(スース)を占領 (~1159年)
- 1148年7月12日-01:00|チュニジア/イタリア| |||シリア王国がスファックス(スファックス)を占領 (~1156/02/25)
- 1148年7月13日-09:00|日本|京都府京都市|久安4年6月26日|皇居土御門殿焼失
- 1148年7月27日-02:00|シリア・アラブ/フランス| |||タマクス包囲戦が失敗し、第2回十字軍がシリアから撤退
- 1148年8月21日-01:00|フランス| |||<死去>セル伯・ヌヴェール伯「William2世」
- 1148年8月21日-01:00|フランス| |||<就任>セル伯・ヌヴェール伯「William3世」 (~1161/11/21死亡)
- 1148年9月17日-01:00|フランス| |||<死去>ブルターニュ公・レンヌ公・レンヌ伯「コナン3世肥満公」
- 1148年9月17日-01:00|フランス| |||<就任>レンヌ伯「Hoe12世」 (~1156年死亡)
- 1148年9月17日-01:00|フランス| |||<即位>ブルターニュ公「ペルト」コナン3世とモート・フィッツロイの長女 (~1156年死亡), 「オド2世」ホルヘ子爵「ジョフロワとアヴォーヌ」の長子 (~1156年)
- 1149年-04:30|アフリカ| |||<死去>ゴール朝マリック「シャイファル＝デーン＝スリー」
- 1149年-04:30|アフリカ| |||<即位>ゴール朝マリック「ハル＝ウッデーン＝サム1世」フサイン1世の子⇒「アラ＝ウッデーン＝フサイン2世」フサイン1世の子 (~1161年死亡)
- 1149年-04:00|ロシア| |||<復位>ムロム公「ロススラフ・ヤロスラフイチ」 (~1155年死亡)
- 1149年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ウイニコト公「アントレイ＝ユリエウイチ」⇒「ウヤチスラフ・ウラジミロウイチ」 (~1150年)
- 1149年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ウオリーニ公「スヴァトポルク・ムスチスラフイチ」⇒<復位>「イジヤスラフ・ムスチスラフイチ」 (~1152年)
- 1149年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ペルコト公「ホルス＝ユリエウイチ」 (~1151年)
- 1149年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ペレヤスラフリ公「ロススラフ＝ユリエウイチ」 (~1151年)
- 1149年-02:00|シリア・アラブ| |||ヌール＝アッティーンがアレクサンドリアにヌーリヤ学院を建設
- 1149年-01:00|クワチア| |||<就任>ポルヒツァ伯「ロウレティッチ」
- 1149年-01:00|イタリア| |||トレント司教公「Arnold2世」 (~1154年)
- 1149年2月10日-08:00|中国| ||大理・大宝1年|後理国の段正興が大宝 (-1155年) と改元
- 1149年2月10日-08:00|中国| ||西夏・天盛1年|西夏の仁宗が天盛 (-1169年) と改元
- 1149年3月10日-01:00|フランス| |||<死去>ルノー1世
- 1149年6月19日-09:00|日本|和歌山県伊都郡高野町|久安5年5月12日|高野山の塔に落雷があり、金堂や灌頂堂などが焼失
- 1149年6月29日-02:00|シリア・アラブ| |||<死去>アンティオキア公「レーモン・ド・ホワティエ」アレクサンドリア朝ヌール＝ウッティーンにアパムを奪われ殺される/アンティオキア公国の東半を完全に奪う
- 1149年8月23日-02:00|ウクライナ| |||<廃位>キエフ大公「イジヤスラフ2世」
- 1149年8月28日-02:00|シリア・アラブ| |||<死去>フーリー朝アミール「ムイヌッディーン＝ウヌル(トゥグ・テギーン)のマルーク」

1150迄 (1562件)

- 1149年8月28日-02:00|ウクライナ| |||<即位>キエフ大公「ユリー1世ドゥルゴルキー」(1期目~1150年夏退位)
- 1149年9月-04:00|ロシア| |||<即位>ウラジミール・スズダリ公「ウァシリク・ユリエウイチ」(~1151.4退位)
- 1149年9月-04:00|ロシア| |||<退位>ウラジミール・スズダリ公「ユリー・ドゥルゴルキー」
- 1149年9月13日-09:00|日本|京都府京都市|久安5年8月10日|大雨により桂川浮橋流失
- 1149年10月8日-01:00|チュニジア/エジプト| |||<死去>ファティマ朝第11代カリフ「アル=ハフィズ」
- 1149年10月8日-01:00|チュニジア/エジプト| |||<即位>ファティマ朝第12代カリフ「アル=ザフィール」(~1154.4死去)
- 1149年11月-03:00|イラク| |||<死去>ザンギー朝モスル=エミール「サイフッディーン・ガーズィー1世」
- 1149年11月-03:00|イラク| |||<即位>ザンギー朝モスル=エミール「クトブッディーン・マウドゥート」(~11700906死去)
- 1150年-07:00|カンボジア| |||<即位>クメール王朝国王「タラシンドラヴァルマン2世」(~1156年)
- 1150年-05:30|インド| |||<死去>チョラ朝国王「Kulothunga2世」
- 1150年-05:30|インド| |||<即位>カカティヤ朝「フーラ2世」後期チャルキヤ朝から独立(~1343)
- 1150年-05:30|インド| |||<即位>カカティヤ朝「カシュミール王統史」完成
- 1150年-03:00|ベラルーシ| |||<即位>トウロフ公「アントレイ・ユリエウイチ」(~1151年)
- 1150年-03:00|イラク| |||<即位>マサヤド朝アミール「ムハヒル・イブン・アリー」(~1163年)
- 1150年-03:00|タンザニア| |||東アフリカのキルワ島で貨幣が鑄造され、金の交易で隆盛
- 1150年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ウイソポト公「アントレイ・ユリエウイチ」(~1151年)
- 1150年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ペルゴポト公「ウラジミール・アントレイウイチ」(~1150年)
- 1150年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ペレソフニツァ公「ムスチスラフ・ユリエウイチ」⇒「アントレイ・ユリエウイチ」(~1151年)
- 1150年-02:00|トルコ| |||<即位>エリッサ伯「ジョスラン2世」ザンギー朝の捕虜となる(~1159年死去)
- 1150年-01:00|フランス| |||<死去>サン=ポル伯「アンケラン」
- 1150年-01:00|ドイツ/オランダ| |||<即位>クレフェ伯「ティートリヒ2世」(~1172年)
- 1150年-01:00|フランス| |||<即位>サン=ポル伯「アンセルム」(~1165年)ユーク3世の三男
- 1150年-01:00|フランス| |||<即位>バル伯「ルノー2世」(~11700725死去)
- 1150年-01:00|フランス| |||<即位>ノルマンディー公「アンリ2世」(~11890706死去)
- 1150年-01:00|フランス| |||このころ、パリ大学が設立
- 1150年-01:00|スペイン| |||スペインに製紙法が伝わる
- 1150年 00:00|ギニア| |||12世紀頃、アカン人が北方からギニア地方に移住
- 1150年 00:00|イギリス| |||<即位>スコットランド大法官「ウオルター・フィッツ・アラン」(~1153年)
- 1150年 00:00|イギリス| |||<即位>リカン伯「ギルバート・ド・ガント」(~1156年)
- 1150年 07:00|メキシコ/パナマ| |||アステカ族が中央高原を制圧。さらにパナマまで進出
- 1150年-08:00|中国| |||<死去>西遼可汗「感天皇后蕭塔不煙」
- 1150年1月9日-08:00|中国| |||金・天徳1年12月9日|<死去>金第3代皇帝「熙宗(合剌=祜)完顔亶」弑される/年31/迪古乃(合剌の従弟/海陵庶人/王亮)
- 1150年1月9日-08:00|中国| |||金・天徳1年12月9日|<即位>金第4代皇帝「海陵煬王(迪古乃=テケイ)完顔亮」(~正隆6年11月27日(1161年12月15日)死去)
- 1150年1月11日-08:00|中国| |||金・天徳1年12月11日|金の海陵王が天徳(-1153年)と改元
- 1150年1月31日-08:00|モンゴル| |||金・天徳2年|このころ、カプールがモンゴル部を統一
- 1150年2月18日-09:00|日本|京都府京都市右京区|久安6年1月19日|太秦広隆寺が焼失
- 1150年3月9日 05:00|日本|京都府京都市|久安6年2月9日|六角町尻、錦小路東西30余町焼亡
- 1150年4月30日-01:00|ドイツ| |||<死去>ドイツ王「ハインリヒ6世ベレンガー」
- 1150年5月10日-08:00|中国| |||金・天徳2年4月12日|迪古乃、使を遣わし宗室など156人以上を殺させる
- 1150年8月-02:00|ウクライナ| |||<即位>キエフ大公「イジヤスラフ2世」(2期目)、「ウァチエスラフ1世」(2期目)⇒「ユリー1世ドゥルゴルキー」(2期目~1151.6)
- 1150年8月 00:00|イギリス| |||ジェフリーが「ブリテン列王伝」を著す
- 1150年8月27日 05:00|日本|京都府京都市|久安6年8月4日|大雨と大風、内裏(皇居)の仁寿殿(天皇の御座所、清凉殿の東隣の建物)が倒れる
- 1150年10月22日 05:00|日本|京都府京都市|久安6年10月|京で咳病流行し死者多数
- 1150年11月21日-01:00|スペイン| |||<死去>ハラル王「ガルスア・ラミス」
- 1150年11月21日-01:00|スペイン| |||<即位>ハラル王「サンチョ6世」ガルスア・ラミスとマルカリータ・デ・ライグレの男子(~11940627死去)
- 1150年12月29日-09:00|日本| |||久安6年12月9日|<即位>関白「藤原忠通」(~保元3年8月11日)